

S R Sエアバッグシステム

S R Sエアバッグ & プリテンショナー付き

シートベルトシステム ..	SA-1
注意事項	SA-1
部品配置図	SA-9
機能説明	SA-10
機能点検	SA-12
トラブルシューティングの進め方	SA-15
回路図	SA-16
S 2 0 0 0による点検	SA-18
ダイアグノーシスコード一覧	SA-19
不具合現象別マトリクス	SA-22
トラブルシューティング	SA-23
点検要領	SA-45
単体点検	SA-91

インストルメントパネルパッセンジャー

エアバッグ A S S Y

(エアバッグシステム装着車

廃車時の廃却要領) ...	SA-92
廃却	SA-92

インストルメントパネルパッセンジャー

エアバッグ A S S Y

(単品廃却時の要領)	SA-93
廃却	SA-93
フロントエアバッグセンサー	SA-96
構成図	SA-96
脱着	SA-97

サイドエアバッグ A S S Y

(エアバッグシステム装着車

廃車時の廃却要領) ...	SA-98
廃却	SA-98

サイドエアバッグ A S S Y

(単品廃却時の要領)	SA-99
廃却	SA-99

変更概要

マークIIワゴン修理書（品番62850、1997年4月発行）の内容から以下の項目を追加、変更しました。

1. パッセンジャーエアバッグコネクター変更による廃却要領変更
2. サイドエアバッグコネクター変更による廃却要領変更
3. フロントエアバッグセンサー設定による脱着要領追加
4. 上記追加、変更によるトラブルシューティングの変更

MEMO

SRSエアバッグ & プリテンショナー付きシートベルトシステム

SA091-01

注意事項

1. 取り扱い・作業上の注意

エアバッグ・プリテンショナーシステムは正しい手順・方法で作業を実施しないと、作業中に作動し重大な事故につながるおそれがある。また、間違った修理を行なうと、必要なときに作動しない可能性がある。サービス時に（部品の脱着、点検、交換など）次の事項をよく読み本書に記載された正しい手順・方法で作業を行なう。

2. 電源切り離し

- (a) 作業はダイアグノーシスコードの確認を行なった後、IGスイッチをOFF（LOCK）し、バッテリーのマイナスターミナルをはずした後、90秒経過してから開始する。
- (1) エアバッグ・プリテンショナーシステムはバックアップ電源を備えているため、バッテリーのマイナスターミナルをはずしてから90秒経過しないうちに作業を開始するとエアバッグが作動する可能性がある。
- (2) バッテリーのマイナスターミナルをはずすと、メモリーが消去されるシステムがあるため作業前に各システムのメモリー内容を記録し、作業後再セットする。
- (b) IGスイッチをOFF（LOCK）にして、バッテリーを接続する。

3. 全般的な注意事項

- (a) 電気的な点検にはトヨタエレクトリカルテスターを使用する。
- (b) システム周辺の注意事項を記載したラベルの指示に従う。
- (c) 絶対に分解しない。
- (d) 落下させたり、ひび割れ、へこみ、欠けがある場合は新品と交換する。
- (e) 他の車両のエアバッグおよびプリテンショナー部品は絶対に使用せず部品交換時は必ず新品を取り付ける。
- (f) 高熱や火気に直接さらさない。

4. エアバッグおよびプリテンショナー廃却時の注意事項（作動前）

- (a) 絶対に未作動の状態で廃棄しない。
- (b) 屋外の安全を確保できる場所で行なう。
- (c) エアバッグおよびプリテンショナーを作動させる場合は、SSTを使用してエアバッグ・プリテンショナーから5 m以上離れる。

5. エアバッグおよびプリテンショナー廃却時の注意事項（作動後）

- (a) 大変高温になっているため作動後30分は放置しておく。
- (b) 水などをかけない。
- (c) 取り扱い時は、保護めがねおよび手袋を着用する。
- (d) ビニール袋に入れて密閉し廃棄する。
- (e) 作業終了時は、必ず手を水洗いする。

6. ホーンボタンASSY（運転席エアバッグ） & インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY & サイドエアバッグASSY & フロントシートアウターベルトASSY（プリテンショナー）の注意事項

- (a) 作業時など一時的にでも取りはずす場合は、必ず展開面を上にして保管する。
- (b) 保管時、エアバッグの上に物を置いたり、エアバッグの重ね置きをしない。

<警告>

万一、何らかの原因でエアバッグが作動したとき、展開面が下を向いていると重大な事故につながるおそれがある。

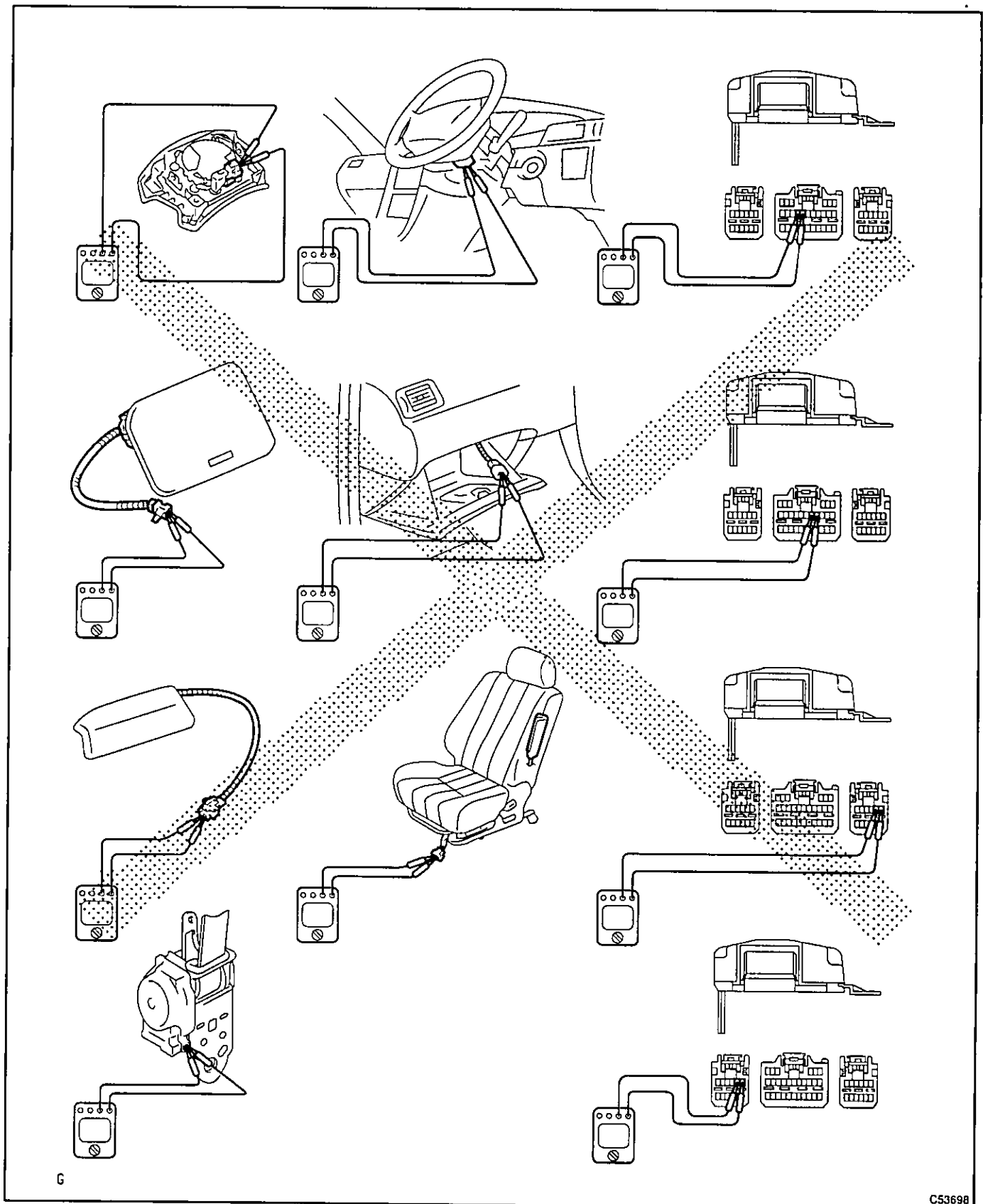
- (c) 抵抗測定は絶対に行なわない。

<警告>

テスターの電流によって作動する可能性があり大変危険である。

- (d) 未作動の衝突時でも点検を実施する。
- (e) グリース、洗剤、オイル、水などを付着させない。付着した場合は乾いた布などで速やかに拭き取る。
- (f) 高温〔雰囲気温度93℃以上（プリテンショナーは80℃以上）〕、多湿を避けた、電気ノイズの影響を受けにくい場所で保管、取り扱いを行なう。

(g) 廃車時や単品の廃棄時は、必ずSSTを使用して作動させる。



7. スパイラルケーブル（コンビネーションスイッチ内蔵）の注意事項

- (a) 取り付け時およびステアリングホイール脱着時はセンター合わせを行う。

<注意>

ステアリングホイールを操作したとき断線するおそれがある。

8. エアバッグセンサーASSYセンター & サイドエアバッグセンサーASSY & フロントエアバッグセンサーの注意事項

- (a) 衝突によりエアバッグおよびプリテンショナーが作動した場合、必ずセンサーASSY（センター、サイドおよびフロントをセットで）を交換する。

9. ワイヤハーネス・コネクタの注意事項

- (a) エンジンルーム内の不出部分を除き、黄色で統一されており、特殊なコネクタが採用してあるので十分注意して取り扱う。

10. 衝突などで損傷を受けた車両の処置

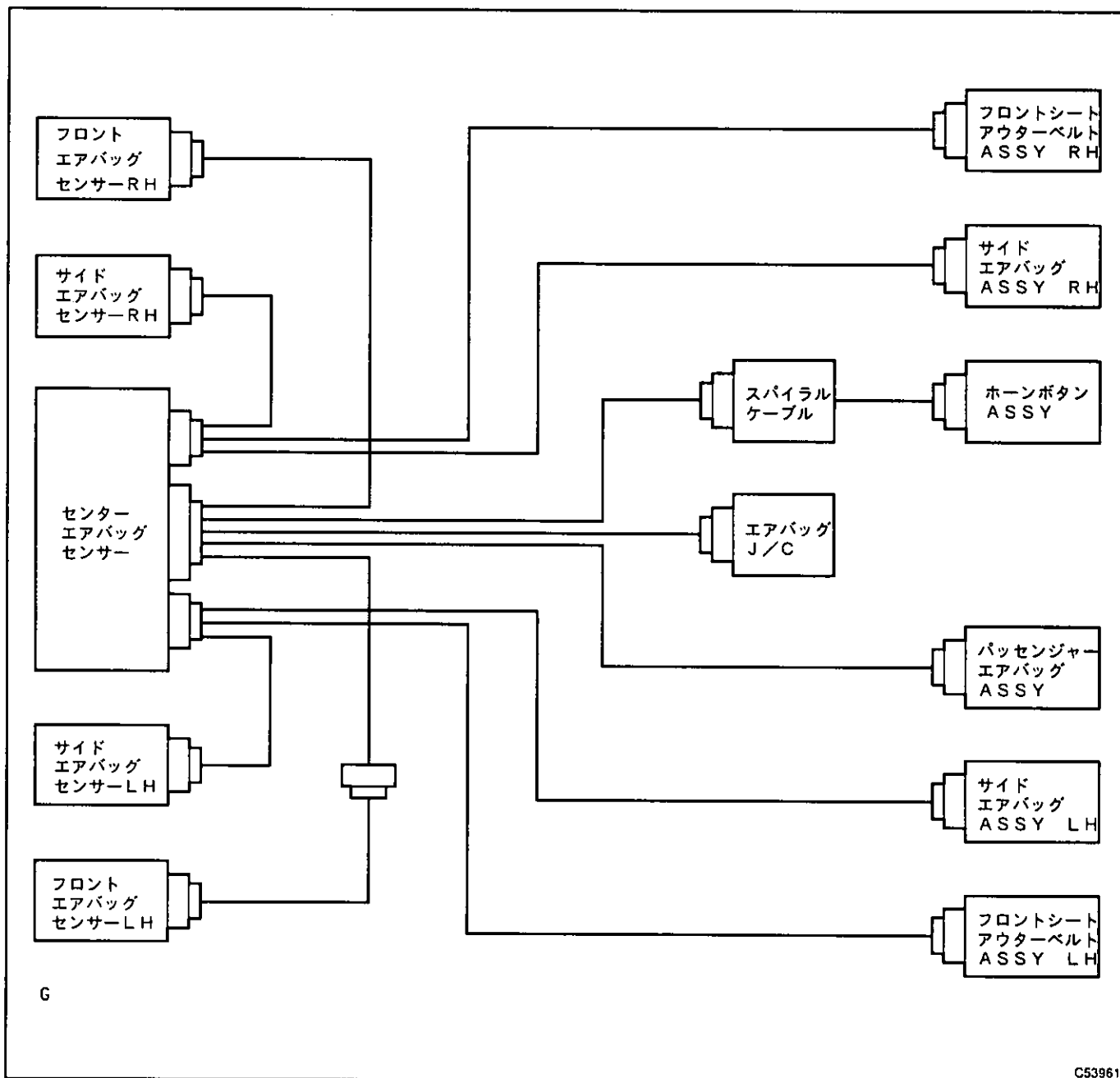
- (a) 電気式の溶接機を使用する場合は、エアバッグを取りはずしてから作業を行う。
- (b) エアバッグセンサーASSYセンター、サイドエアバッグセンサーASSYおよびフロントエアバッグセンサーに衝撃が加わる可能性がある場合は、センサーASSYおよびセンサーを事前に取りはずしておく。
- (c) エアバッグセンサーASSYセンター、サイドエアバッグセンサーASSYおよびフロントエアバッグセンサーを高温にさらさない。

11. エアバッグの点検が必要なケース

- (a) エアバッグが未作動の軽微なものも含め、衝突などで車両が損傷した場合。
- (b) ダイアグノーシスコードが出力された場合。

12. コネクター機能

(a) 適用部位



C53961

部品側コネクター

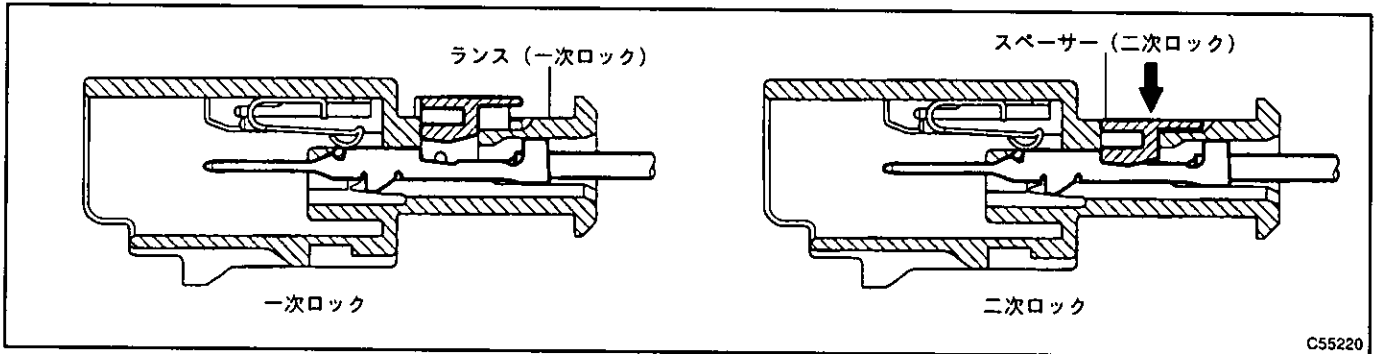
	ターミナル 二重ロック 機構	半かん合 検出機構	半かん合 防止機構	コネクター 二重ロック 機構	ターミナル ショート機構
ホーンボタンASSY	○			○	○
インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY	○				○
サイドエアバッグASSY RH	○				○
サイドエアバッグASSY LH	○				○
フロントシートアウターベルトASSY RH					○
フロントシートアウターベルトASSY LH					○
スパイラルケーブル (ホーンボタンASSY側)	○				
スパイラルケーブル (車両ワイヤハーネス側)				○	○
エアバッグセンサーASSYセンター		○			
サイドエアバッグセンサーASSY RH					
サイドエアバッグセンサーASSY LH					
フロントエアバッグセンサーRH					
フロントエアバッグセンサーLH					
エアバッグJ/C				○	

車両ワイヤハーネス側コネクター

	ターミナル 二重ロック 機構	半かん合 検出機構	半かん合 防止機構	コネクター 二重ロック 機構	ターミナル ショート機構
インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY	○		○		
サイドエアバッグASSY RH	○		○		
サイドエアバッグASSY LH	○		○		
フロントシートアウターベルトASSY RH	○				
フロントシートアウターベルトASSY LH	○				
スパイラルケーブル	○				
エアバッグセンサーASSYセンター	○	○			○
サイドエアバッグセンサーASSY RH	○		○		
サイドエアバッグセンサーASSY LH	○		○		
フロントエアバッグセンサーRH	○		○		
フロントエアバッグセンサーLH	○		○		
エンジンルームメインワイヤ (エアバッグセンサーASSYセンター～フロントエアバッグセンサーLH間)	○		○		○
カウルワイヤ (エアバッグセンサーASSYセンター～フロントエアバッグセンサーLH間)	○				
エアバッグJ/C	○				

(b) ターミナル二重ロック機構

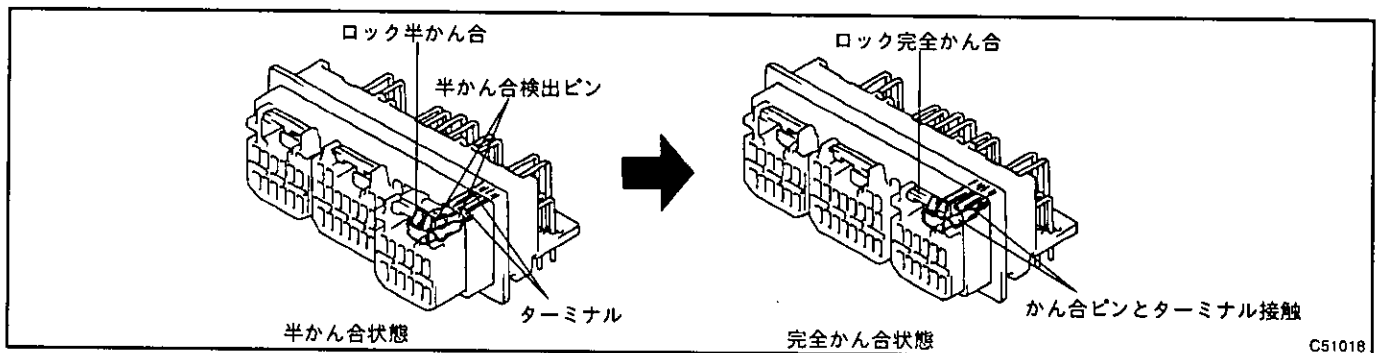
- (1) ターミナル保持力を向上し、端子抜け防止をする機構。
- (2) コネクターはハウジングとスパーサーの2ピース構造で、ターミナルの保持をランス（一次ロック）およびスパーサー（二次ロック）の二重で行う。



C55220

(c) 半かん合検出機構

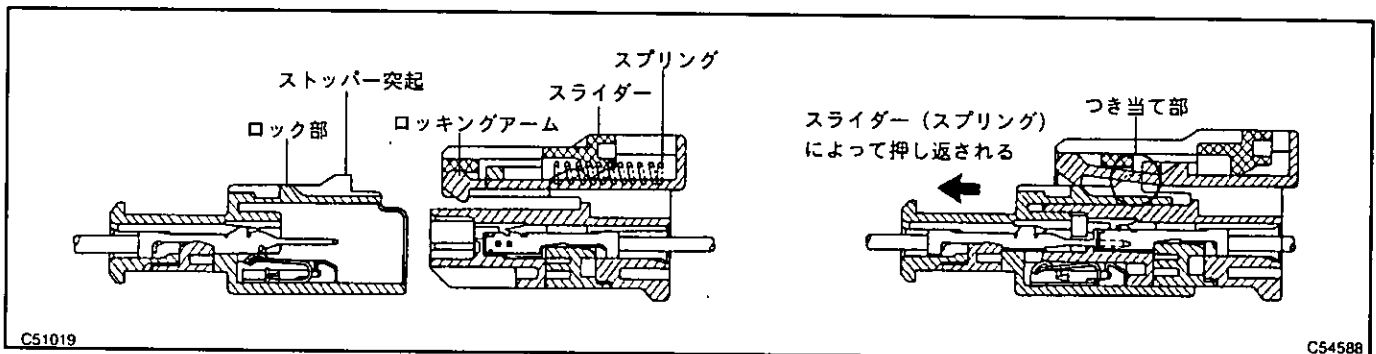
- (1) コネクターが確実に接続されているかどうか電気的に検出する機構。
- (2) コネクターが完全かん合すると接続されるかん合検出ピンを使用し、センサーのインプット側とアウトプット側を直列に接続することにより、センサーエアバッグセンサーASSY（コンピューター）に電流を流し、半かん合状態を検出している。コネクター内壁に傾斜部が設定されており、コネクター接続時、かん合検出ピンはこれに沿って差し込まれる。そしてコネクターが完全に差し込まれると、かん合検出ピンは傾斜部からはずれてターミナルに接触する構造となっている。



C51018

(d) 半かん合防止機構

- (1) コネクターの半かん合を防止するための機構。
- (2) 完全かん合していないとスプリングによりスライダーを介し、相手側コネクター（オス）を押し返し、確実に導通しないところまで相手側コネクターを押し返す。

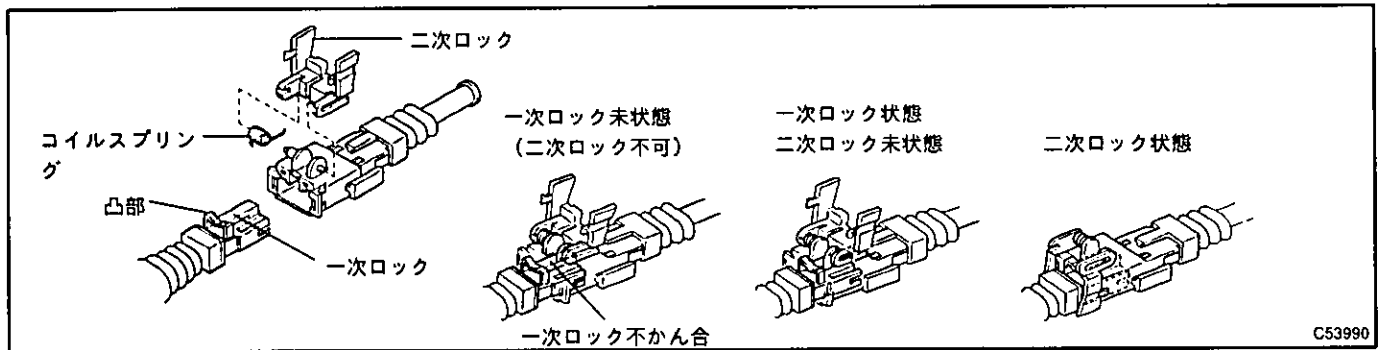


C51019

C54588

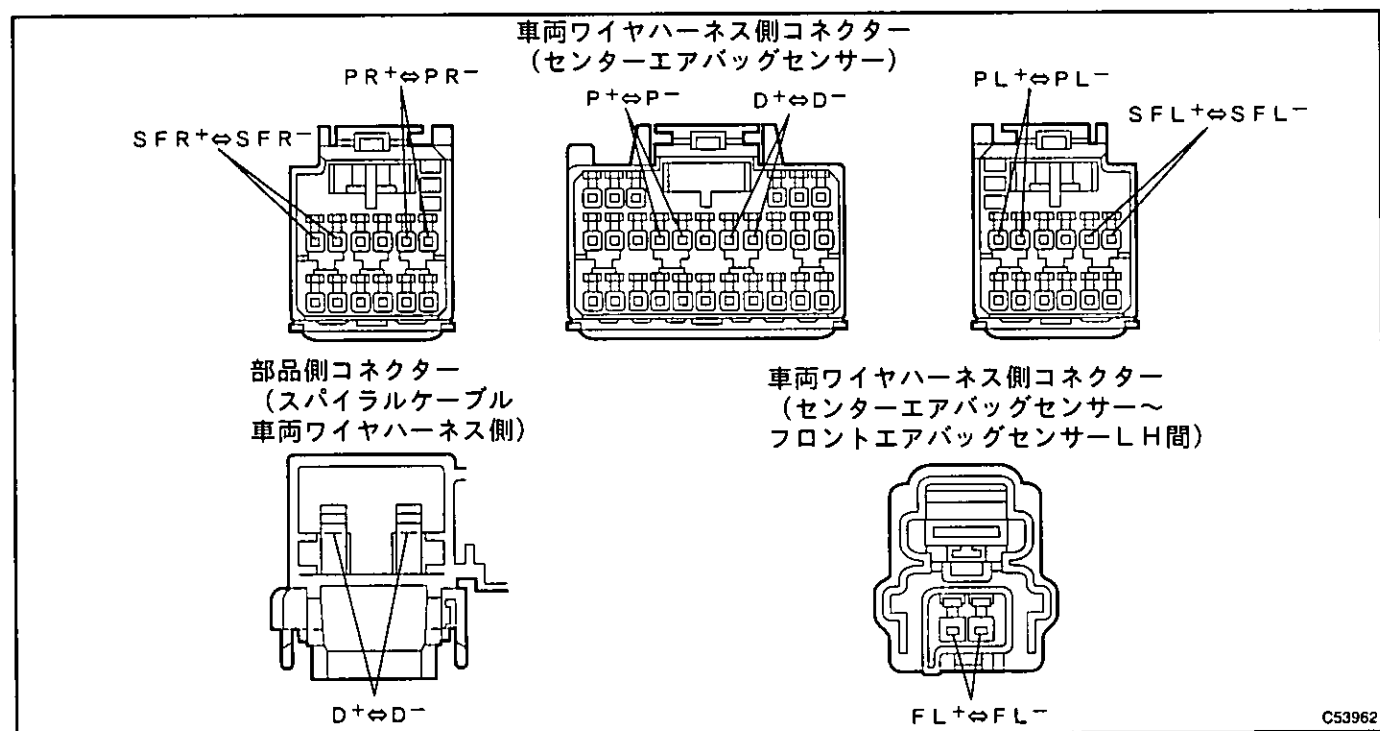
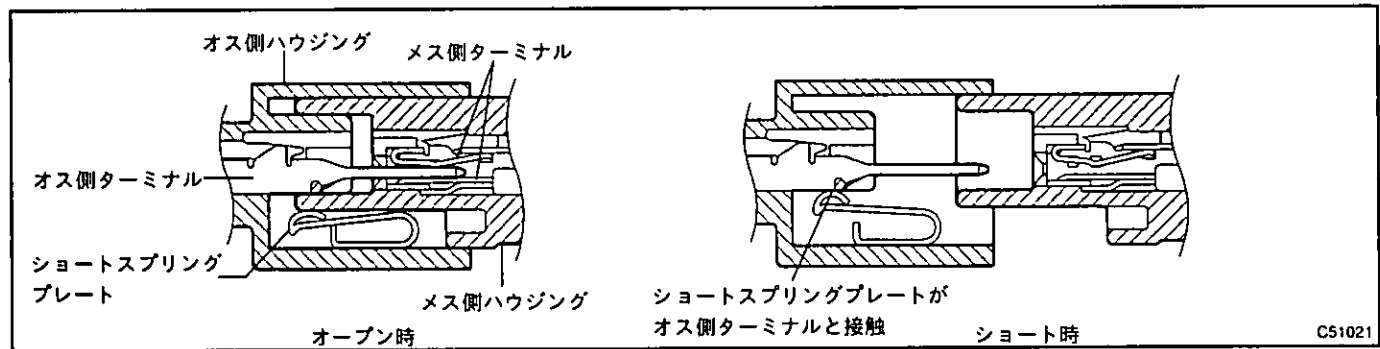
(e) コネクター二重ロック機構

- (1) コネクターのはずれを防止する機構。
- (2) 一次ロックがされていないと、凸部が邪魔をして二次ロックができない構造となっており、コネクター同士（オス、メス）を二重でロックすることで接続の信頼性を向上させている。



(f) ターミナルショート機構

- (1) コネクターをはずすと、エアバッグの電源側ターミナルとアース側ターミナルが自動的に短絡する機構。
- (2) コネクター内部にはショートスプリングプレートが設けられており、エアバッグ側が閉回路（両ターミナル間に電位差が発生しない）となり、整備作業上の誤作動を防止する。



13. ターミナルショート機構の解除

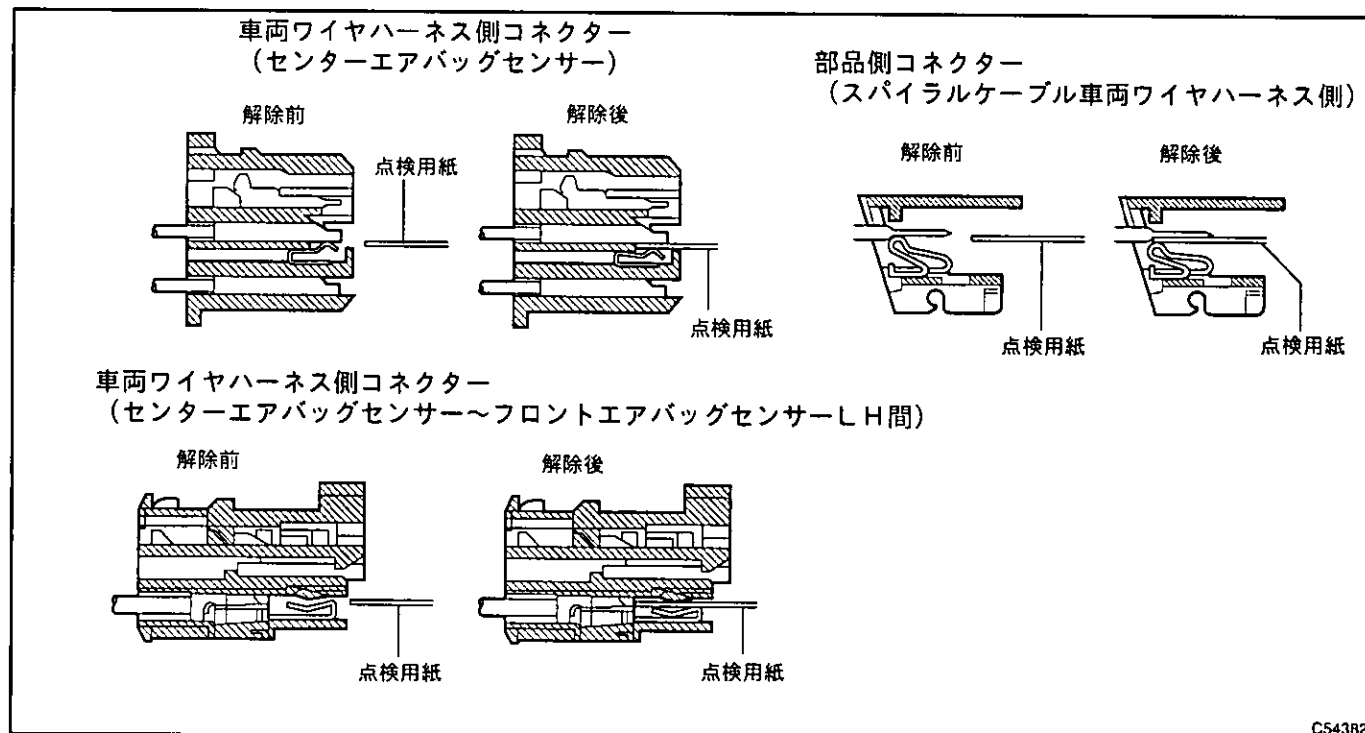
(a) 端子と同等の厚さの紙 (0.5mm) を使用して、コネクタのショート機構を解除する。

<注意>

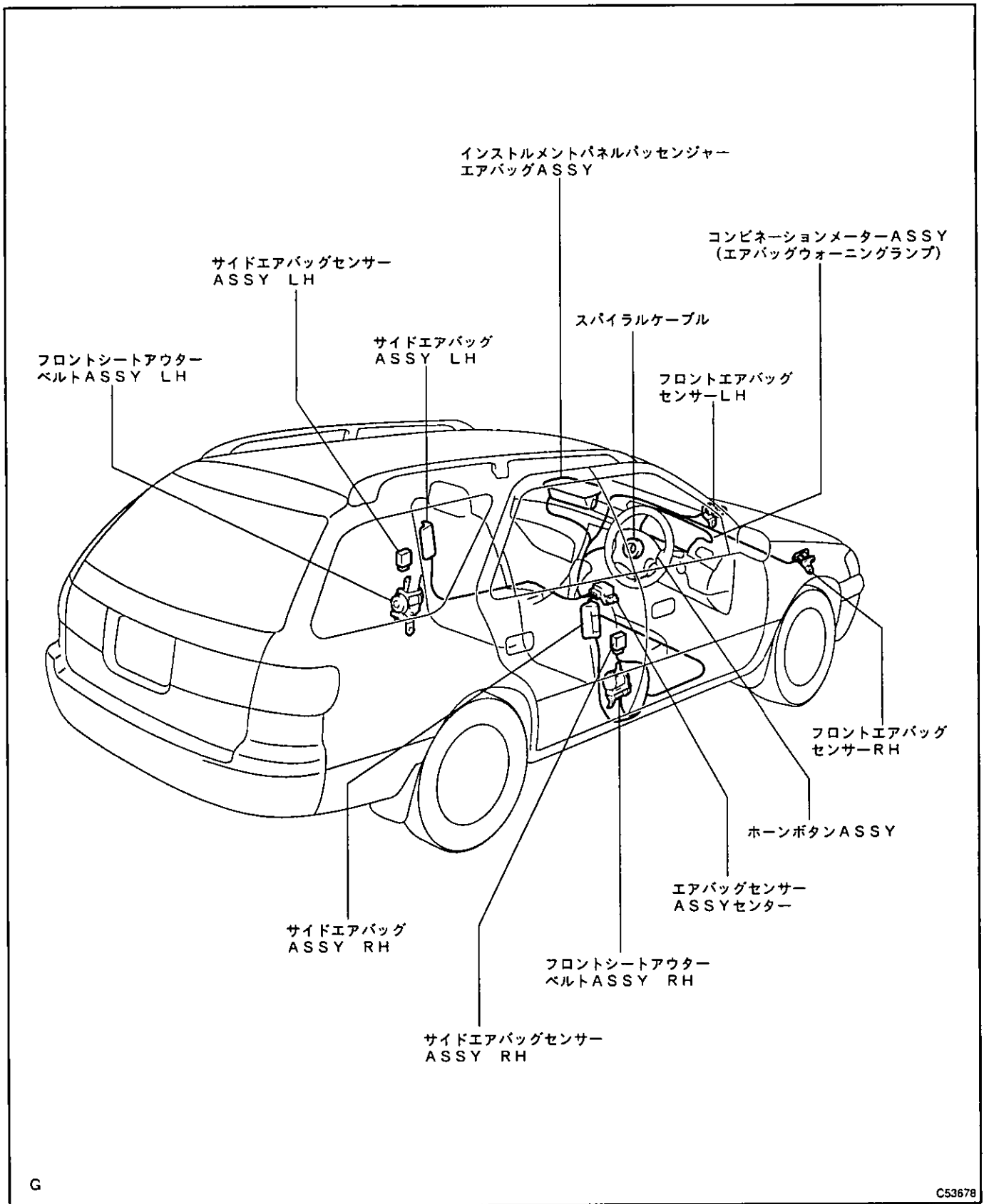
- 端子、ショーツプリングを損傷するおそれがあるため、異なる厚さの紙を使用しない。
- トラブルシューティングで指示のない限りコネクタのショート機構を解除しない。

<参考>

エアバッグシステムの点火回路のコネクタには静電気などによる誤作動防止のため、ショート機構付きコネクタが用いられコネクタを開放した状態では、エアバッグ側の端子が短絡する。



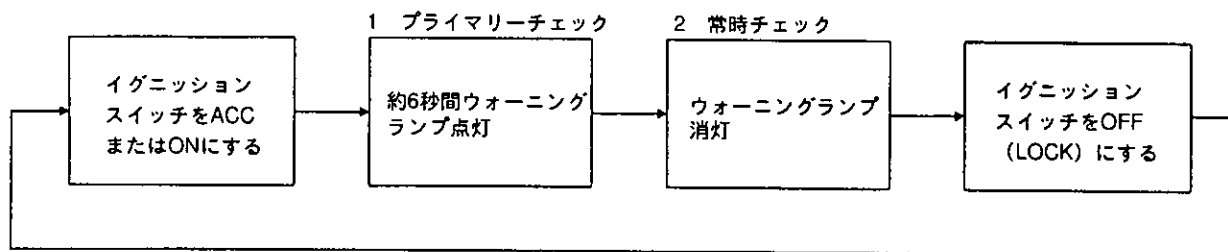
部品配置図



機能説明

<参考>

- センターエアバッグセンサーは自己診断装置を有しているが、診断機能はプライマリーチェックおよび常時チェックの2つの期間に分けて作動する。
- 記憶したダイアグノーシスコードはバッテリーを切り離しても記憶の消去はされない。



C50600

1. プライマリーチェック

- (a) バッテリー接続後2秒以上経過している場合にのみ、IGスイッチをACCまたはONにしてから約6秒間ウォーニングランプを点灯し、エアバッグ・プリテンショナーシステムの診断を行う。

<注意>

バッテリー接続時、IGスイッチをOFF (LOCK) しておく。

- (b) 万一、プライマリーチェックで不具合が、発見されると、6秒経過後もウォーニングランプは点灯または点滅する。

2. 常時チェック

- (a) プライマリーチェックが終了（6秒経過後ウォーニングランプが消灯）すると、センターエアバッグセンサーはシステムを点火可能状態にするとともにシステムに異常がないかを常時監視する。
- (b) 万一、常時チェックで不具合が検出されると、センターエアバッグセンサーは以下のように作動する。

- (1) ウォーニングランプが点灯または点滅する。

<参考>

不具合コードが検出された場合は、ウォーニングランプが点灯または点滅する。

- (2) ウォーニングランプが点灯して消灯する。

<参考>

電源電圧が低下したときウォーニングランプが点灯し、その後電圧が正常に復帰すると10秒後にウォーニングランプを消灯する。

3. まとめ

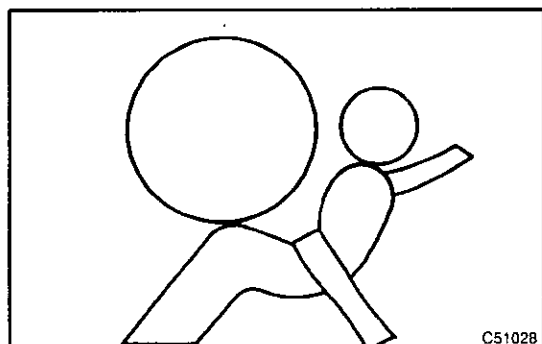
(a) システムが正常な場合

- (1) プライマリーチェック期間（IGスイッチをACCまたはONにしてから、約6秒間）のみウォーニングランプが点灯する。

(b) システムに異常が発生している場合

- (1) プライマリーチェック期間を過ぎてもウォーニングランプが点灯または点滅する。
- (2) プライマリーチェック期間を過ぎて一度消灯し、再度ウォーニングランプが点灯または点滅する。
- (3) ランプ切れなどによるウォーニングランプ不灯。

機能点検

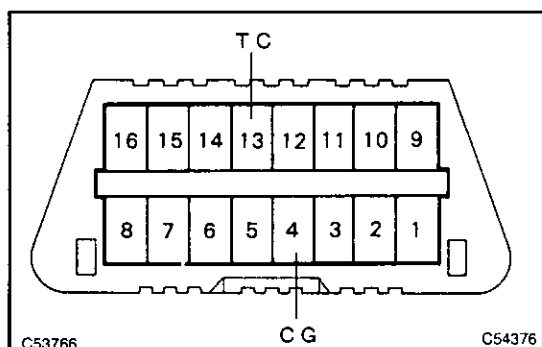


1. エアバッグウォーニングランプ点検

- (a) I GスイッチをACCまたはONにしたとき、ウォーニングランプが点灯または点滅するかを確認する。
- (b) 約6秒経過後、ウォーニングランプが消灯することを確認する。

<参考>

- I GスイッチをACCまたはONにしたとき、点灯または点滅した場合はエアバッグ・プリテンショナーシステムに不具合が発生している。
- 約6秒経過後もときどき点灯したり、I GスイッチがOFF (LOCK) でも点灯する場合は、ウォーニングランプシステムのショートが考えられる。



2. ダイアグノーシスコード読み取り（ウォーニングランプによる読み取り）（DLC3）

(a) 現在故障

- (1) I GスイッチをACCまたはONにして、60秒間待機する。

<参考>

センターエアバッグセンサーがシステムすべての自己診断を完了するのに約60秒かかる。

- (2) SSTを使用して、13 (TC) ⇔ 4 (CG) 端子間を短絡しウォーニングランプの点滅回数を読み取る。

SST 09843-18040

<参考>

ダイアグノーシスコードが複数ある場合、数字の小さい順に出力し、全コード出力後2回目の表示を行う。

(b) 過去故障

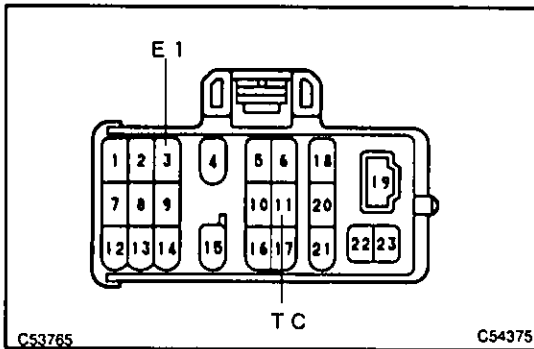
- (1) SSTを使用して、DLC3の13 (TC) ⇔ 4 (CG) 端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (2) I GスイッチをACCまたはONにして、ウォーニングランプ消灯後の点滅回数を読み取る。

<参考>

- ダイアグノーシスコードが複数ある場合、数字の小さい順に出力し、全コード出力後2回目の表示を行う。
- 現在故障がある場合、現在および過去故障が同時に出力される。



3. ダイアグノーシスコード読み取り（ウォーニングランプによる読み取り）（ダイアグノーシスコネクター）

(a) 現在故障

- (1) I GスイッチをACCまたはONにして、60秒間待機する。

<参考>

センターエアバッグセンサーがシステムすべての自己診断を完了するのに約60秒間かかる。

- (2) SSTを使用して、11（TC）⇔3（E1）端子間を短絡しウォーニングランプの点滅回数を読み取る。

SST 09843-18020

<参考>

ダイアグノーシスコードが複数ある場合、数字の小さい順に出力し、全コード出力後2回目の表示を行う。

(b) 過去故障

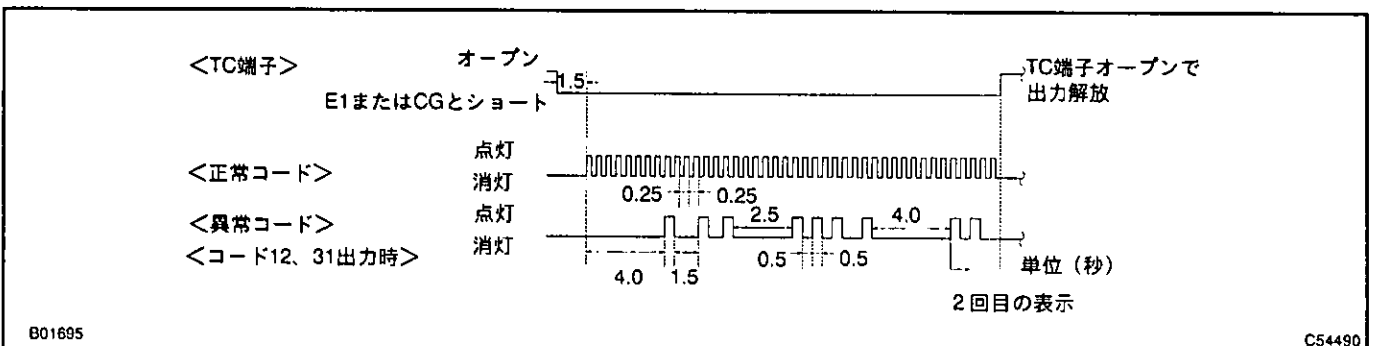
- (1) SSTを使用して、11（TC）⇔3（E1）端子間を短絡する。

SST 09843-18020

- (2) I GスイッチをACCまたはONにして、ウォーニングランプ消灯後の点滅回数を読み取る。

<参考>

- ダイアグノーシスコードが複数ある場合、数字の小さい順に出力し、全コード出力後2回目の表示を行う。
- 現在故障がある場合、現在および過去故障が同時に出力される。



B01695

C54490

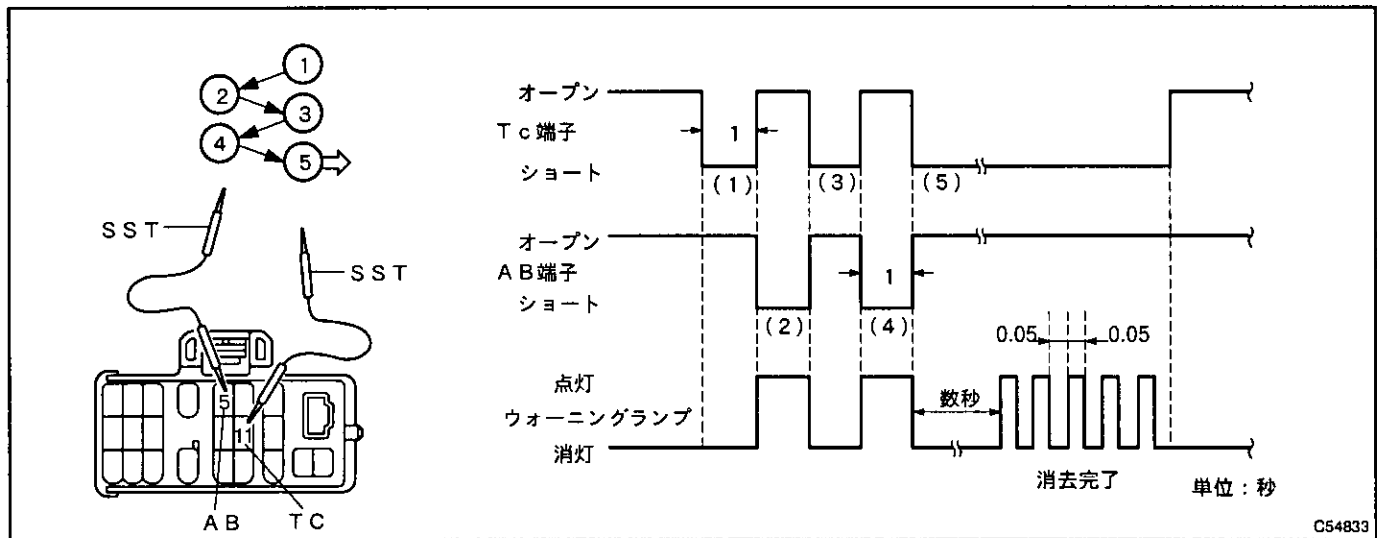
4. ダイアグノーシスコード消去（ダイアグノーシスコネクターによるダイアグノーシスコード消去）
- IGスイッチをOFF（LOCK）にする。
 - SSTをダイアグノーシスコネクターの11（TC）および5（AB）端子にそれぞれ接続する。

SST 09083-00150

- IGスイッチをACCまたはONにして約6秒間待機する。
- 図のように1秒周期で11（TC）および5（AB）端子を交互にボデーアースする。
- ウォーニングランプがこまかく点灯（消去完了コード）することを確認する。

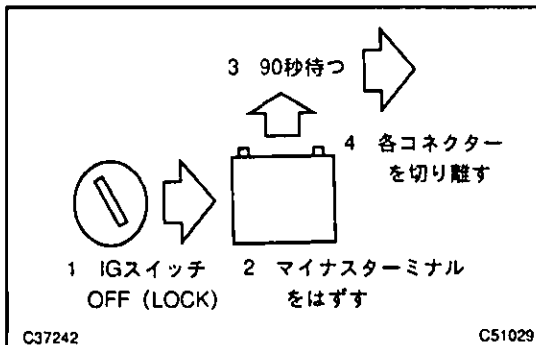
<参考>

- TC端子とAB端子を交互にアースするとき、一方のアースを解除すると同時に他方をアースする。
- 消去完了コードが出力されない場合は、再度行う。



C54833

トラブルシューティングの進め方

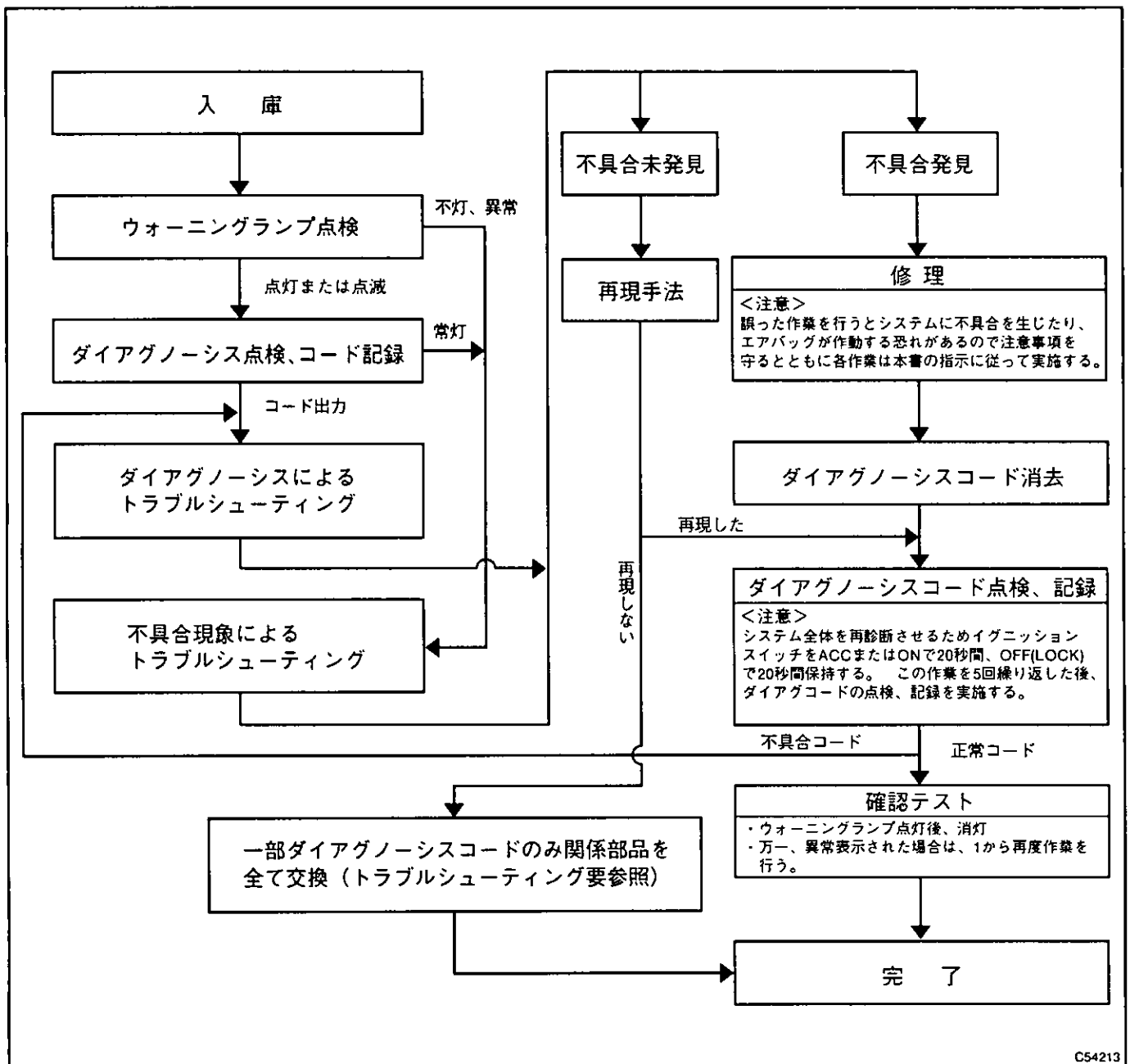


1. トラブルシューティングの進め方

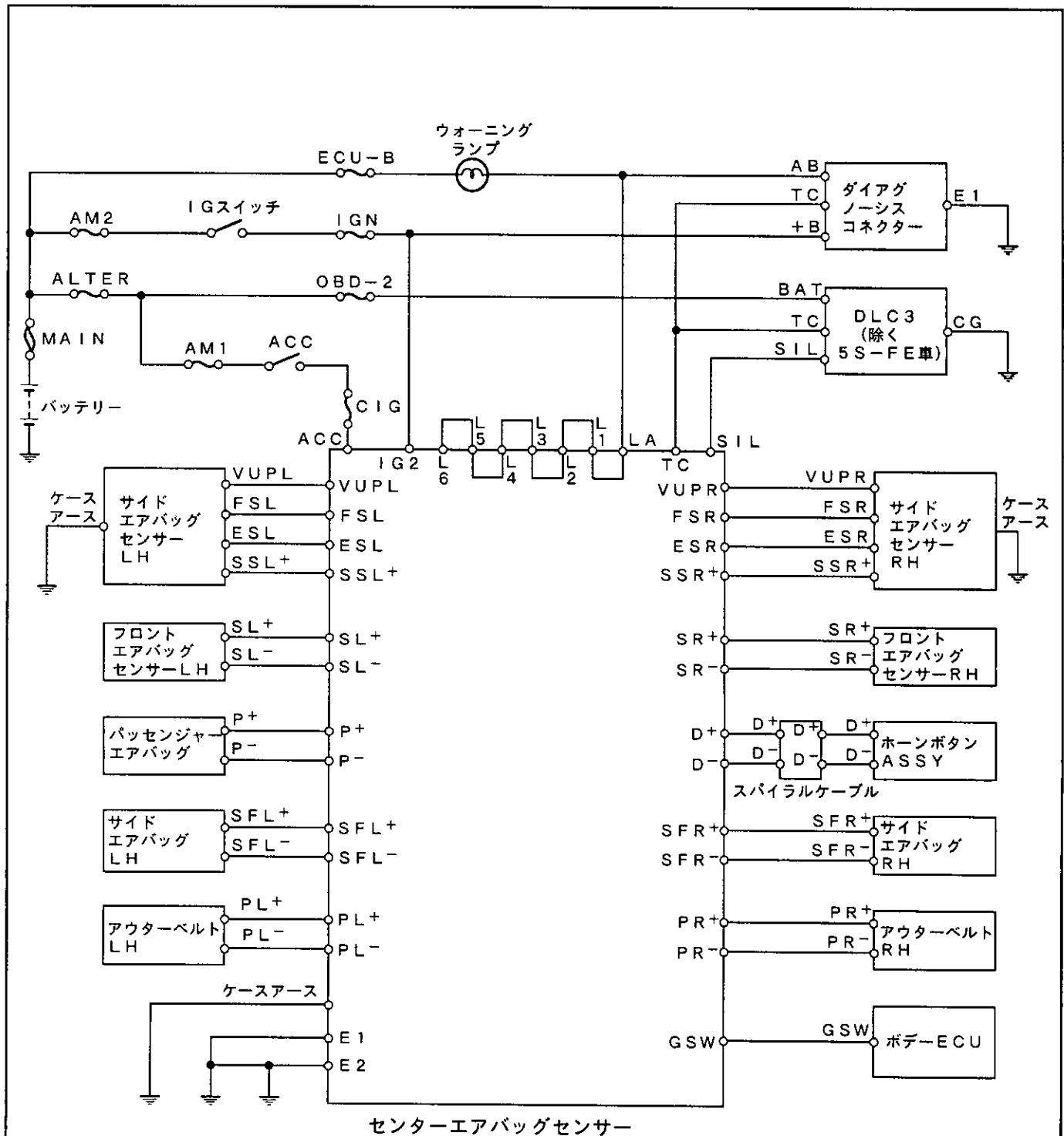
- (a) 効率よく正確なトラブルシューティングを行うため、次の手順に従って作業を実施する。

<注意>

- 対象となるコネクタのかん合を点検する。
- トラブルシューティングを行うとき、電圧および抵抗測定を行う場合はコネクタのワイヤハーネス側から測定する。
- 不具合現象を把握した後、該当するフローチャートに従って点検する。

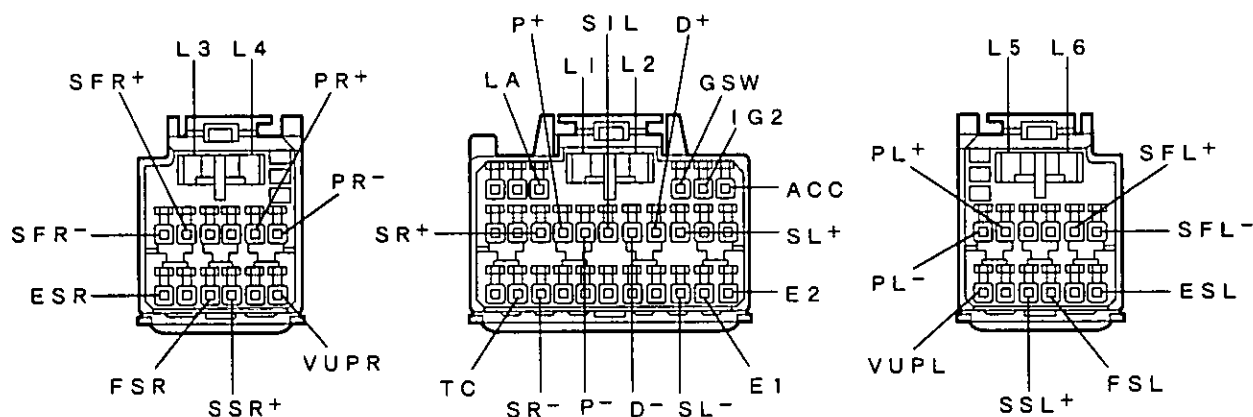


回路図



車両ワイヤハーネス側コネクター

センターエアバッグセンサー

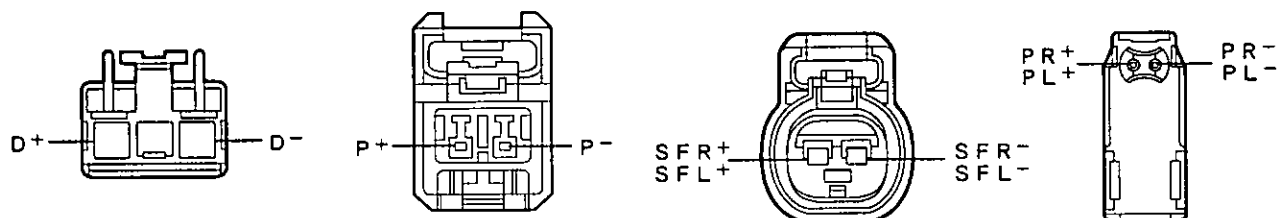


スパイラルケーブル

パッセンジャーエアバッグ

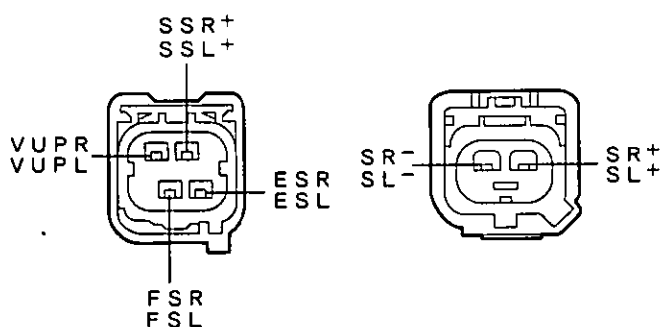
サイドエアバッグ

アウターベルト



サイドエアバッグ
センサー

フロントエアバッグ
センサー

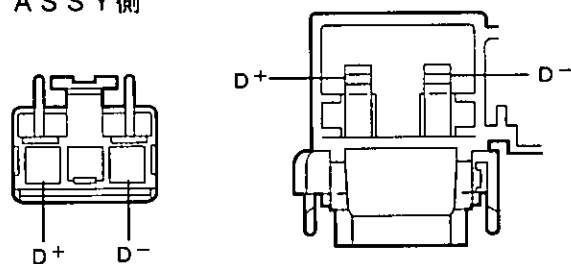


部品側コネクタ

スパイラルケーブル

ホーンボタン
ASSY側

車両ワイヤハーネス側



S 2 0 0 0による点検

1. **ダイアグノーシスコード読み取り（除く 5 S - F E 車）**
 - (a) I GスイッチをOFF（LOCK）にする。
 - (b) S S TををD L C 3に接続する。
S S T 09991-60100, 09991-60701
 - (c) I GスイッチON後、S S Tの画面表示に従ってダイアグノーシスコードを読み取る。
2. **ダイアグノーシスコード消去（除く 5 S - F E 車）**
 - (a) I GスイッチをOFF（LOCK）にする。
 - (b) S S TをD L C 3に接続する。
S S T 09991-60100, 09991-60701
 - (c) I GスイッチをON後、S S Tの画面表示に従ってダイアグノーシスコードを消去する。

ダイアグノーシスコード一覧

1. ダイアグノーシスコード別トラブルシューティング

ダイアグノーシスコード (S2000)	ダイアグノーシスコード (ウォーニングランプ)	診断内容	該当フローチャート
B0102	11	・センターエアバッグセンサー～運転席エアバッグ間W/Hのアース短絡 ・運転席エアバッグの故障 ・スパイラルケーブルの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	1
B0103	12	・センターエアバッグセンサー～運転席エアバッグ間W/Hの電源短絡 ・運転席エアバッグの故障 ・スパイラルケーブルの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	2
B0100	13	・センターエアバッグセンサー～運転席エアバッグ間W/Hのワイヤハーネス間短絡 ・運転席エアバッグの故障 ・スパイラルケーブルの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	3
B0101	14	・センターエアバッグセンサー～運転席エアバッグ間W/Hの断線 ・運転席エアバッグの故障 ・スパイラルケーブルの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	4
B1156	15	・センターエアバッグセンサー～フロントエアバッグセンサーRH間W/Hの断線または電源短絡 ・フロントエアバッグセンサーRHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	5
B1157	15	・センターエアバッグセンサー～フロントエアバッグセンサーRH間W/Hのアース短絡またはワイヤハーネス間短絡 ・フロントエアバッグセンサーRHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	5
B1158	16	・センターエアバッグセンサー～フロントエアバッグセンサーLH間W/Hの断線または電源短絡 ・フロントエアバッグセンサーLHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	6
B1159	16	・センターエアバッグセンサー～フロントエアバッグセンサーLH間W/Hのアース短絡またはワイヤハーネス間短絡 ・フロントエアバッグセンサーLHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	6
B1100	31	・センターエアバッグセンサーの故障	7
B1140	32	・センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグセンサーRH間W/Hのアース短絡、電源短絡、ワイヤハーネス間短絡または断線 ・サイドエアバッグセンサーRHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	8
B1141	33	・センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグセンサーLH間W/Hのアース短絡、電源短絡、ワイヤハーネス間短絡または断線 ・サイドエアバッグセンサーLHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	9
B0112	41	・センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグRH間W/Hのアース短絡 ・サイドエアバッグRHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	10

ダイアグノーシスコード (S2000)	ダイアグノーシスコード (ウォーニングランプ)	診断内容	該当フローチャート
B0113	42	・センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグRH間W/Hの電源短絡 ・サイドエアバッグRHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	11
B0110	43	・センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグRH間W/Hのワイヤハーネス間短絡 ・サイドエアバッグRHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	12
B0111	44	・センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグRH間W/Hの断線 ・サイドエアバッグRHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	13
B0117	45	・センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグLH間W/Hのアース短絡 ・サイドエアバッグLHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	14
B0118	46	・センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグLH間W/Hの電源短絡 ・サイドエアバッグLHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	15
B0115	47	・センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグLH間W/Hのワイヤハーネス間短絡 ・サイドエアバッグLHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	16
B0116	48	・センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグLH間W/Hの断線 ・サイドエアバッグLHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	17
B0107	51	・センターエアバッグセンサー～パッセンジャーエアバッグ間W/Hのアース短絡 ・パッセンジャーエアバッグの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	18
B0108	52	・センターエアバッグセンサー～パッセンジャーエアバッグ間W/Hの電源短絡 ・パッセンジャーエアバッグの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	19
B0105	53	・センターエアバッグセンサー～パッセンジャーエアバッグ間W/Hのワイヤハーネス間短絡 ・パッセンジャーエアバッグの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	20
B0106	54	・センターエアバッグセンサー～パッセンジャーエアバッグ間W/Hの断線 ・パッセンジャーエアバッグの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	21
B0132	61	・センターエアバッグセンサー～プリテンショナーRH間W/Hのアース短絡 ・プリテンショナーRHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	22
B0133	62	・センターエアバッグセンサー～プリテンショナーRH間W/Hの電源短絡 ・プリテンショナーRHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	23
B0130	63	・センターエアバッグセンサー～プリテンショナーRH間W/Hのワイヤハーネス間短絡 ・プリテンショナーRHの故障 ・センターエアバッグセンサーの故障	24

ダイアグノーシスコード (S2000)	ダイアグノーシスコード (ウォーニングランプ)	診断内容	該当フローチャート
B0131	64	• センターエアバッグセンサー～プリテンショナーRH間W/Hの断線 • プリテンショナーRHの故障 • センターエアバッグセンサーの故障	25
B0137	71	• センターエアバッグセンサー～プリテンショナーLH間W/Hのアース短絡 • プリテンショナーLHの故障 • センターエアバッグセンサーの故障	26
B0138	72	• センターエアバッグセンサー～プリテンショナーLH間W/Hの電源短絡 • プリテンショナーLHの故障 • センターエアバッグセンサーの故障	27
B0135	73	• センターエアバッグセンサー～プリテンショナーLH間W/Hのワイヤハーネス間短絡 • プリテンショナーLHの故障 • センターエアバッグセンサーの故障	28
B0136	74	• センターエアバッグセンサー～プリテンショナーLH間W/Hの断線 • プリテンショナーLHの故障 • センターエアバッグセンサーの故障	29

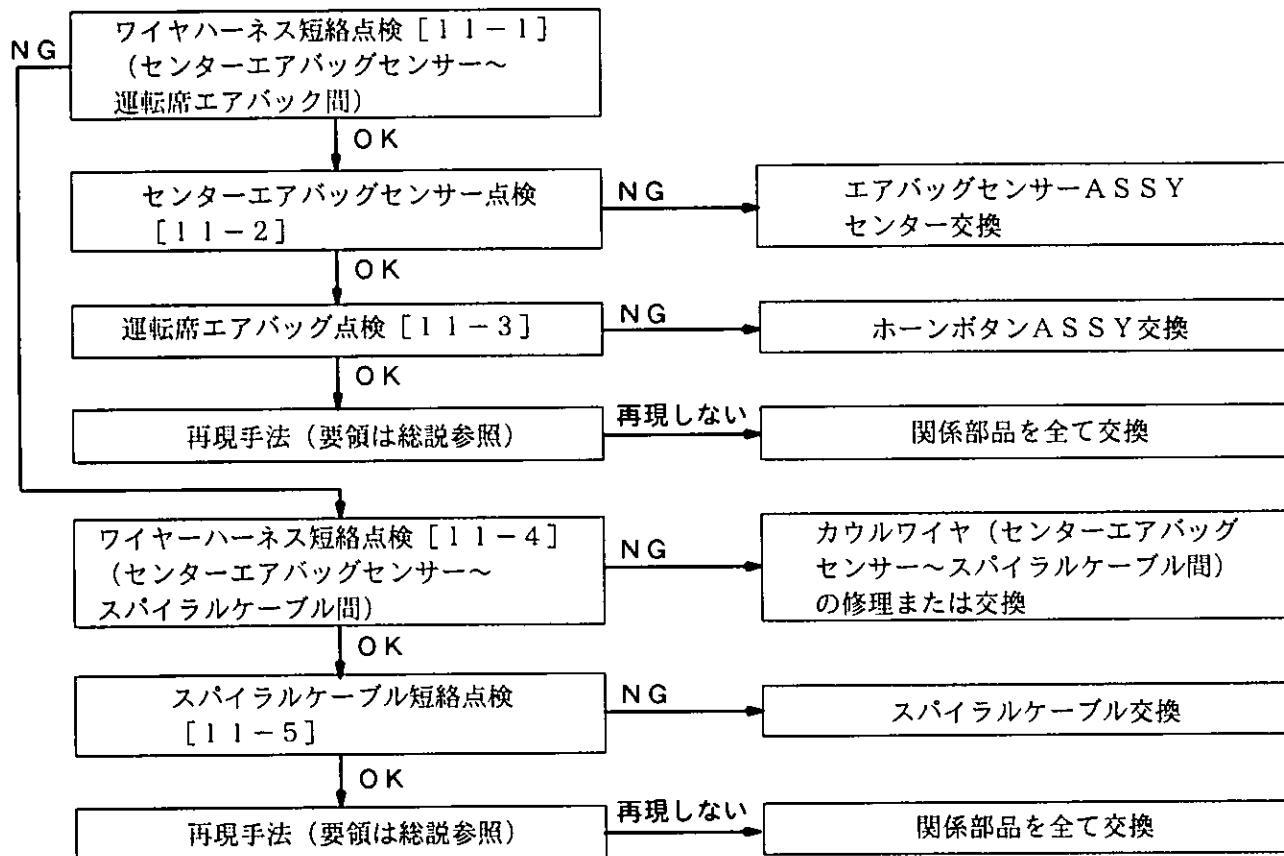
不具合現象別マトリクス

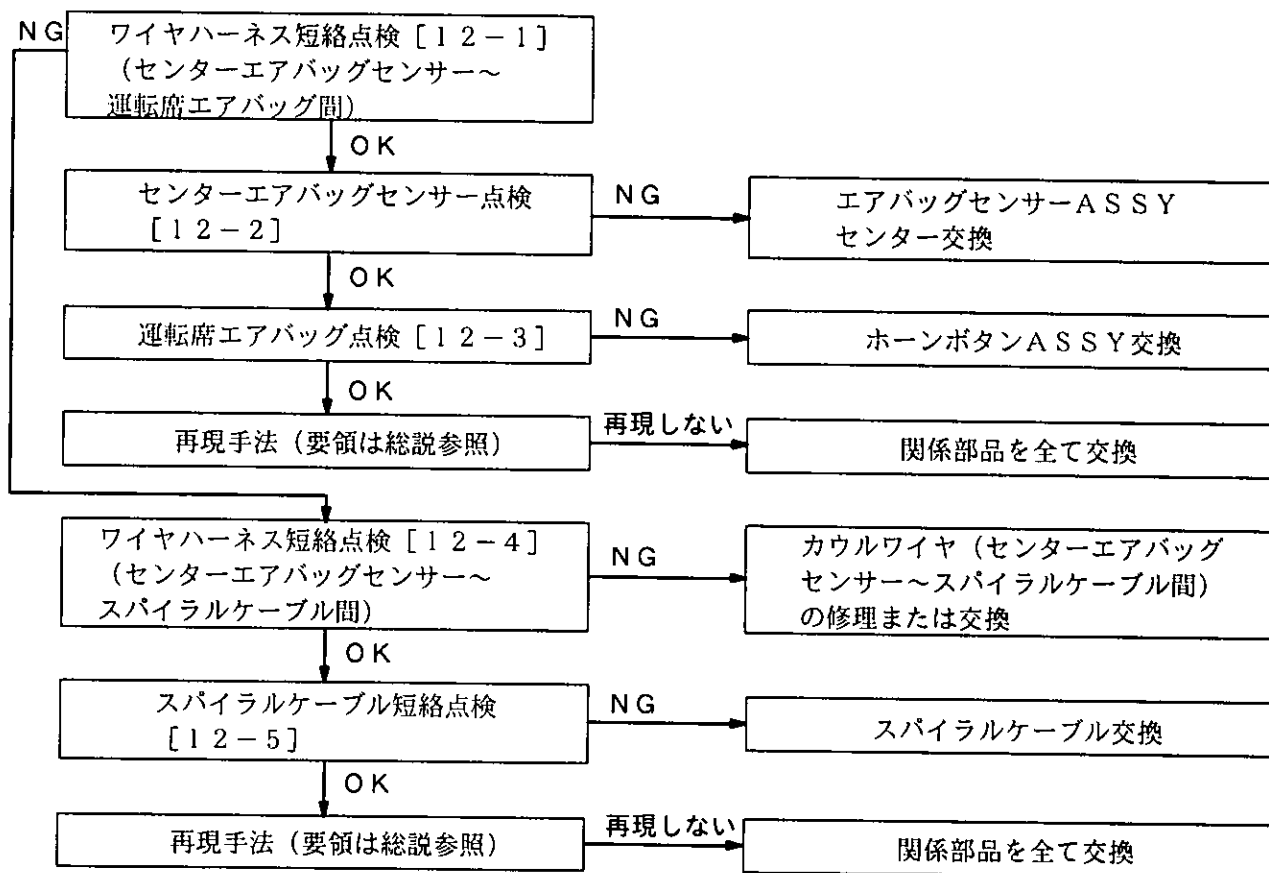
1. 不具合現象別トラブルシューティング

不具合現象	点検部位	該当フローチャート
IGスイッチOFF時、ウォーニングランプが点灯する。	ウォーニングランプ系統	3 0
ウォーニングランプがでたらめ表示する。	センターエアバッグセンサー	—
ウォーニングランプが点灯したが、ダイアグノーシスコードは正常表示する。	電源電圧系統	3 1
IGスイッチをACCまたはONにしてもウォーニングランプが不灯。	ウォーニングランプ系統	3 2
ウォーニングランプは正常表示するが、ダイアグノーシスコードが表示されない。(5 S-F E車)	ダイアグノーシスコネクターまたはT D C LのTc端子系統	3 3
ウォーニングランプは正常表示するが、ダイアグノーシスコードが表示されない。(除く5 S-F E車)	ダイアグノーシスコネクターまたはD L C 3のTc端子系統	3 4
ウォーニングランプがダイアグノーシスコードを常時表示する。(5 S-F E車)	ダイアグノーシスコネクターまたはT D C LのTc端子系統	3 5
ウォーニングランプがダイアグノーシスコードを常時表示する。(除く5 S-F E車)	ダイアグノーシスコネクターまたはD L C 3のTc端子系統	3 6

トラブルシューティング

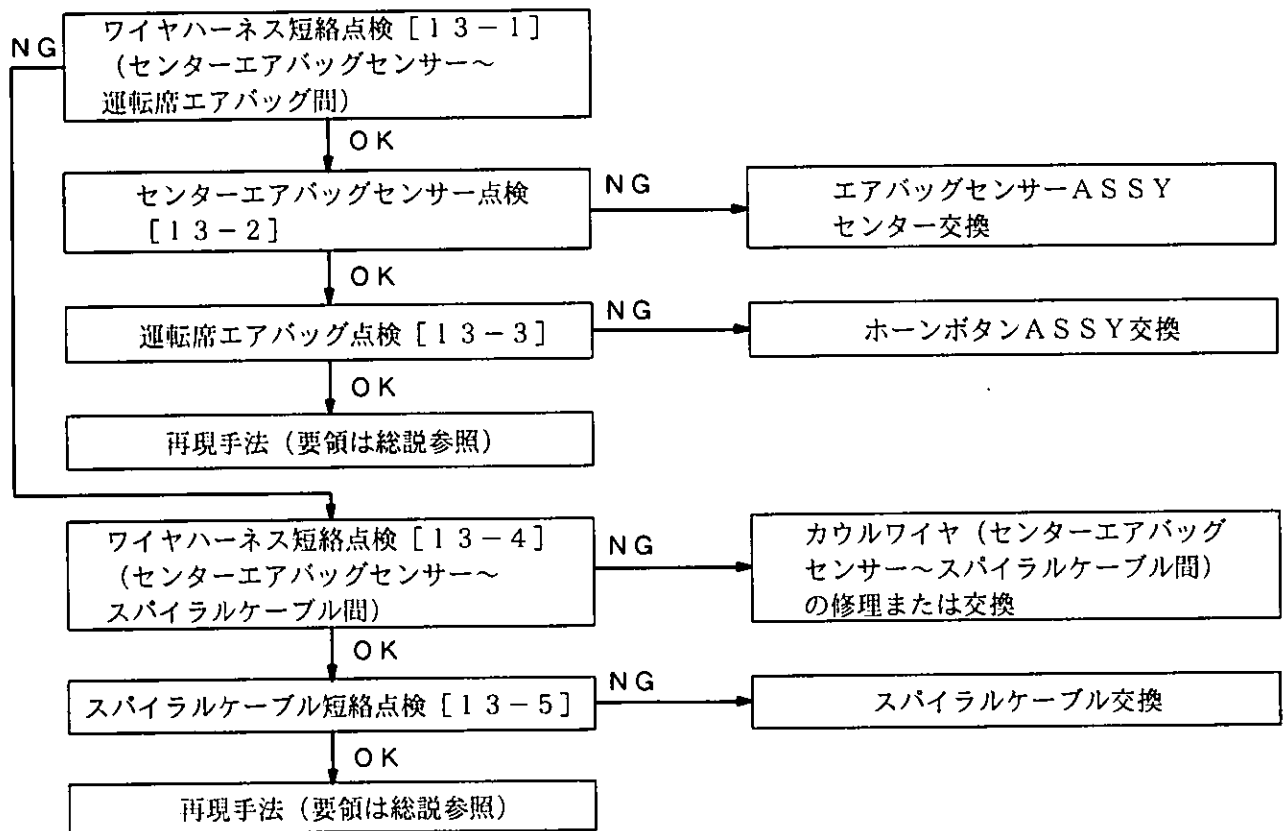
1. コードB0102 (11) 運転席エアバッグ点火回路 (アース短絡)



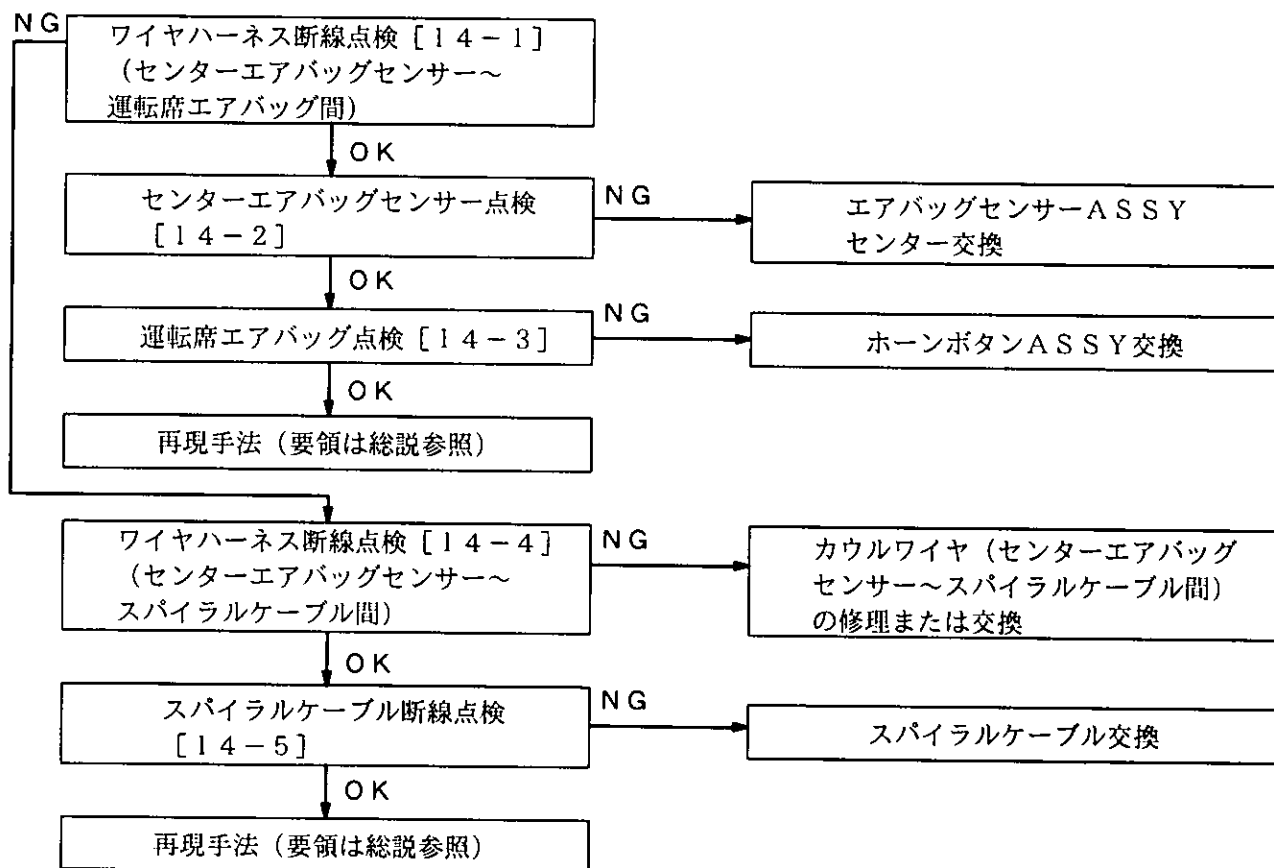
2. コードB0103 (12) 運転席エアバッグ点火回路
(+Bと短絡)

C53518

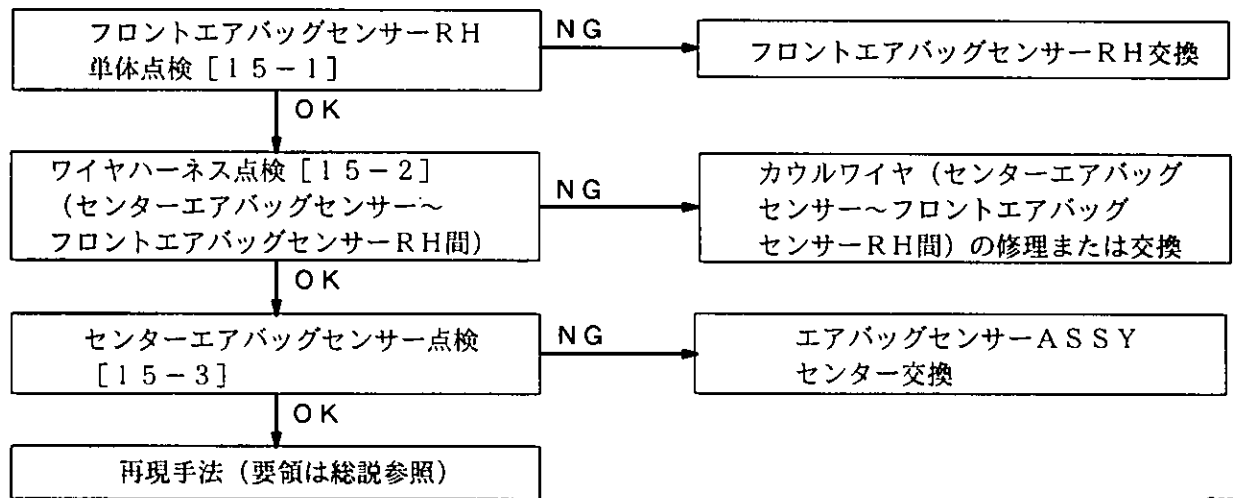
3. コードB0100 (13) 運転席エアバッグ点火回路
(D+~D-端子間短絡)



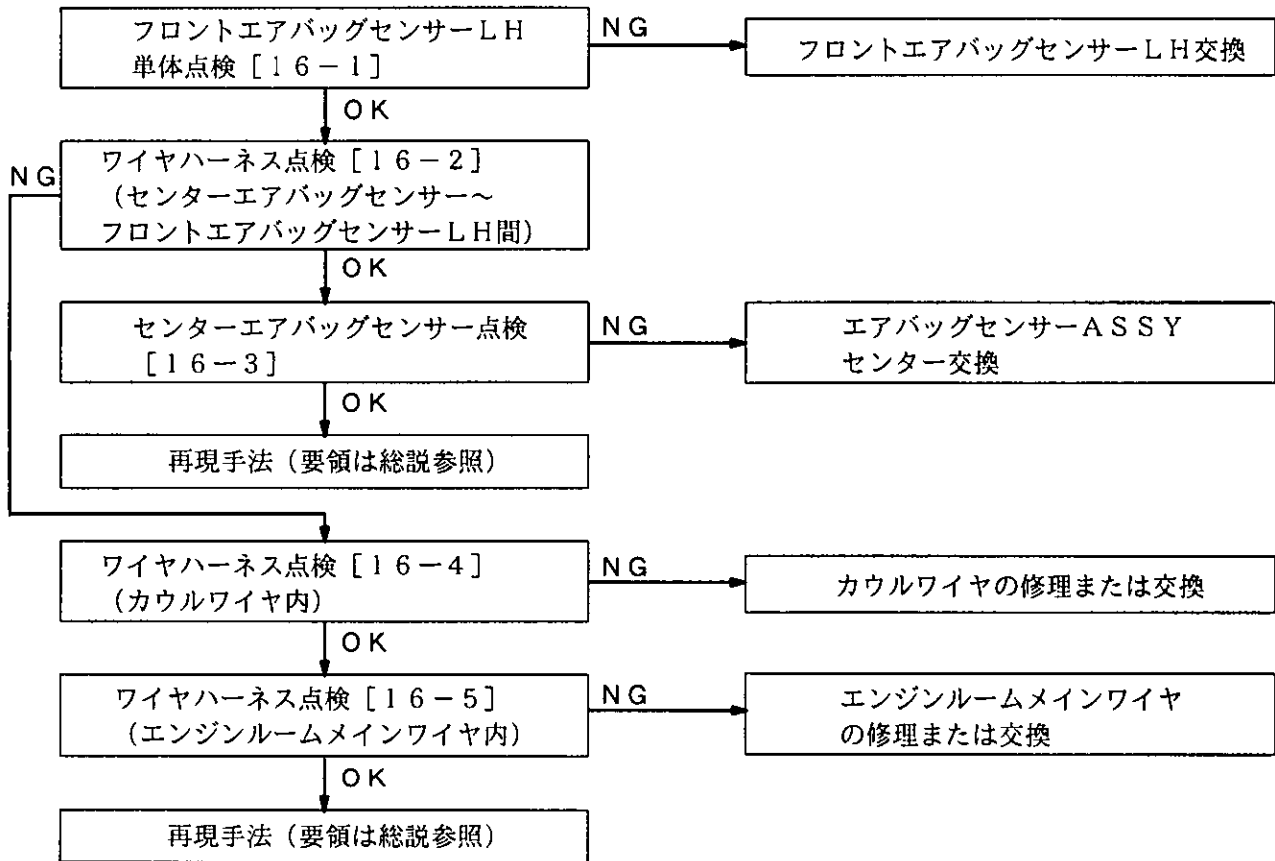
C53519

4. コードB0101 (14) 運転席エアバッグ点火回路
(D+~D-端子間断線)

C53520

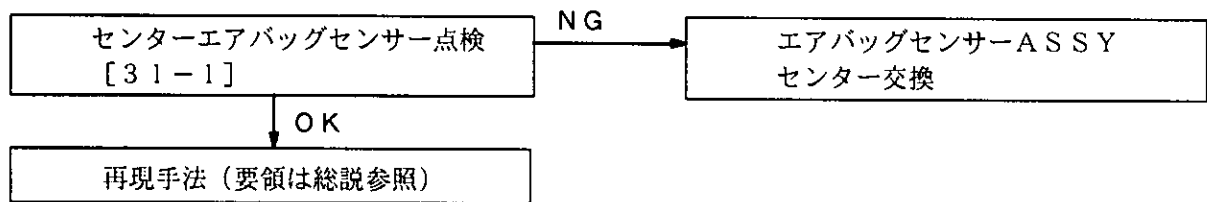
5. コードB1156、B1157 (15) フロントエアバッグ
センサーRH内部故障

C53521

6. コードB1158、B1159 (16) フロントエアバッグ
センサーLH内部故障

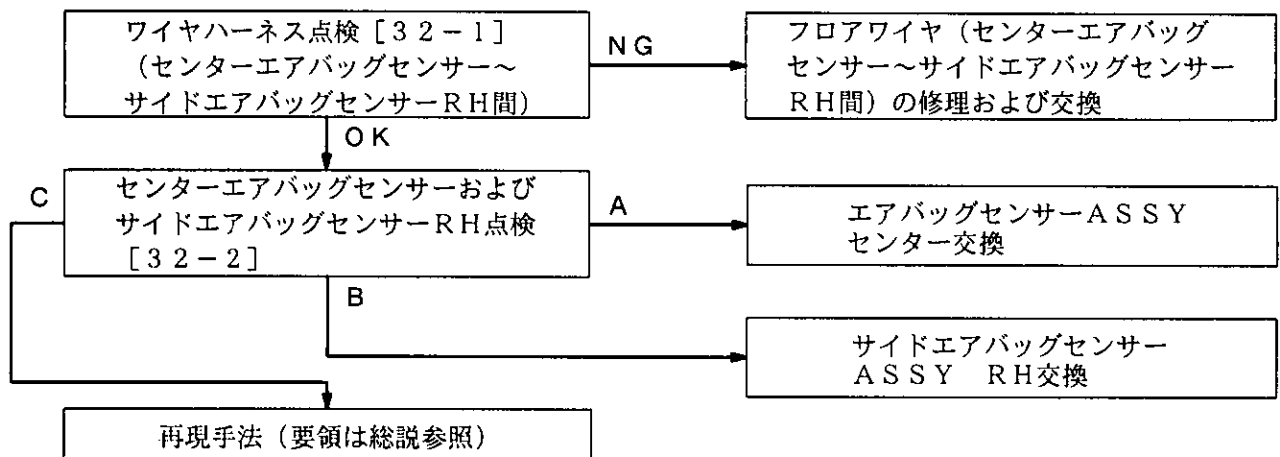
C55621

7. コードB1100 (31) センターエアバッグセンサー
内部故障

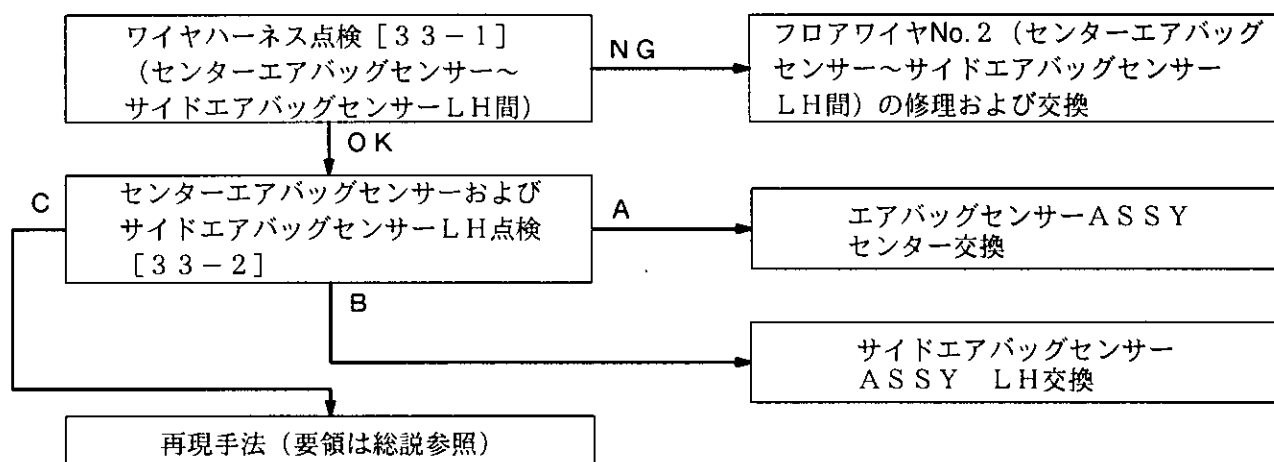


C53523

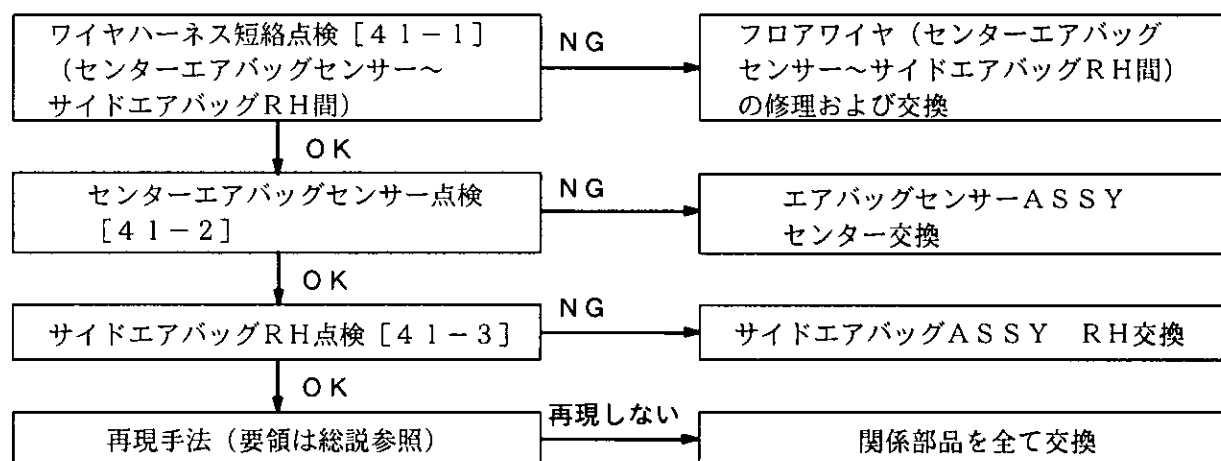
8. コードB1140 (32) サイドエアバッグセンサーRH
内部故障



C54011

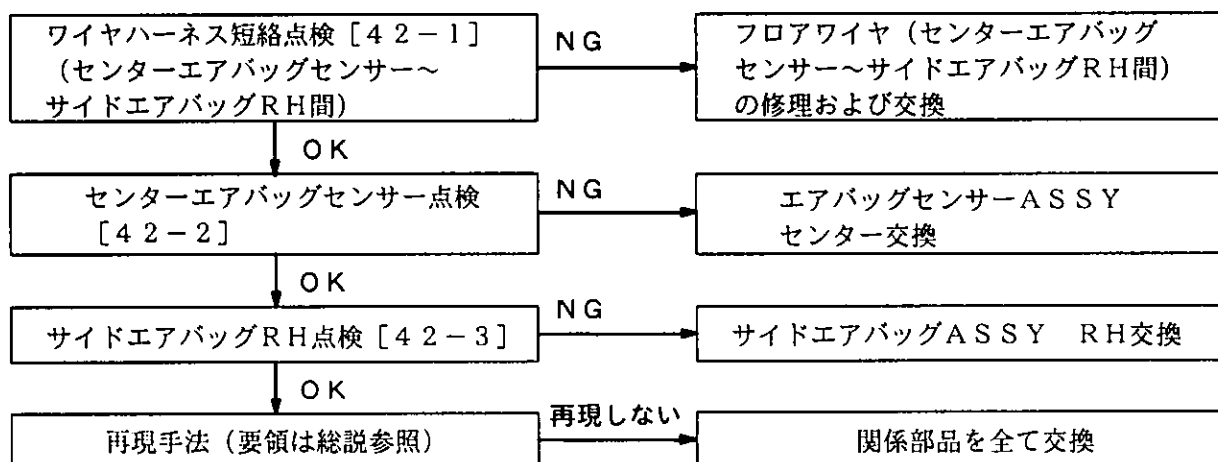
9. コードB1141 (33) サイドエアバッグセンサーLH
内部故障

C54012

10. コードB0112 (41) サイドエアバッグRH点火回路
(アース短絡)

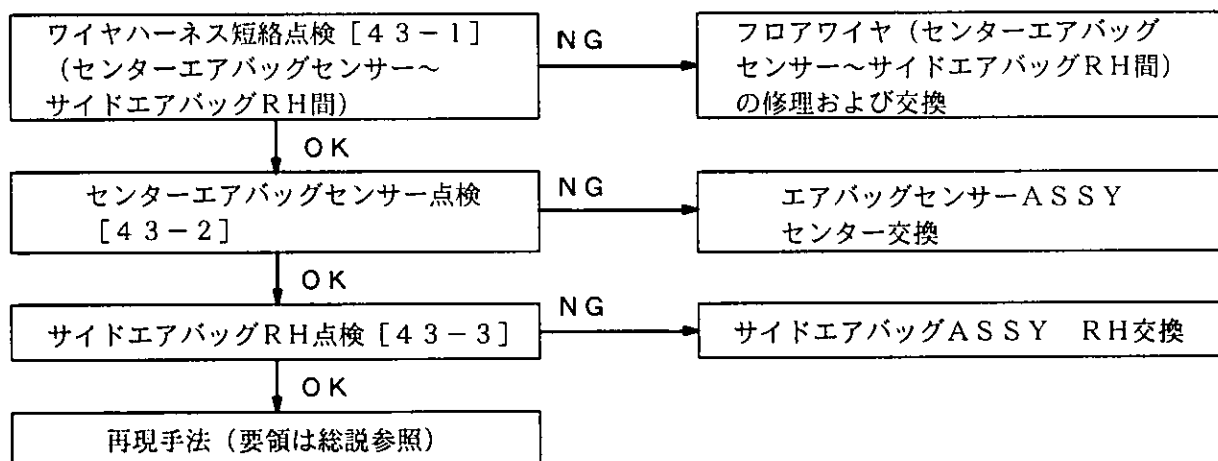
C54013

11. コードB0113 (42) サイドエアバッグRH点火回路
(+Bと短絡)

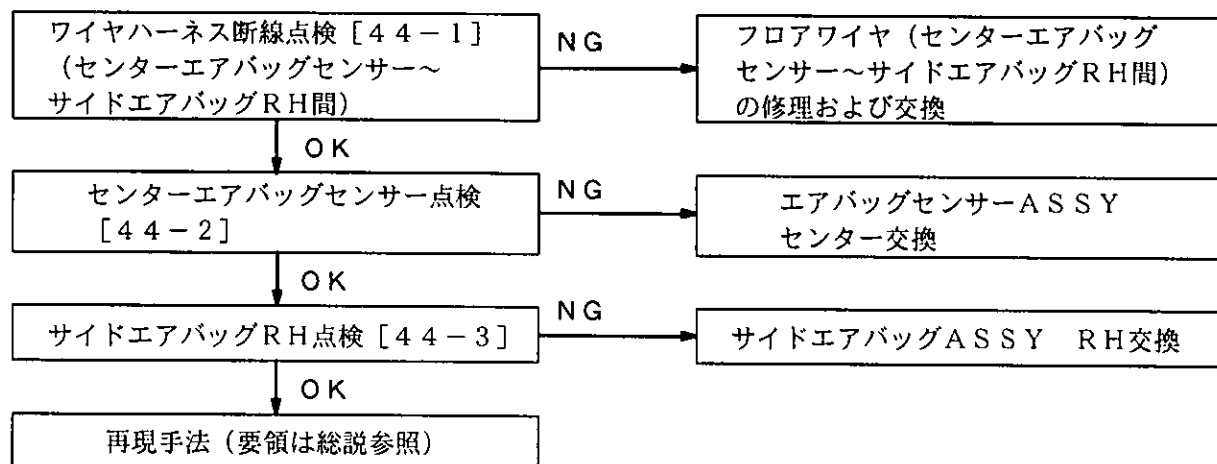


C54014

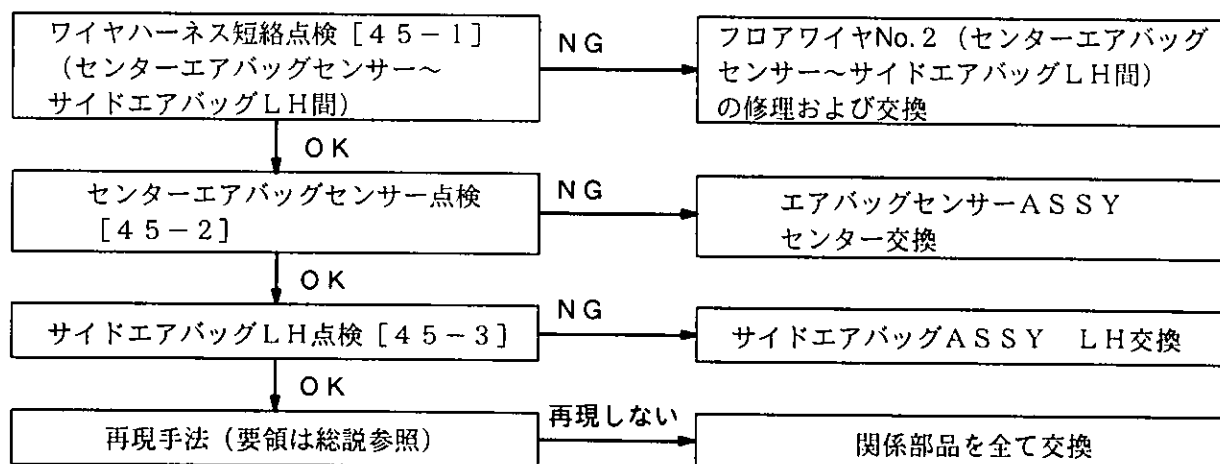
12. コードB0110 (43) サイドエアバッグRH点火回路
(FR+～FR-端子間短絡)



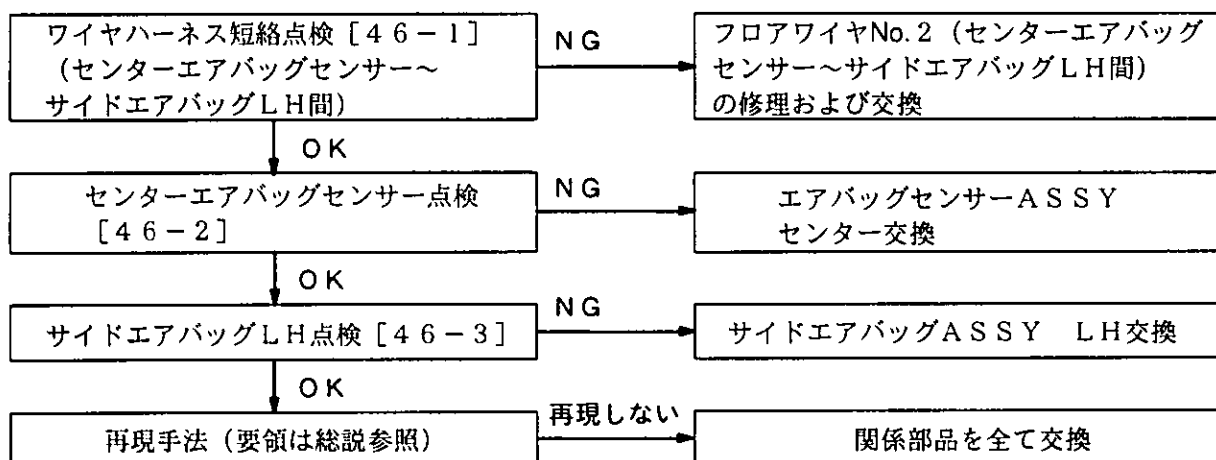
C54015

13. コードB0111 (44) サイドエアバッグRH点火回路
(FR+~FR-端子間断線)

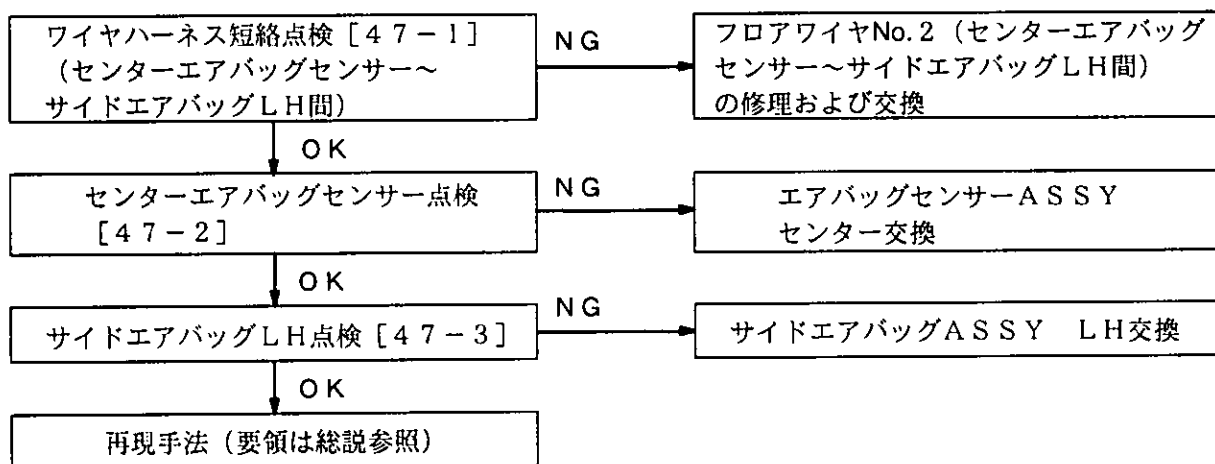
C54016

14. コードB0116 (45) サイドエアバッグLH点火回路
(アース短絡)

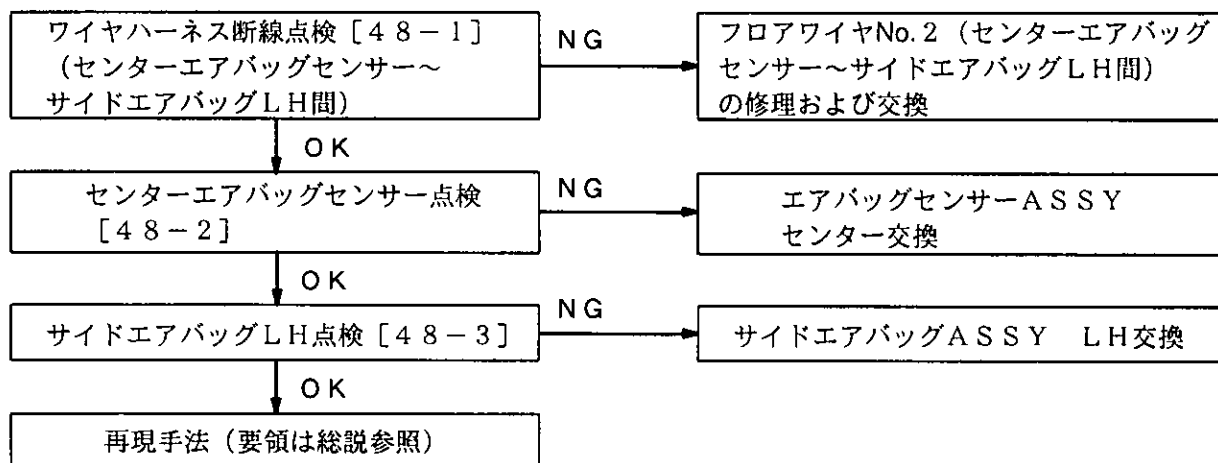
C54017

15. コードB0117 (46) サイドエアバッグLH点火回路
(+Bと短絡)

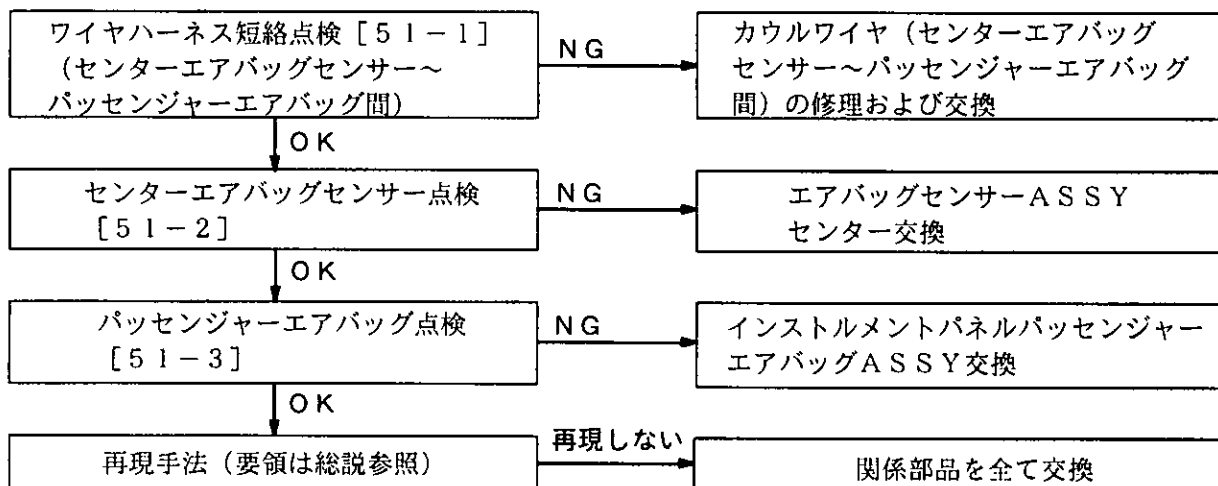
C54018

16. コードB0114 (47) サイドエアバッグLH点火回路
(FL+～FL-端子間短絡)

C54019

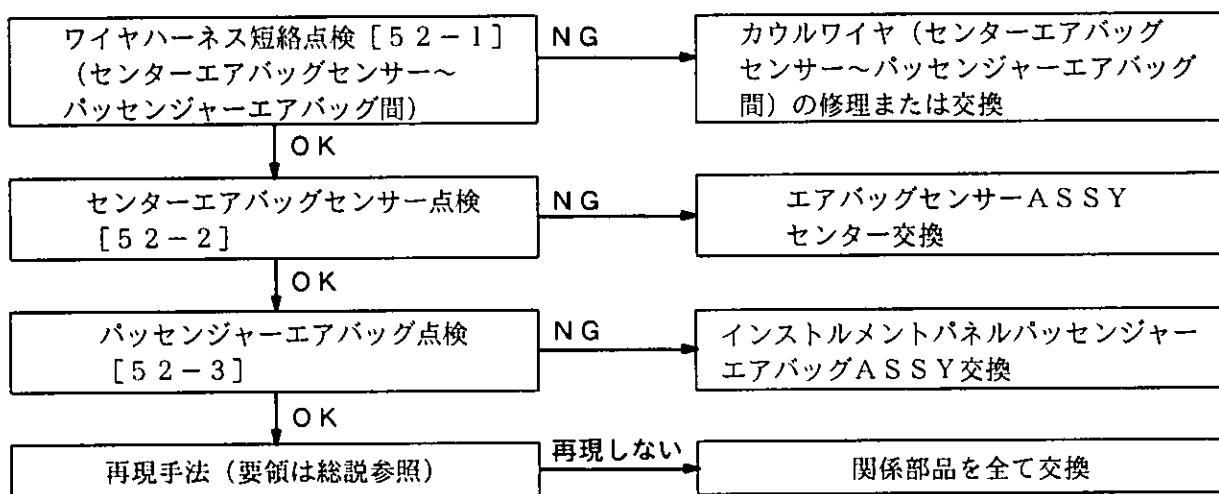
17. コードB0115 (48) サイドエアバッグLH点火回路
(FL+~FL-端子間断線)

C54020

18. コードB0107 (51) パッセンジャーエアバッグ点火回路
(アース短絡)

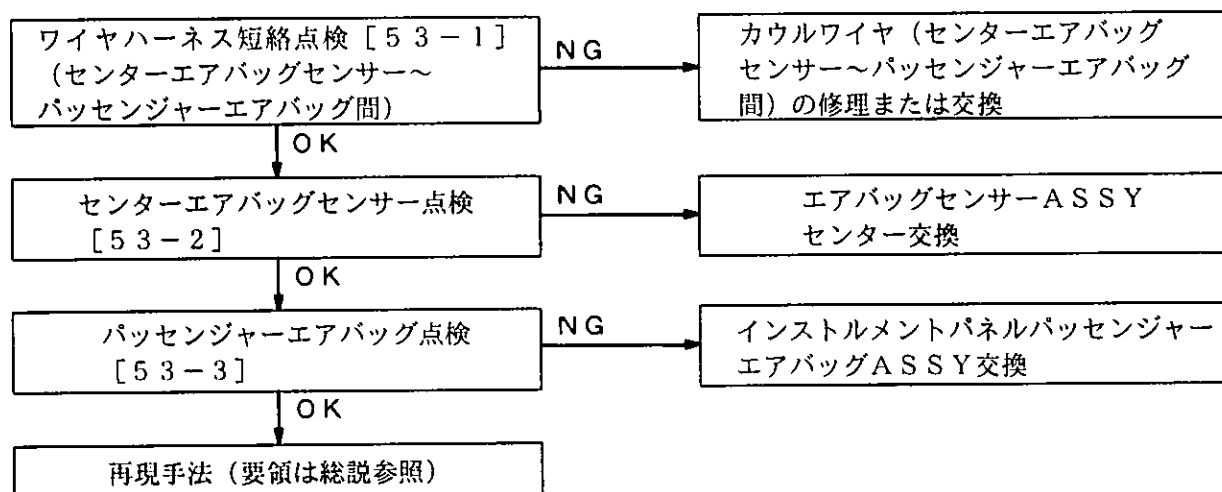
C53524

19. コードB0108 (52) パッセンジャーエアバッグ点火回路 (+Bと短絡)

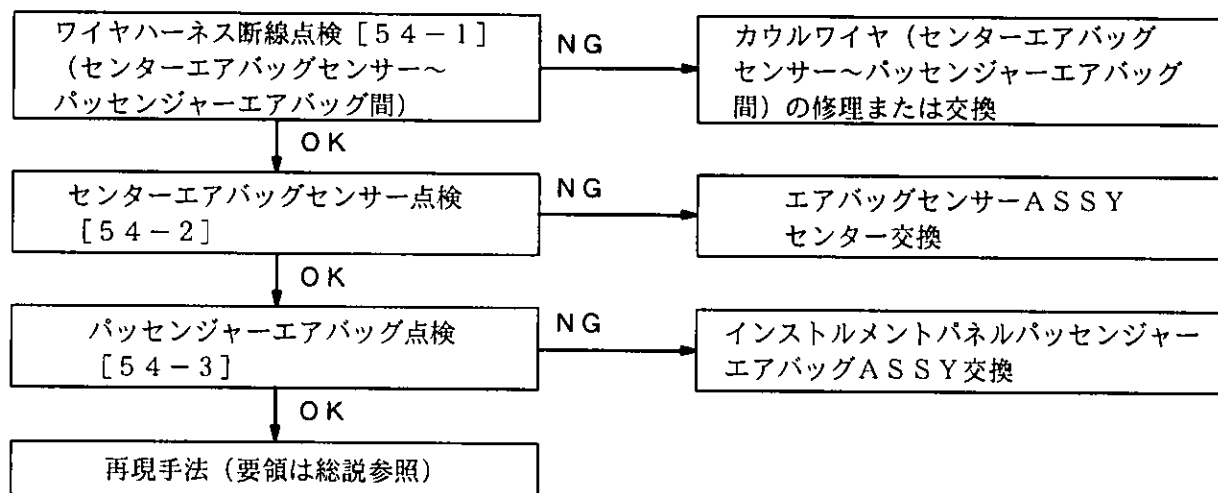


C53525

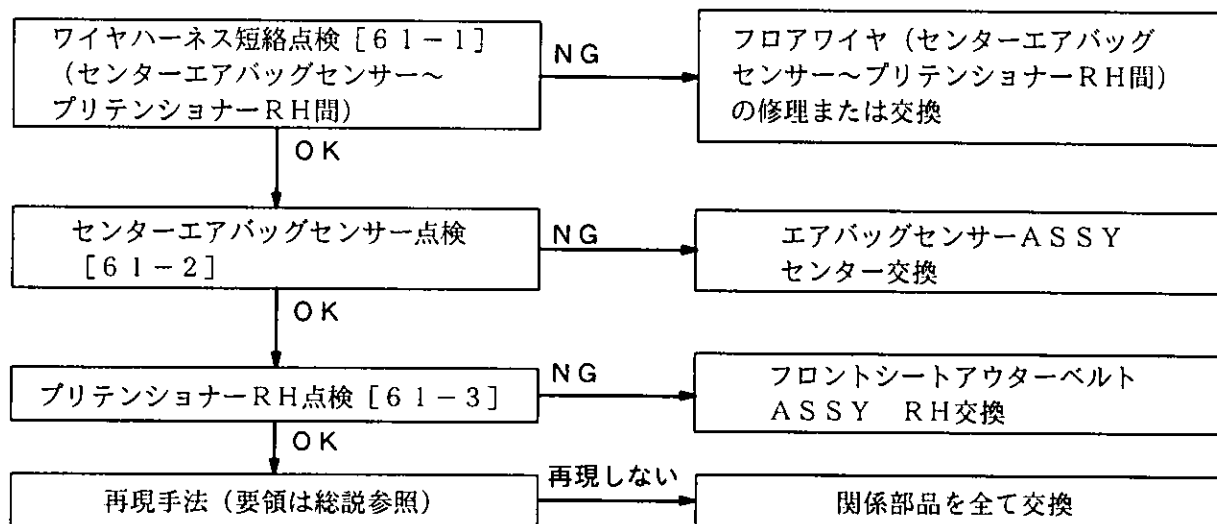
20. コードB0105 (53) パッセンジャーエアバッグ点火回路 (P+～P-端子間短絡)



C53526

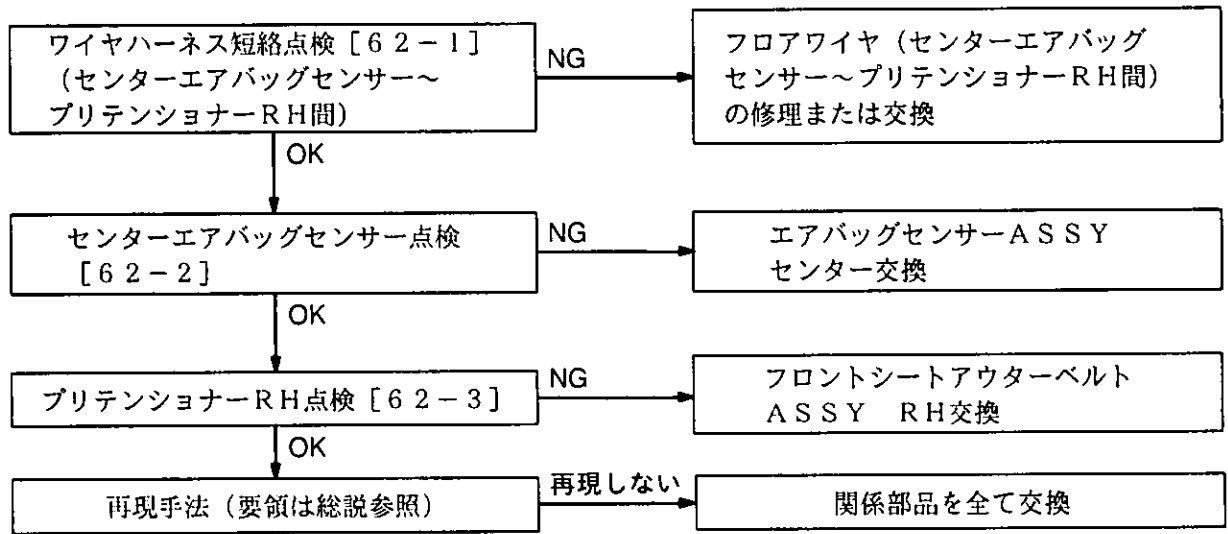
21. コードB0106 (54) パッセンジャーエアバッグ点火回路
(P+~P-端子間断線)

C53527

22. コードB0132 (61) プリテンショナーRH点火回路
(アース短絡)

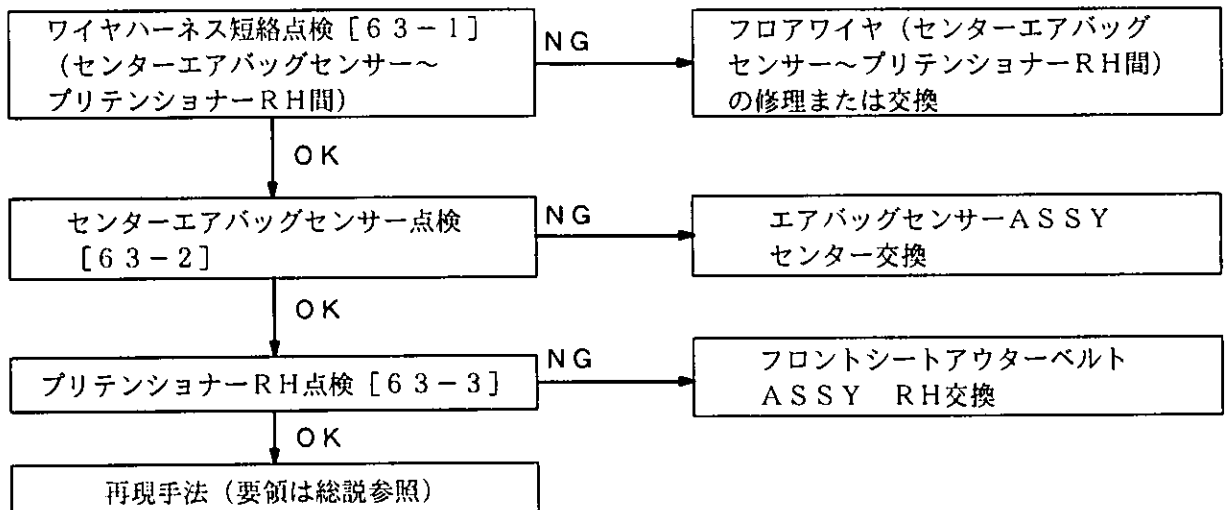
C55280

23. コードB0133 (62) プリテンショナーRH点火回路
(+Bと短絡)

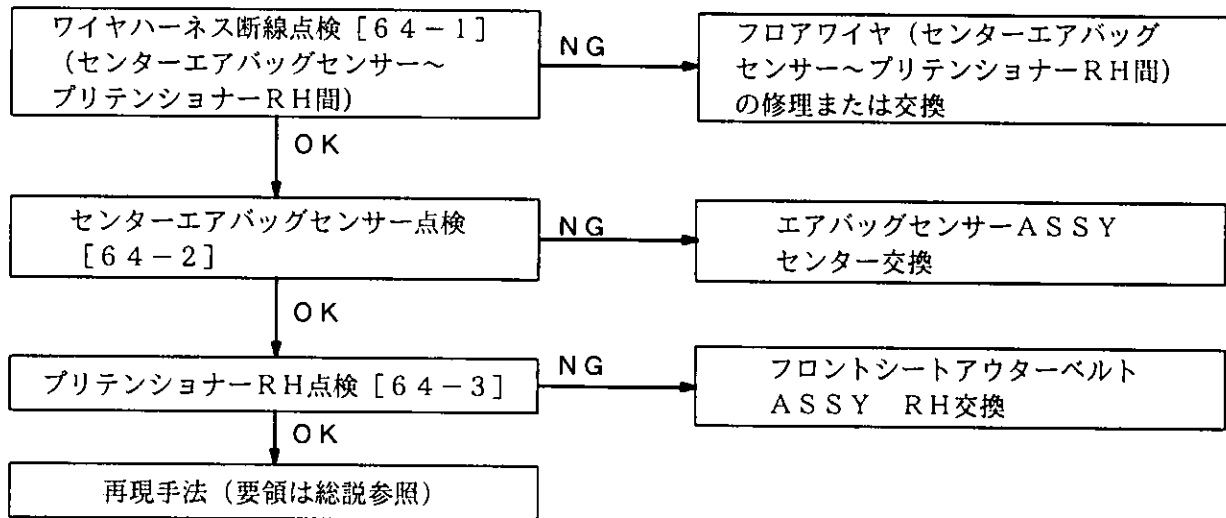


C55281

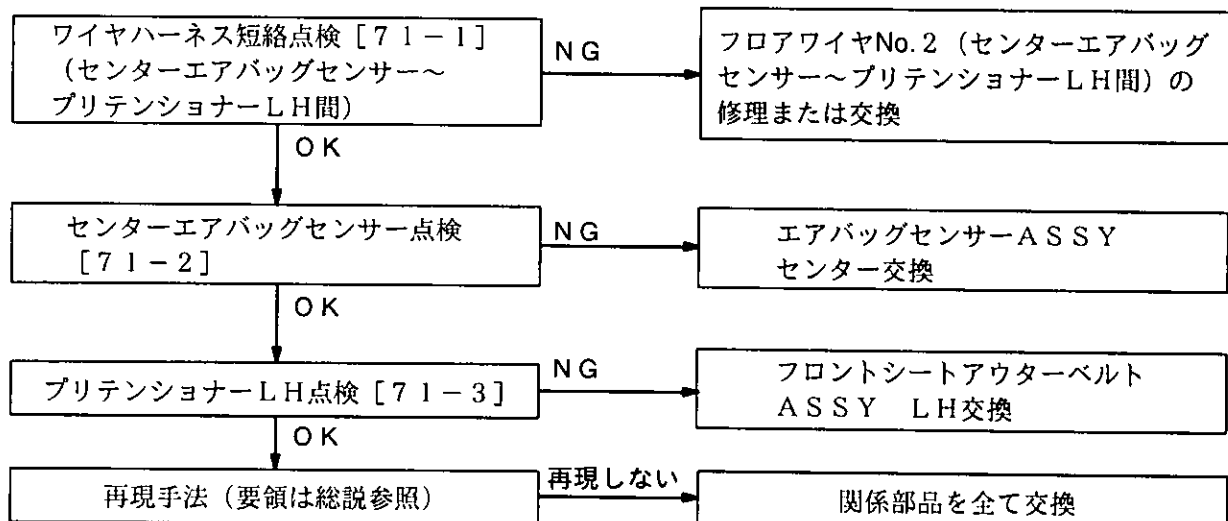
24. コードB0130 (63) プリテンショナーRH点火回路
(PR+～PR-端子間短絡)



C53530

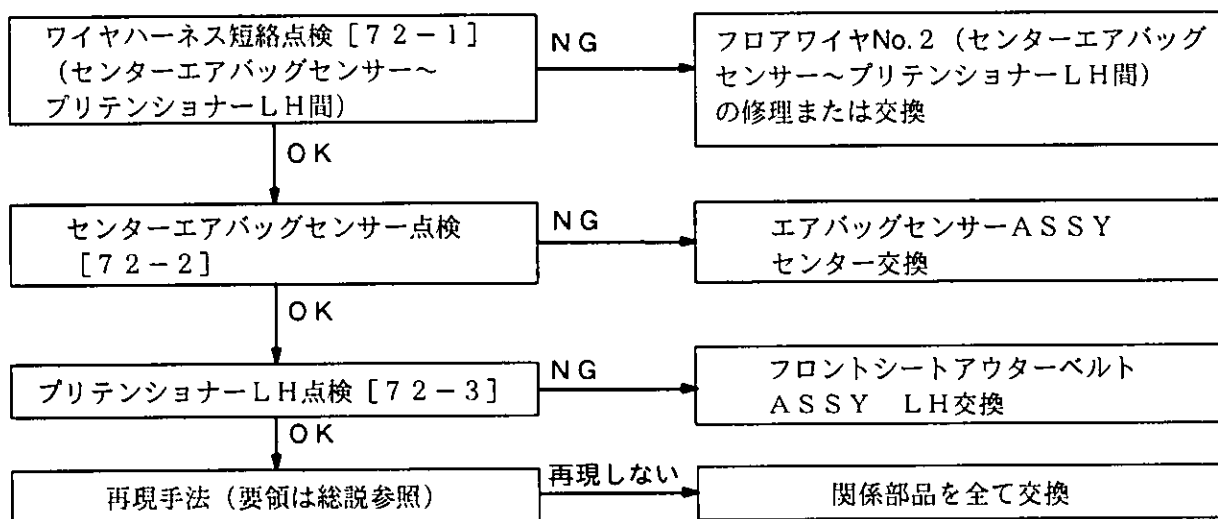
25. コードB0131 (64) プリテンショナーRH点火回路
(PR⁺~PR⁻端子間断線)

C53531

26. コードB0137 (71) プリテンショナーLH点火回路
(アース短絡)

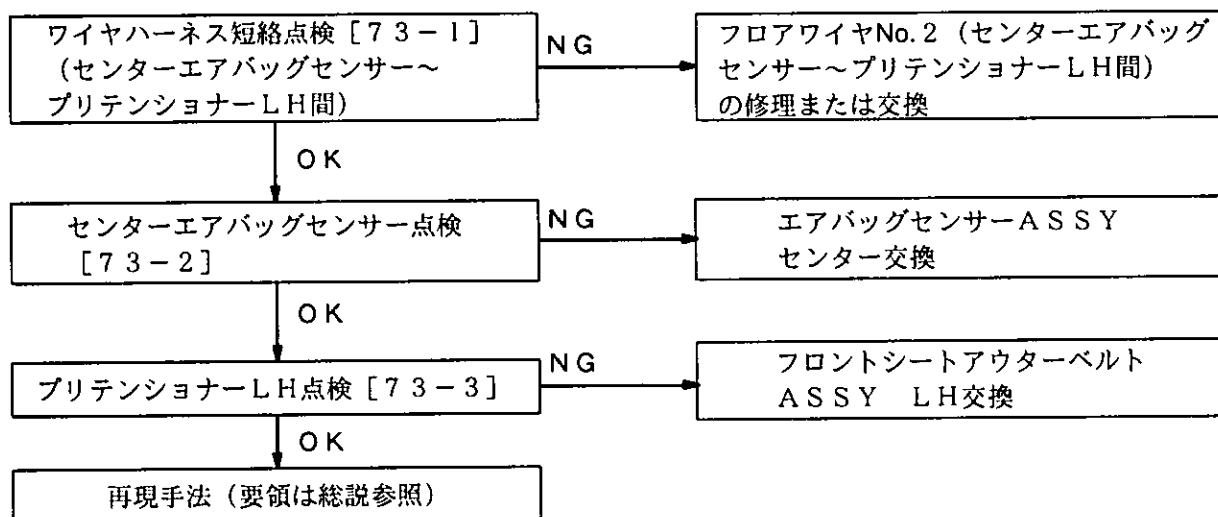
C55282

27. コードB0138 (72) プリテンショナーLH点火回路
(+Bと短絡)

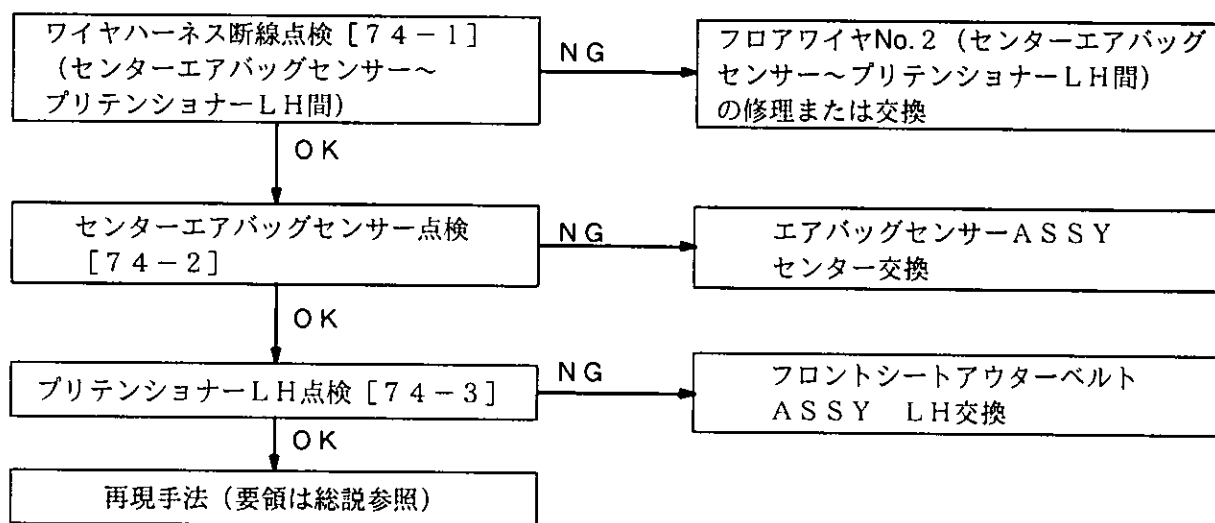


C55283

28. コードB0135 (73) プリテンショナーLH点火回路
(PL+～PL-端子間短絡)

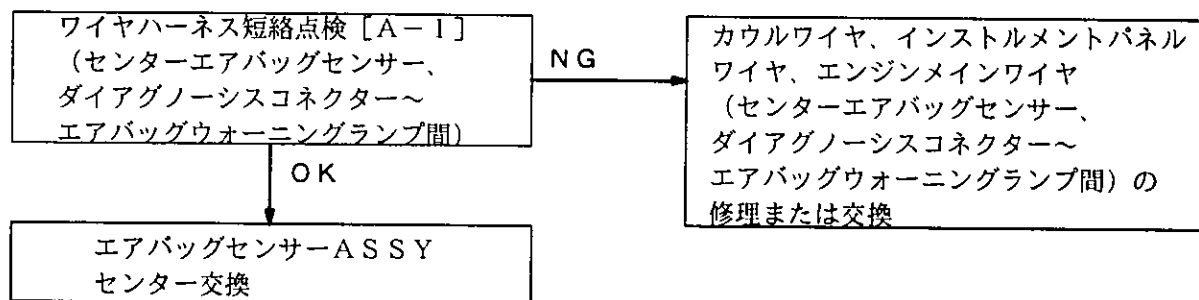


C53577

29. コードB0136 (74) プリテンショナーLH点火回路
(PL+~PL-端子間断線)

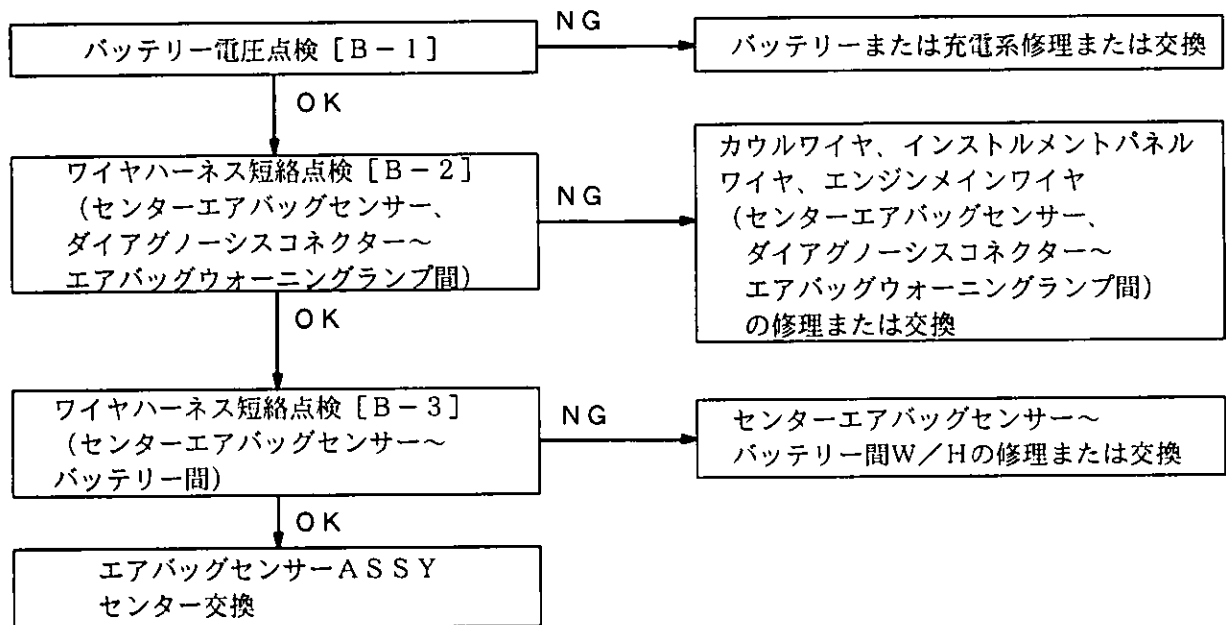
C53578

30. IGスイッチOFF時ウォーニングランプ常灯



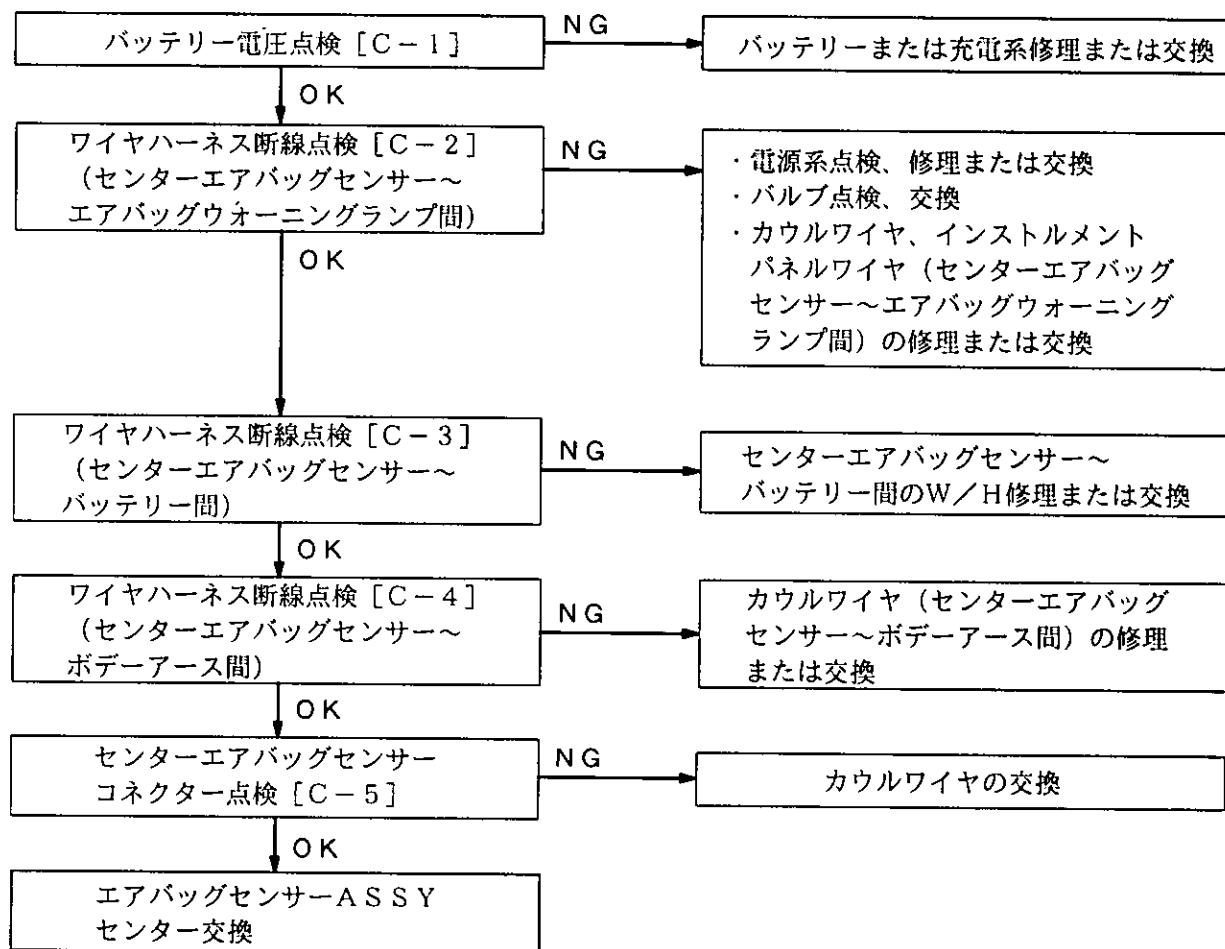
C54062

31. 電源電圧系



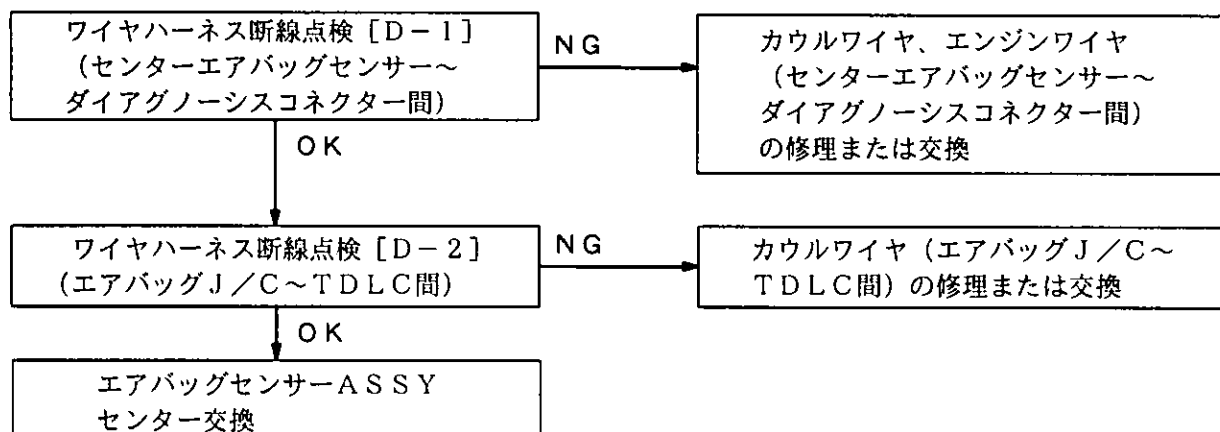
C54063

32. ウォーニングランプ不灯



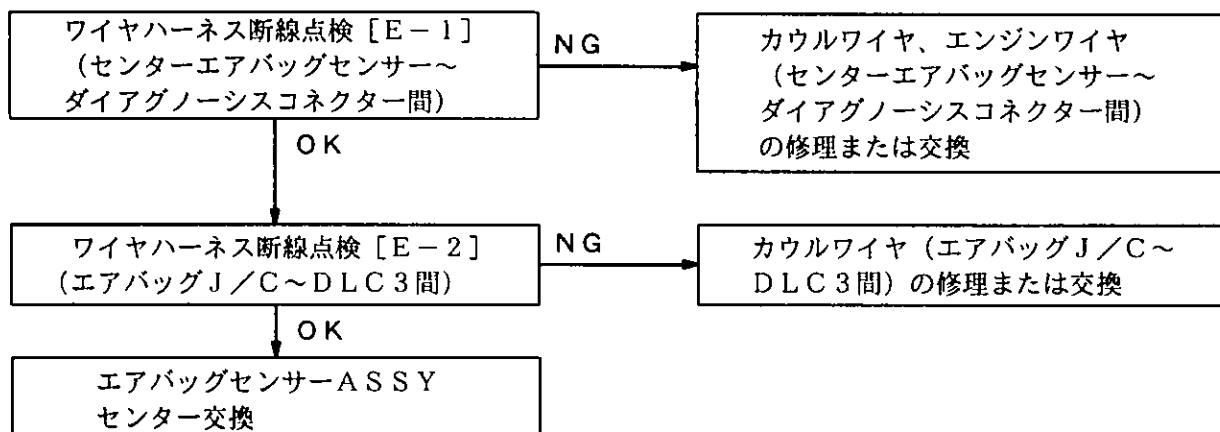
C54064

33. T_C端子回路 (5S-FE車)

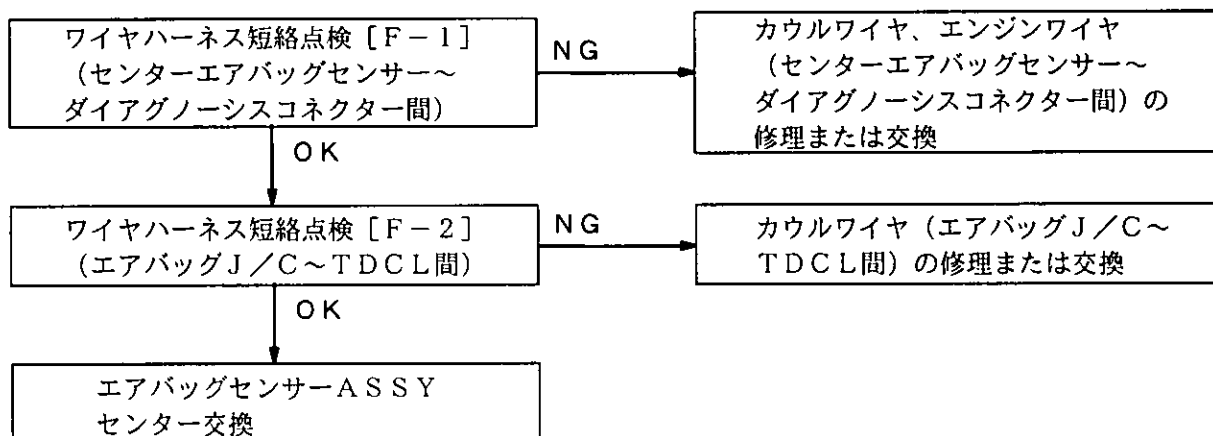


C54065

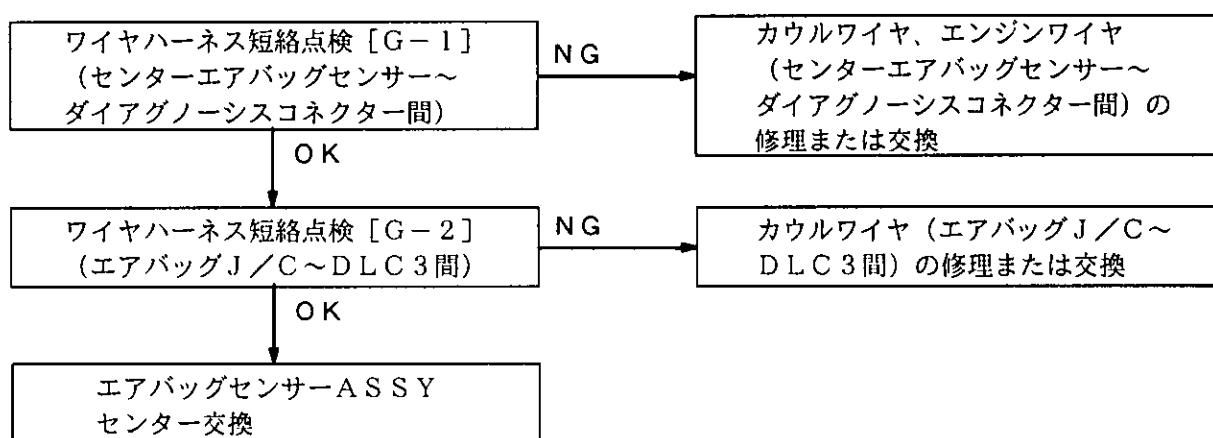
34. T_C端子回路 (除く5S-FE車)



C54066

35. T_C端子回路 (5S-FE車)

C54067

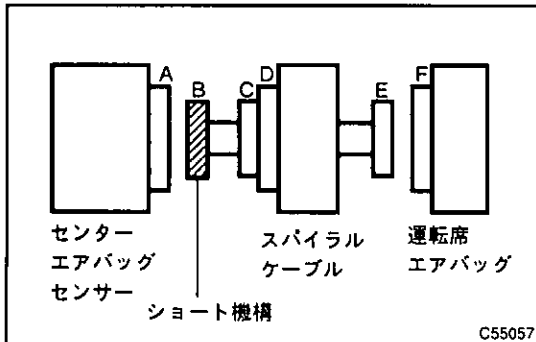
36. T_C端子回路 (除く5S-FE車)

C54894

点検要領

<注意>

点検要領でダイアグノーシスコード点検時に点検コード以外のコードが出力されるが無視してよい。



1. ワイヤハーネス短絡点検 [11-1]

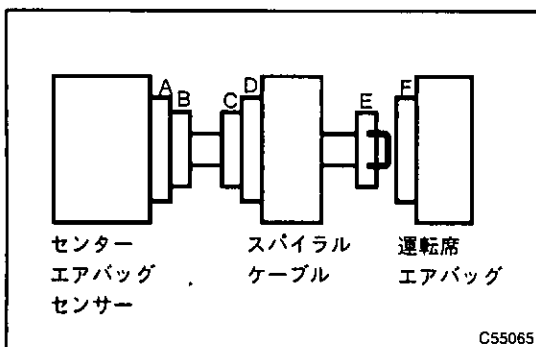
(センターエアバッグセンサー～運転席エアバッグ間)

- コネクターAとB、EとFを切り離す。
- SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



2. センターエアバッグセンサー点検 [11-2]

- コネクターAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子間を短絡する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

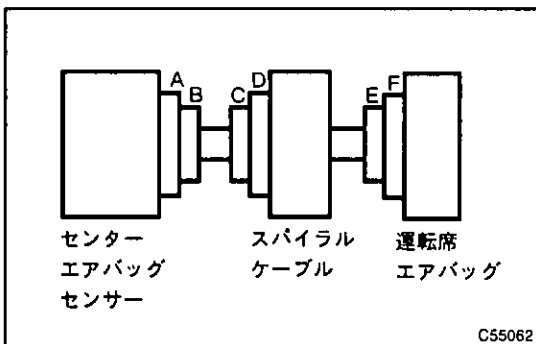
ダイアグノーシスコードB0102が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード11が出力されないこと



3. 運転席エアバッグ点検 [11-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクターEとFを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

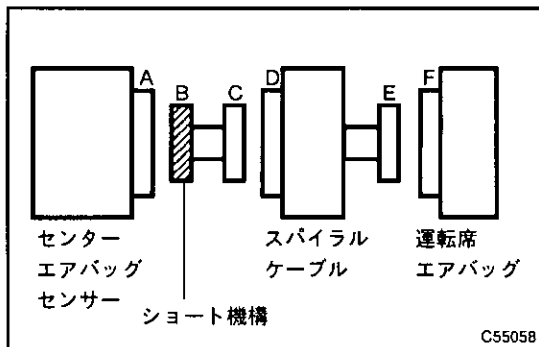
ダイアグノーシスコードB0102が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード11が出力されないこと



4. ワイヤハーネス短絡点検 [11-4]

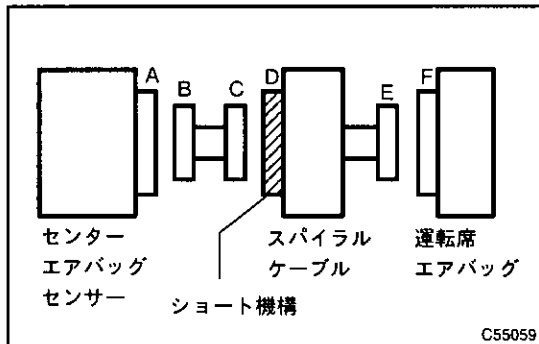
(センターエアバッグセンサー～スパイラルケーブル間)

- (a) コネクターCとDを切り離す。
 (b) SSTを使用して、コネクターCのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



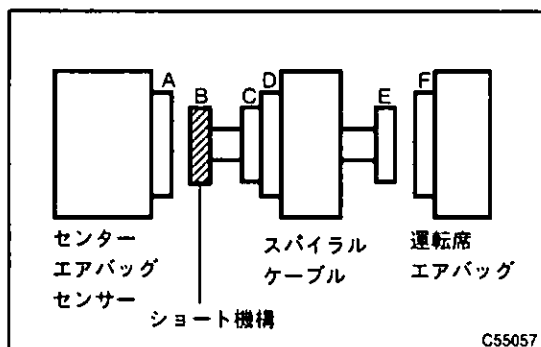
5. スパイラルケーブル短絡点検 [11-5]

- (a) SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



6. ワイヤハーネス短絡点検 [12-1]

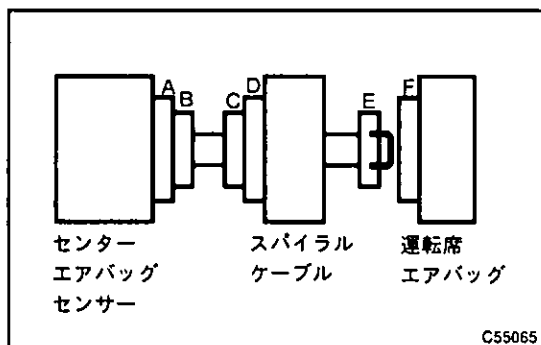
(センターエアバッグセンサー～運転席エアバッグ間)

- コネクターAとB、EとFを切り離す。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにする。
- SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下



7. センターエアバッグセンサー点検 [12-2]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクターAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子間を短絡する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

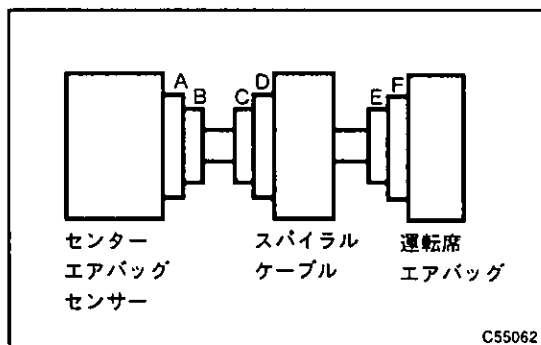
ダイアグノーシスコードB0103が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

ダイアグノーシスコード12が出力されないこと



8. 運転席エアバッグ点検 [12-3]

- バッテリーのターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクターEとFを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

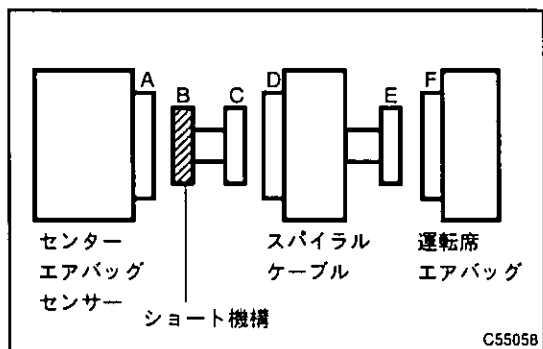
ダイアグノーシスコードB0103が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード12が出力されないこと



9. ワイヤハーネス短絡点検 [12-4]

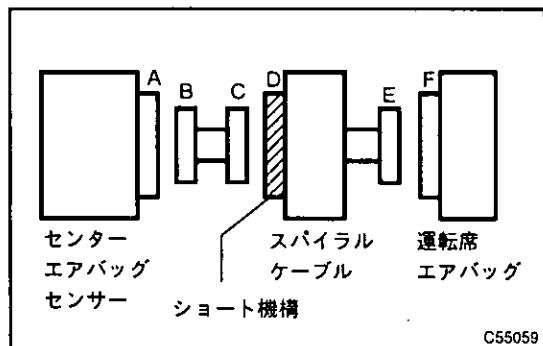
(センターエアバッグセンサー～スパイラルケーブル間)

- (a) コネクターCとDを切り離す。
 (b) SSTを使用して、コネクターCのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下



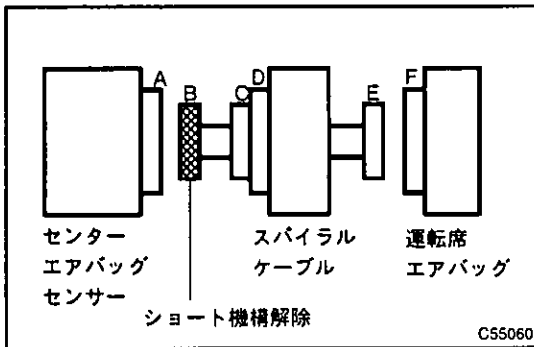
10. スパイラルケーブル短絡点検 [12-5]

- (a) SSTを使用して、コネクターEのD⁺、D⁻端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下



11. ワイヤハーネス短絡点検 [13-1]

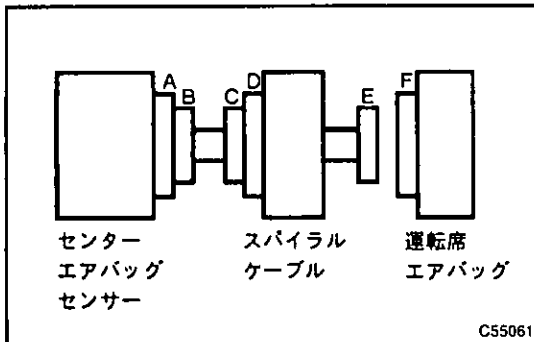
(センターエアバッグセンサー～運転席エアバッグ間)

- コネクタAとB、EとFを切り離す。
- コネクタBのショート機構 (D⁺、D⁻) を解除する。
- SSTをコネクタEのD⁺、D⁻端子にあて、コネクタB～コネクタE間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ 以上



12. センターエアバッグセンサー点検 [13-2]

- コネクタAとBを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3 使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

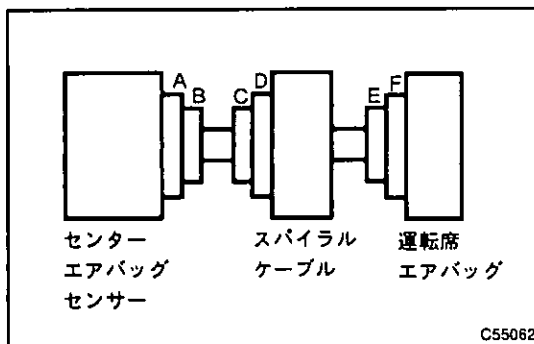
ダイアグノーシスコードB0100が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード13が出力されないこと



13. 運転席エアバッグ点検 [13-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタEとFを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3 使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

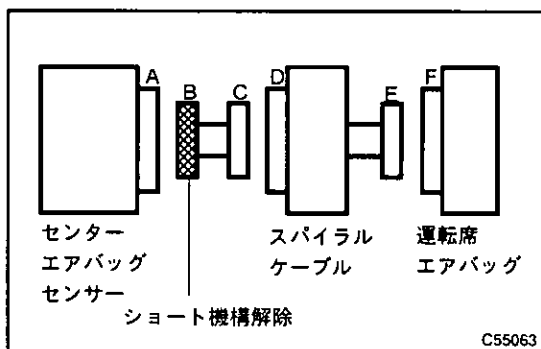
ダイアグノーシスコードB0100が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード13が出力されないこと



14. ワイヤハーネス短絡点検 [13-4]

(センターエアバッグセンサー～スパイラルケーブル間)

- (a) コネクターCとDを切り離す。

<注意>

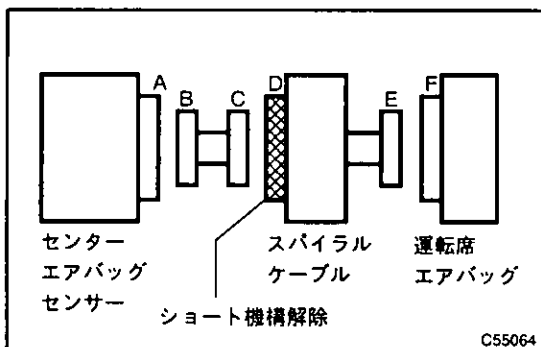
コネクターBのショート機構は解除された状態のこと。

- (b) SSTをコネクターCのD
- ⁺
- 、D
- ⁻
- 端子にあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



15. スパイラルケーブル短絡点検 [13-5]

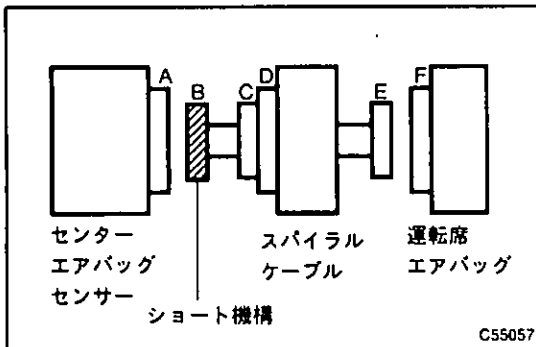
- (a) コネクターDのショート機構 (D
- ⁺
- 、D
- ⁻
-) を解除する。

- (b) SSTをコネクターEのD
- ⁺
- 、D
- ⁻
- 端子にあて、スパイラルケーブル間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



16. ワイヤハーネス断線点検 [14-1]

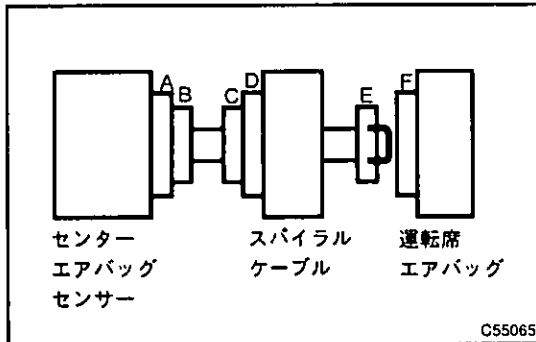
(センターエアバッグセンサー～運転席エアバッグ間)

- コネクタAとB、EとFを切り離す。
- SSTをコネクタEのD⁺、D⁻端子にあて、コネクタB～コネクタE間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下



17. センターエアバッグセンサー点検 [14-2]

- コネクタAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクタEのD⁺、D⁻端子間を短絡する
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

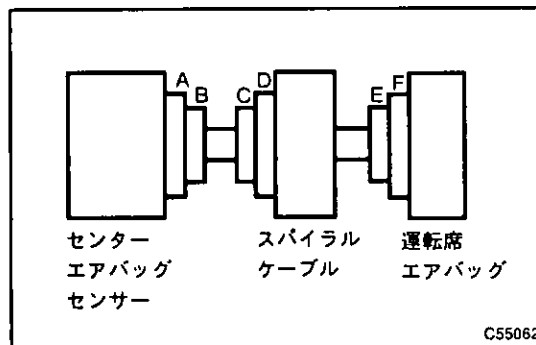
ダイアグノーシスコードB0101が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード14が出力されないこと



18. 運転席エアバッグ点検 [14-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタEとFを接続する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

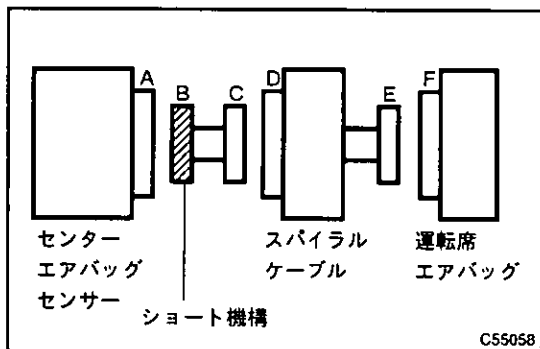
ダイアグノーシスコードB0101が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード14が出力されないこと



19. ワイヤハーネス断線点検 [14-4]

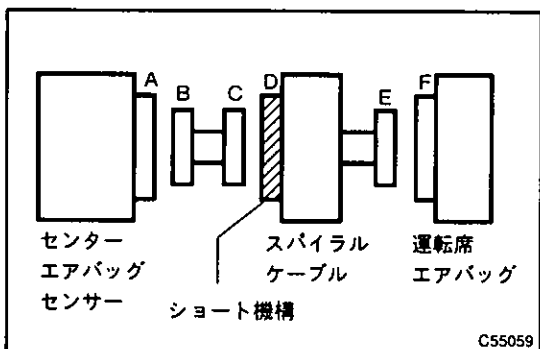
(センターエアバッグセンサー～スパイラルケーブル間)

- (a) コネクターCとDを切り離す。
- (b) SSTをコネクターCのD⁺、D⁻端子にあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 Ω以下



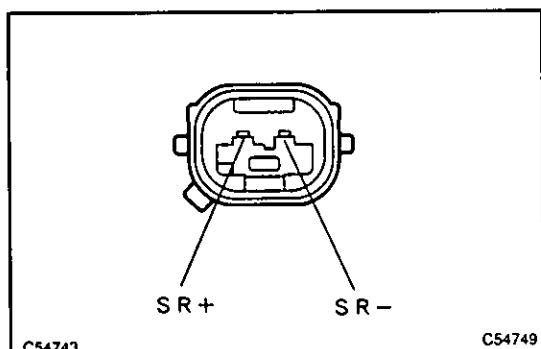
20. スパイラルケーブル断線点検 [14-5]

- (a) SSTをコネクターEのD⁺、D⁻端子にあて、スパイラルケーブル間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 Ω以下

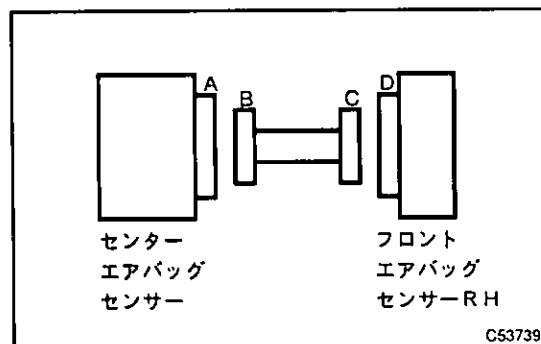


21. フロントエアバックセンサーRH単体点検 [15-1]
- (a) フロントエアバックセンサーRHとカウルワイヤを切り離す。
- (b) SSTをフロントエアバックセンサーRHのSR⁺、SR⁻端子にあて、抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

754~886Ω



22. ワイヤハーネス点検 [15-2]
(センターエアバックセンサー〜フロントエアバックセンサーRH間)
- (a) コネクターAとBを切り離す。
- (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにする。
- (c) SSTを使用して、コネクターCのSR⁺、SR⁻端子〜ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下

- (d) SSTを使用して、コネクターCのSR⁺、SR⁻端子〜ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

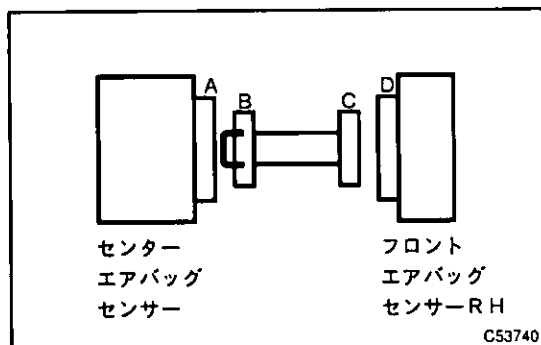
1MΩ以上

- (e) SSTをコネクターCのSR⁺、SR⁻端子にあて、コネクターB〜コネクターC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1MΩ以上



- (f) SSTを使用して、コネクターBのSR⁺、SR⁻端子間を短絡する。

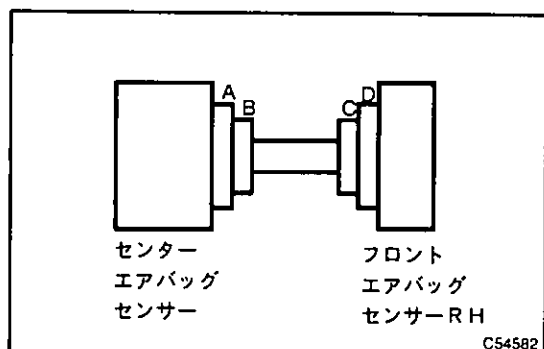
SST 09843-18040

- (g) SSTをコネクターCのSR⁺、SR⁻端子にあて、コネクターB〜コネクターC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下



23. センターエアバッグセンサー点検 [15-3]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターAとB、CとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。
 - (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

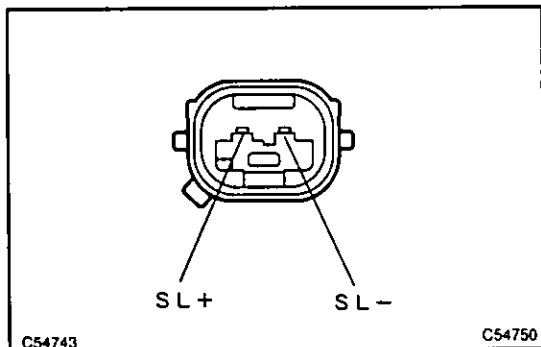
基 準

ダイアグノーシスコードB1156、B1157が出力されないこと
 - (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基 準

ダイアグノーシスコード15が出力されないこと



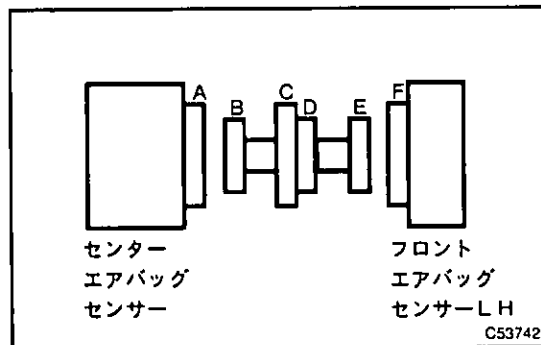
24. フロントエアバックセンサーLH単体点検 [16-1]

- (a) フロントエアバックセンサーLHとエンジンルームメインワイヤを切り離す。
- (b) SSTをフロントエアバックセンサーLHのSL⁺、SL⁻端子にあて、抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

754~886Ω



25. ワイヤハーネス点検 [16-2]

(センターエアバックセンサー~フロントエアバックセンサーLH間)

- (a) コネクターAとBを切り離す。
- (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにする。
- (c) SSTを使用して、コネクターEのSL⁺、SL⁻端子~ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下

- (d) SSTを使用して、コネクターEのSL⁺、SL⁻端子~ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

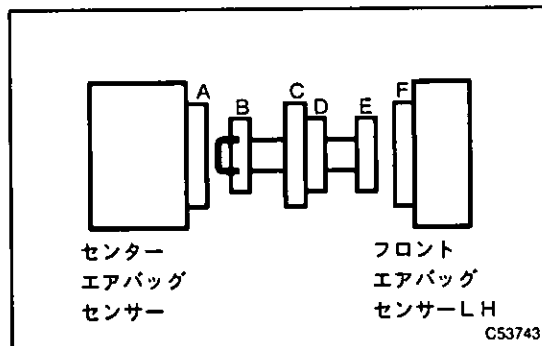
1MΩ以上

- (e) SSTをコネクターEのSL⁺、SL⁻端子にあて、コネクターB~コネクターE間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1MΩ以上



- (f) SSTを使用して、コネクターBのSL⁺、SL⁻端子間を短絡する。

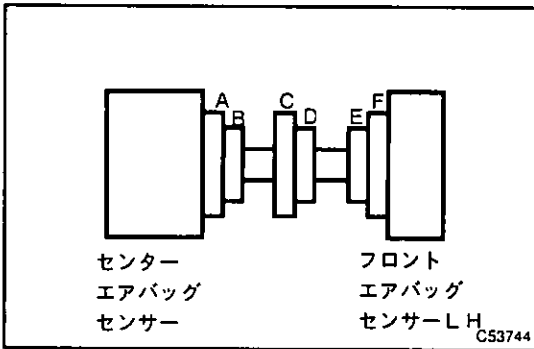
計器 09843-18040

- (g) SSTをコネクターEのSL⁺、SL⁻端子にあて、コネクターB~コネクターE間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下



26. センターエアバッグセンサー点検 [16-3]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターEとFを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコードB1158、B1159が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード16が出力されないこと

27. ワイヤハーネス点検 [16-4]

(カウルワイヤ内)

- (a) コネクターCとDを切り離す。
- (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにする。
- (c) SSTを使用して、コネクターCのSL⁺、SL⁻端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下

- (d) SSTを使用して、コネクターCのSL⁺、SL⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1MΩ以上

- (e) SSTをコネクターCのSL⁺、SL⁻端子にあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1MΩ以上

- (f) SSTを使用して、コネクターBのSL⁺、SL⁻端子間を短絡する。

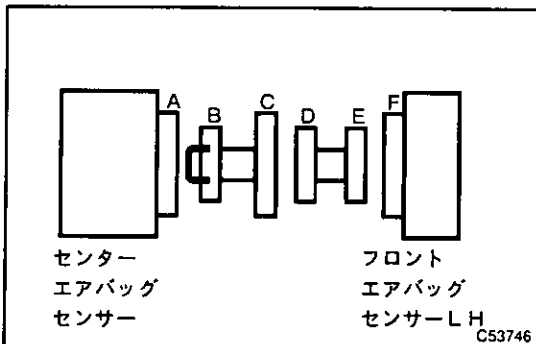
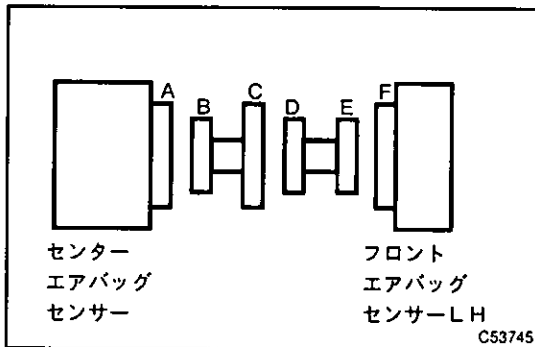
SST 09843-18040

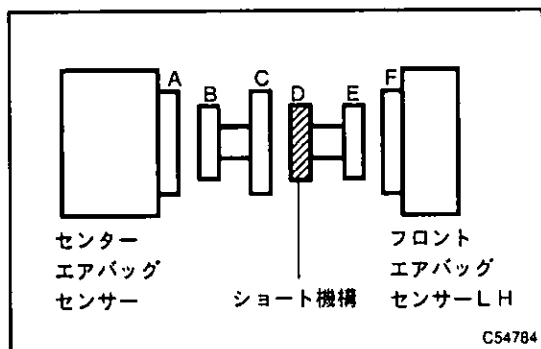
- (g) SSTをコネクターCのSL⁺、SL⁻端子にあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下





28. ワイヤハーネス点検 [16-5]

(エンジンルームメインワイヤ内)

- (a) SSTを使用して、コネクタEのSL⁺、SL⁻端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下

- (b) SSTを使用して、コネクタEのSL⁺、SL⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

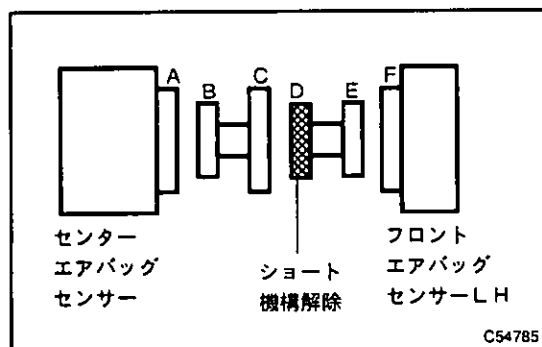
1MΩ以上

- (c) SSTをコネクタEのSL⁺、SL⁻端子にあて、コネクタD～コネクタE間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下



- (d) コネクタDのショート機構 (SL⁺、SL⁻) を解除する。

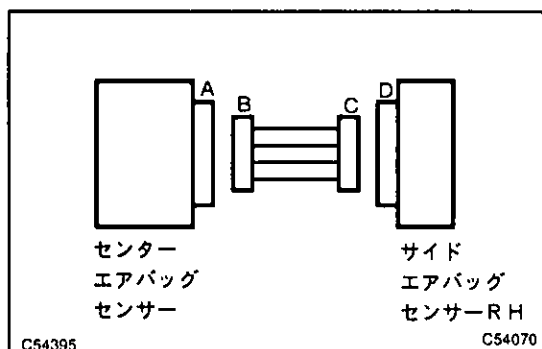
- (e) SSTをコネクタEのSL⁺、SL⁻端子にあて、コネクタD～コネクタE間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1MΩ以上

29. センターエアバッグセンサー点検 [31-1]
- (a) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (b) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。
- (1) DLC 3 使用の場合 (S 2000)
- SST 09991-60100, 09991-60701
- 基 準
- ダイアグノーシスコードB1100が出力されないこと
- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合
- SST 09083-00150, 09843-18020
- 基 準
- ダイアグノーシスコード31が出力されないこと



30. ワイヤハーネス点検 [32-1]

(センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグセンサーRH間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、コネクタCのVUPR、FSR、ESR、SSR⁺端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

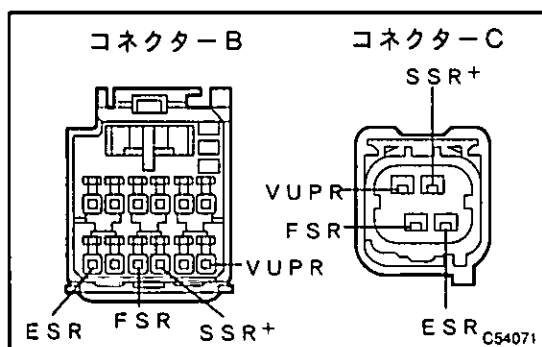
1V以下

- SSTを使用して、コネクタCのVUPR、FSR、SSR⁺端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1MΩ以上



- SSTを使用して、コネクタB～Cの下記端子の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

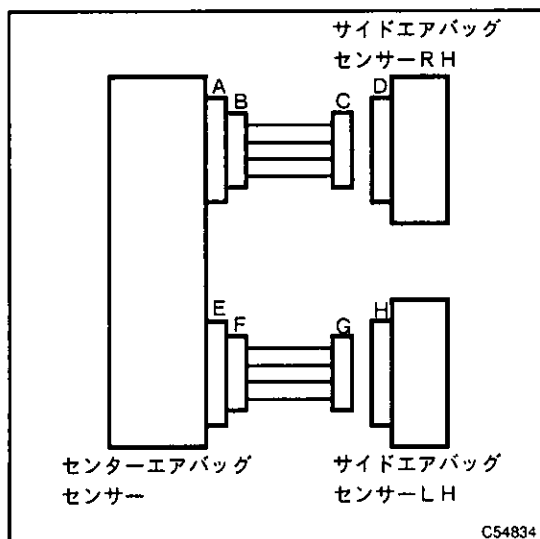
コネクタ-Bの端子	コネクタ-Cの端子	抵抗値
VUPR	VUPR	1Ω以下
FSR	FSR	1Ω以下
ESR	ESR	1Ω以下
SSR ⁺	SSR ⁺	1Ω以下

- SSTを使用して、コネクタCの下記端子間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

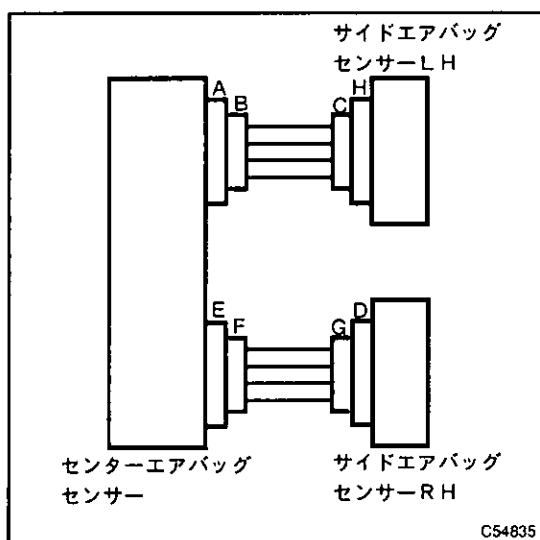
基準値

コネクタ-Cの抵抗測定端子間	抵抗値
VUPR ⇔ FSR	1MΩ以上
VUPR ⇔ ESR	1MΩ以上
VUPR ⇔ SSR ⁺	1MΩ以上
FSR ⇔ ESR	1MΩ以上
FSR ⇔ SSR ⁺	1MΩ以上
ESR ⇔ SSR ⁺	1MΩ以上



31. センターエアバッグセンサーおよびサイドエアバッグセンサーRH点検 [32-2]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとD、GとHを切り離す。



- サイドエアバッグセンサーRHとサイドエアバッグセンサーLHを入れ替えて、コネクタCとH、GとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

(1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

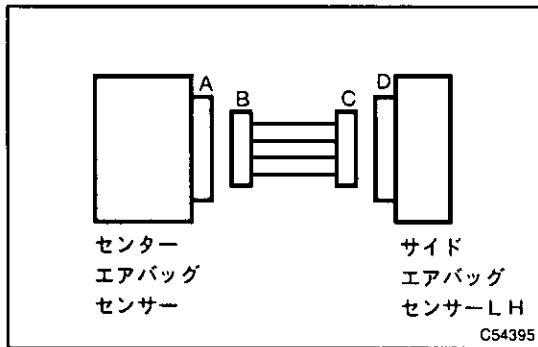
記号	出力コード
A	B1140
B	B1141
C	正常コードまたはB1140、B1141以外

(2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

記号	出力コード
A	32
B	33
C	正常コードまたは32、33以外



32. ワイヤハーネス点検 [33-1]

(センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグセンサーLH間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、コネクタCのVUPL、FSL、ESL、SSL⁺端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

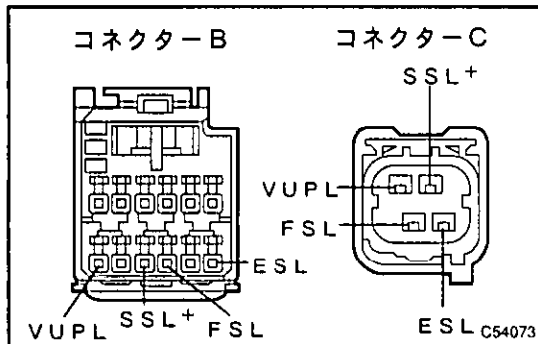
1V以下

- SSTを使用して、コネクタCのVUPL、FSL、SSL⁺端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1MΩ以上



- SSTを使用して、コネクタB～Cの下記端子間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

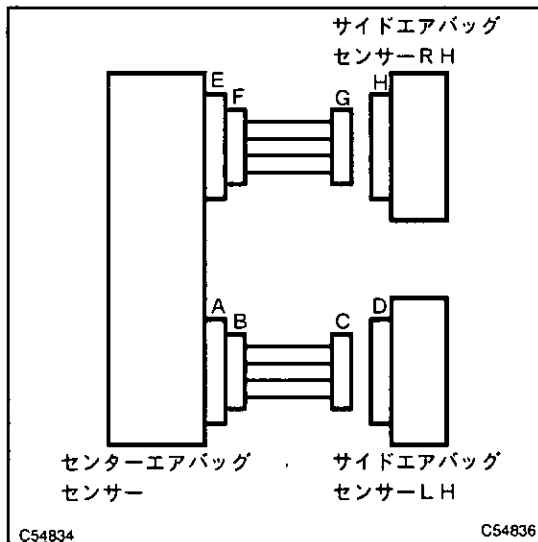
コネクタBの端子	コネクタCの端子	抵抗値
VUPL	VUPL	1Ω以下
FSL	FSL	1Ω以下
ESL	ESL	1Ω以下
SSL ⁺	SSL ⁺	1Ω以下

- SSTを使用して、コネクタCの下記端子間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

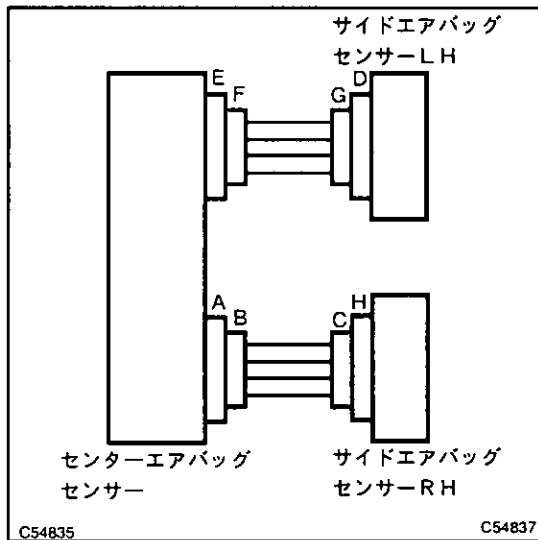
基準値

コネクタCの抵抗測定端子間	抵抗値
VUPL ⇔ FSL	1MΩ以上
VUPL ⇔ ESL	1MΩ以上
VUPL ⇔ SSL ⁺	1MΩ以上
FSL ⇔ ESL	1MΩ以上
FSL ⇔ SSL ⁺	1MΩ以上
ESL ⇔ SSL ⁺	1MΩ以上



33. センターエアバッグセンサーおよびサイドエアバッグセンサーLH点検 [33-2]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとD、GとHを切り離す。



- (c) サイドエアバッグセンサーLHとサイドエアバッグセンサーRHを入れ替えて、コネクターCとH、GとDを接続する。
- (d) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (e) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

(1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

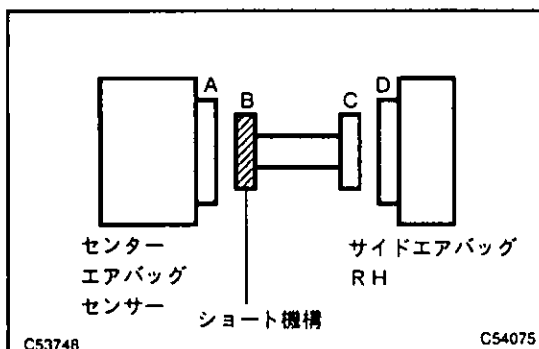
記号	出力コード
A	B1141
B	B1140
C	正常コードまたはB1140、B1141以外

(2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

記号	出力コード
A	33
B	32
C	正常コードまたは32、33以外



34. ワイヤハーネス短絡点検 [41-1]

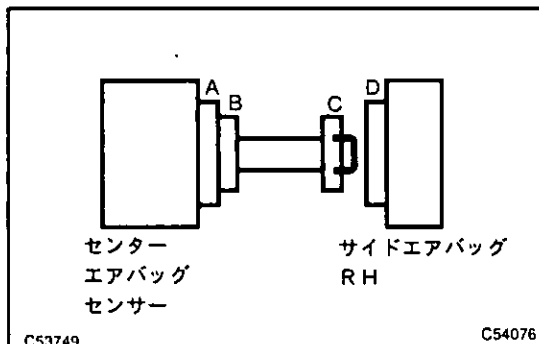
(センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグRH間)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのSFR⁺、SFR⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



35. センターエアバッグセンサー点検 [41-2]

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのSFR⁺、SFR⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。

- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

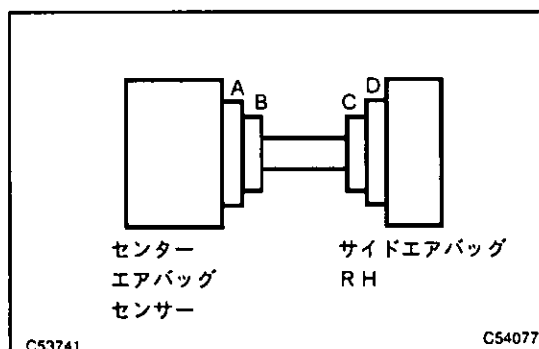
ダイアグノーシスコードB0112が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード41が出力されないこと



36. サイドエアバッグRH点検 [41-3]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。

- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

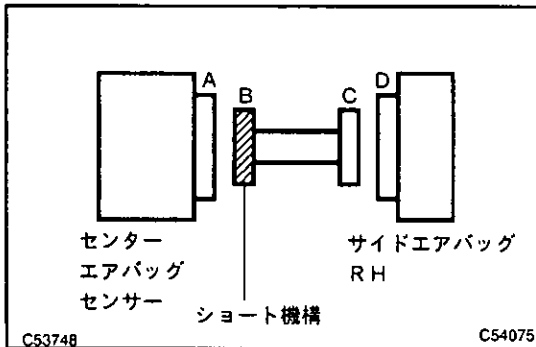
ダイアグノーシスコードB0112が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード41が出力されないこと



37. ワイヤハーネス短絡点検 [42-1]

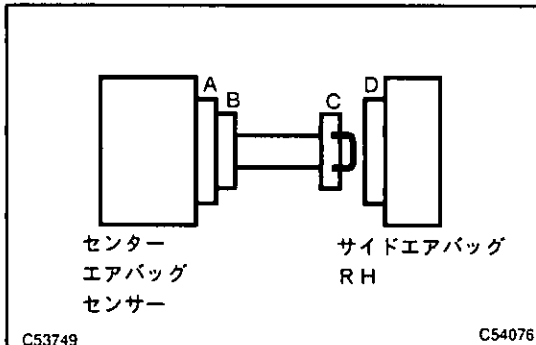
(センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグRH間)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにする。
- (c) SSTを使用して、コネクターCのSFR⁺、SFR⁻端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下



38. センターエアバッグセンサー点検 [42-2]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターAとBを接続する。
- (c) SSTを使用して、コネクターCのSFR⁺、SFR⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (d) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (e) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

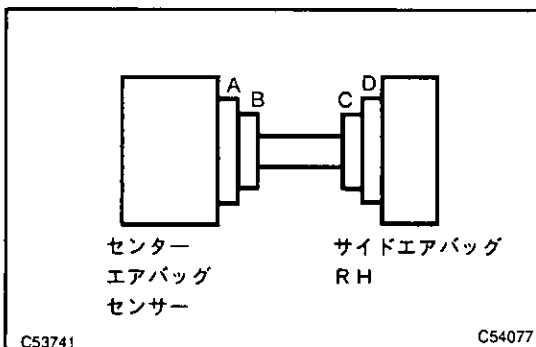
ダイアグノーシスコードB0113が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード42が出力されないこと



39. サイドエアバッグRH [42-3]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

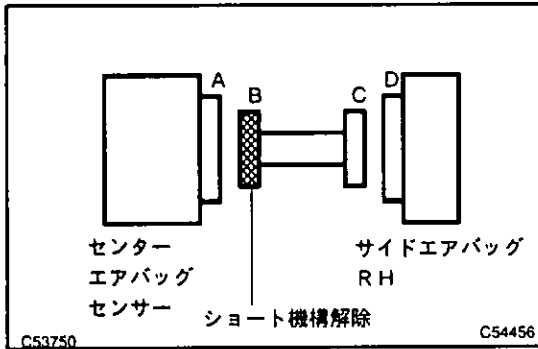
ダイアグノーシスコードB0113が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード42が出力されないこと



40. ワイヤハーネス短絡点検 [43-1]

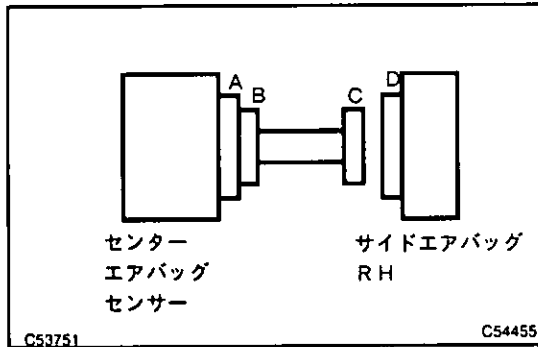
(センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグRH間)

- コネクターAとB、CとDを切り離す。
- コネクターBのショート機構 (SFR⁺、SFR⁻) を解除する。
- SSTをコネクターCのSFR⁺、SFR⁻端子にあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

1 MΩ以上



41. センターエアバッグセンサー点検 [43-2]

- コネクターAとBを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

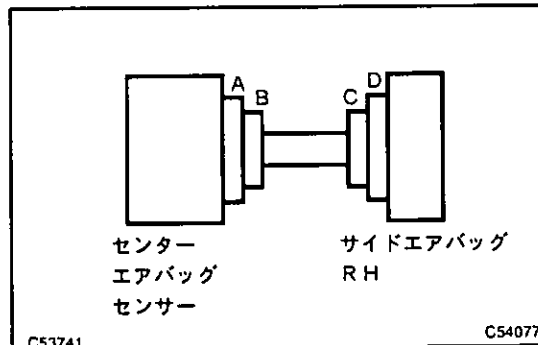
ダイアグノーシスコードB0110が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード43が出力されないこと



42. サイドエアバッグRH [43-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクターCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

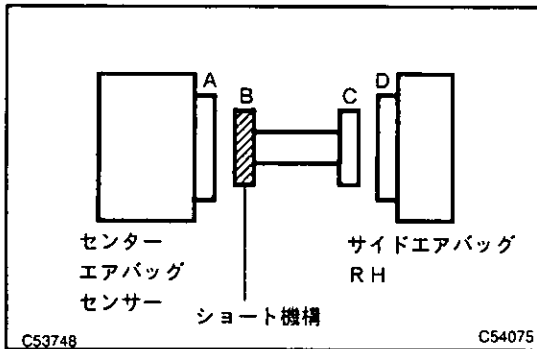
ダイアグノーシスコードB0110が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード43が出力されないこと



43. ワイヤハーネス断線点検 [44-1]

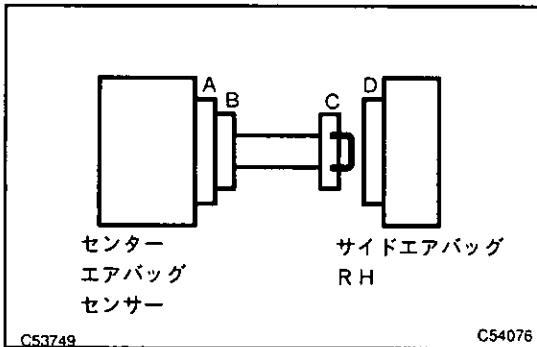
(センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグRH間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- SSTをコネクタCのSFR⁺、SFR⁻端子にあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下



44. センターエアバッグセンサー点検 [44-2]

- コネクタAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクタCのSFR⁺、SFR⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。

- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

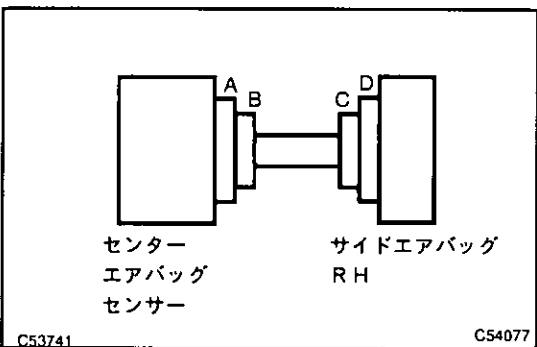
ダイアグノーシスコードB0111が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード44が出力されないこと



45. サイドエアバッグRH [44-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。

- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

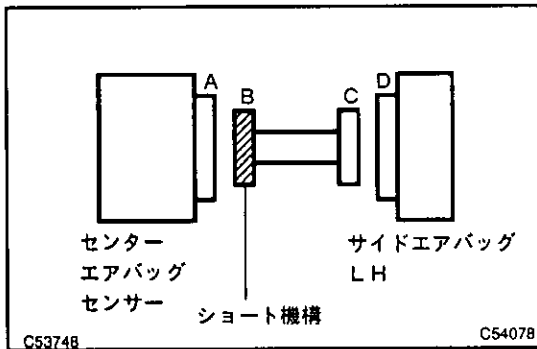
ダイアグノーシスコードB0111が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード44が出力されないこと



46. ワイヤハーネス短絡点検 [45-1]

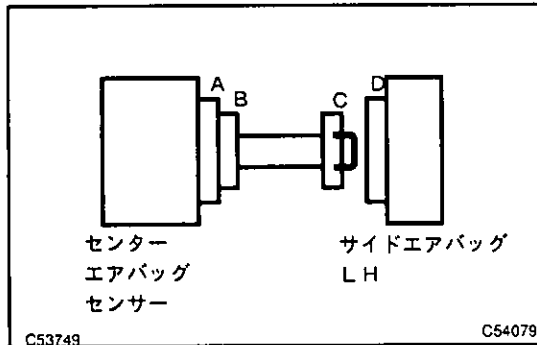
(センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグ LH間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- SSTを使用して、コネクタCのSFL⁺、SFL⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



47. センターエアバッグセンサー点検 [45-2]

- コネクタAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクタCのSFL⁺、SFL⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC 3 使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

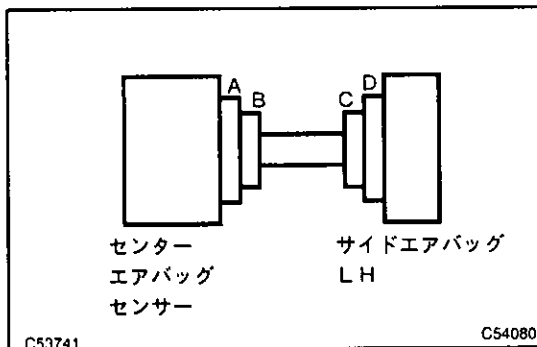
ダイアグノーシスコードB0117が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード45が出力されないこと



48. サイドエアバッグ LH [45-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC 3 使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

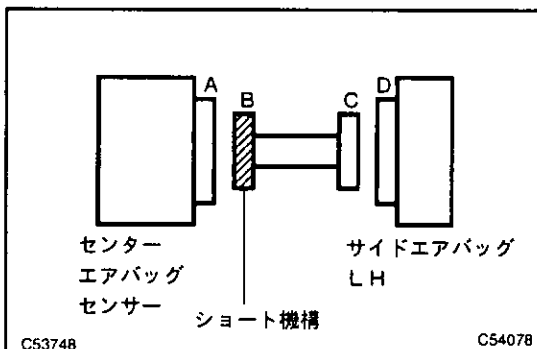
ダイアグノーシスコードB0117が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード45が出力されないこと



49. ワイヤハーネス短絡点検 [46-1]

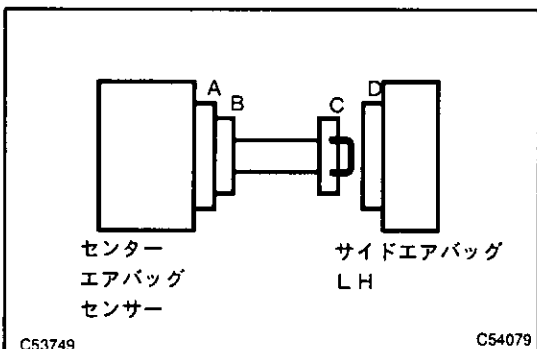
(センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグ LH間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにする。
- SSTを使用して、コネクタCのSFL⁺、SFL⁻端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下



50. センターエアバッグセンサー点検 [46-2]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクタCのSFL⁺、SFL⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

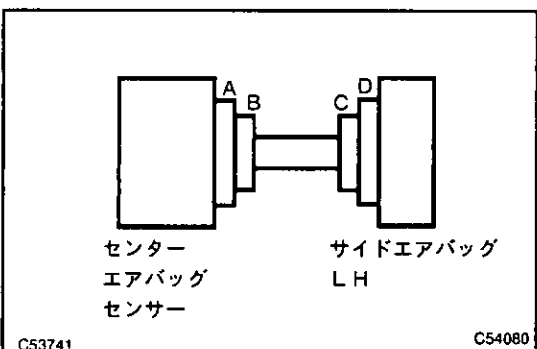
ダイアグノーシスコードB0118が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード46が出力されないこと



51. サイドエアバッグ LH [46-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

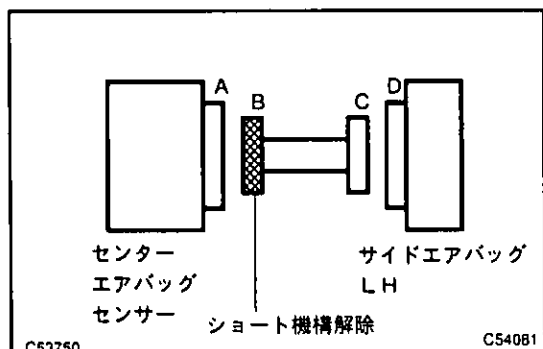
ダイアグノーシスコードB0118が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード46が出力されないこと



52. ワイヤハーネス短絡点検 [47-1]

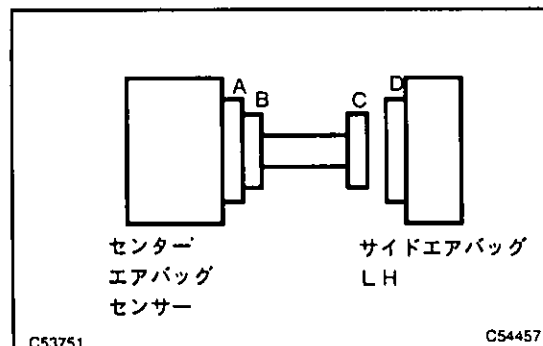
(センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグ LH間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- コネクタBのショート機構 (SFL⁺、SFL⁻) を解除する。
- SSTをコネクタCのSFL⁺、SFL⁻端子にあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

1 MΩ以上



53. センターエアバッグセンサー点検 [47-2]

- コネクタAとBを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

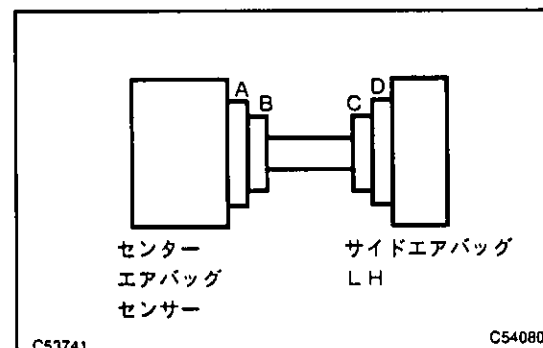
ダイアグノーシスコードB0115が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード47が出力されないこと



54. サイドエアバッグ LH [47-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

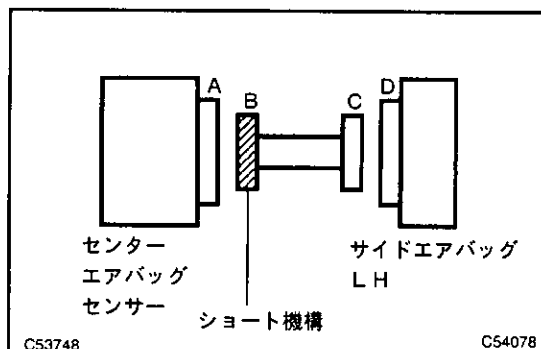
ダイアグノーシスコードB0115が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード47が出力されないこと



55. ワイヤハーネス断線点検 [48-1]

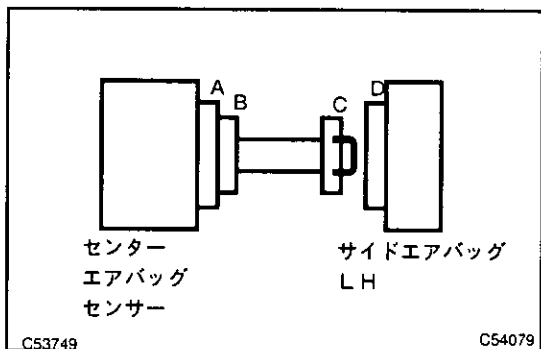
(センターエアバッグセンサー～サイドエアバッグLH間)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTをコネクターCのSFL⁺、SFL⁻端子にあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 Ω以下



56. センターエアバッグセンサー点検 [48-2]

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのSFL⁺、SFL⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。

- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

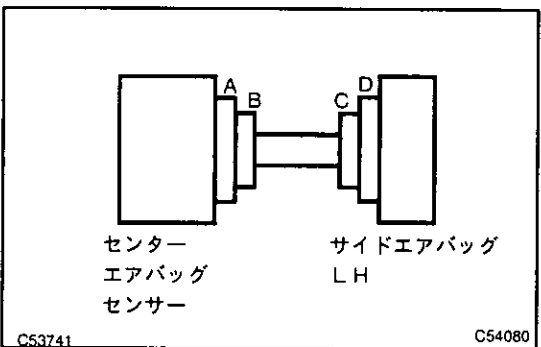
ダイアグノーシスコードB0116が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード48が出力されないこと



57. サイドエアバッグLH [48-3]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。

- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

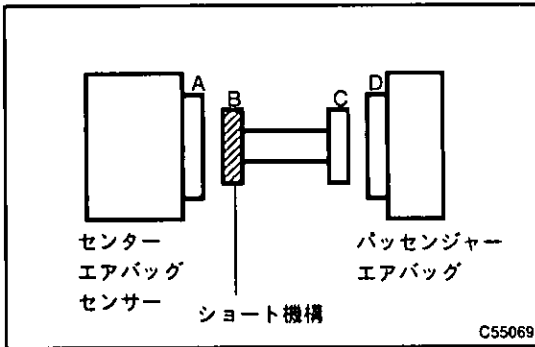
ダイアグノーシスコードB0116が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード48が出力されないこと



58. ワイヤハーネス短絡点検 [51-1]

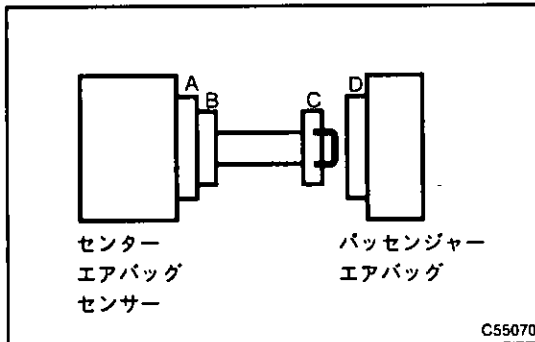
(センターエアバッグセンサー～パッセンジャーエアバッグ間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- SSTを使用して、コネクタCのP⁺、P⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ 以上



59. センターエアバッグセンサー点検 [51-2]

- コネクタAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクタCのP⁺、P⁻端子間を短絡する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

SST 09843-18040

- DLC3 使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

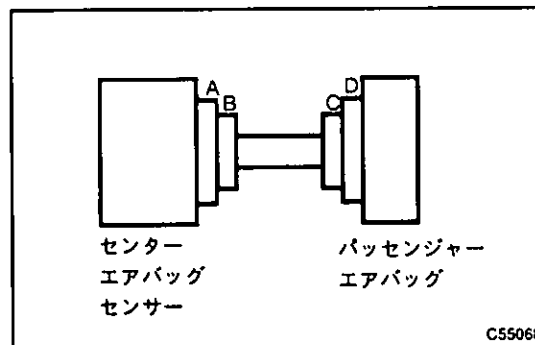
ダイアグノーシスコードB0107が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード51が出力されないこと



60. パッセンジャーエアバッグ点検 [51-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DLC3 使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

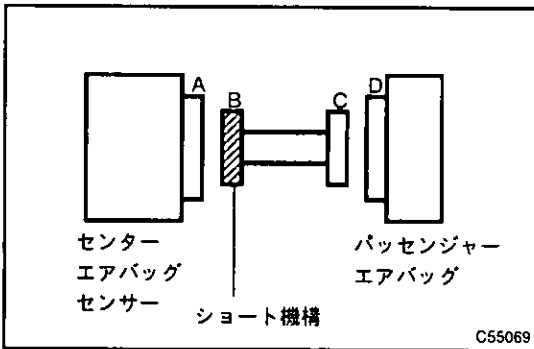
ダイアグノーシスコードB0107が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード51が出力されないこと



61. ワイヤハーネス短絡点検 [52-1]

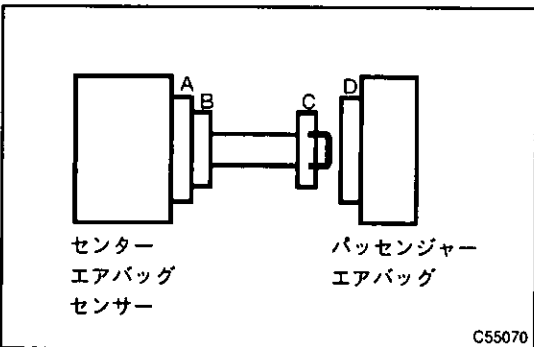
(センターエアバッグセンサー～パッセンジャーエアバッグ間)

- コネクターAとB、CとDを切り離す。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにする。
- SSTを使用して、コネクターCのP⁺、P⁻端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下



62. センターエアバッグセンサー点検 [52-2]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクターAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクターCのP⁺、P⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

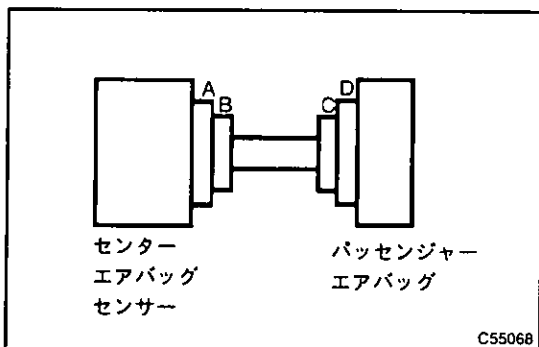
ダイアグノーシスコードB0108が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード52が出力されないこと



63. パッセンジャーエアバッグ点検 [52-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクターCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

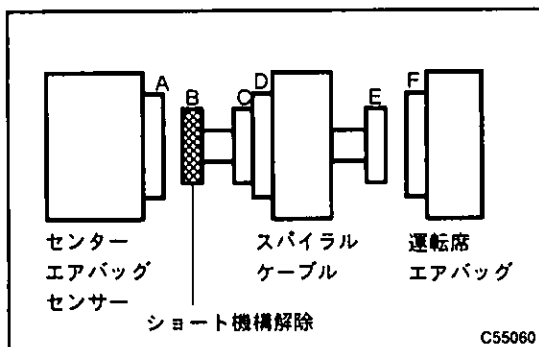
ダイアグノーシスコードB0108が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード52が出力されないこと



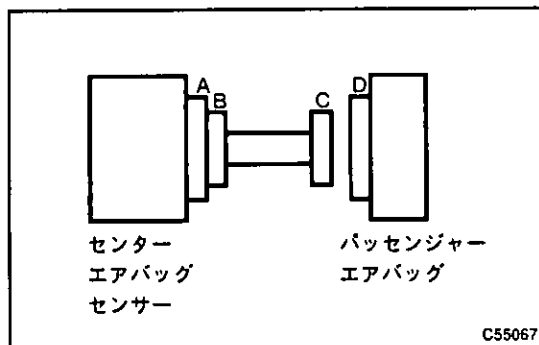
64. ワイヤハーネス短絡点検 [53-1]
(センターエアバッグセンサー～パッセンジャーエアバッグ間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- コネクタBのショート機構 (P⁺、P⁻) を解除する。
- SSTをコネクタCのP⁺、P⁻端子にあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

1 MΩ以上



65. センターエアバッグセンサー点検 [53-2]

- コネクタAとBを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

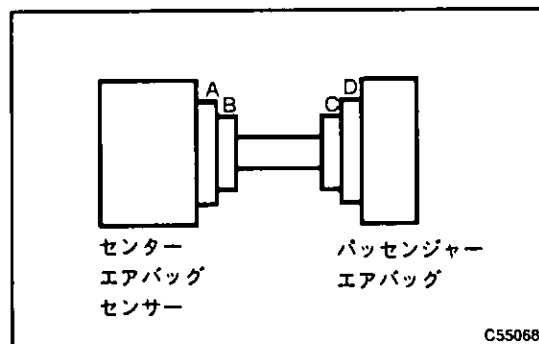
ダイアグノーシスコードB0105が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード53が出力されないこと



66. パッセンジャーエアバッグ点検 [53-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

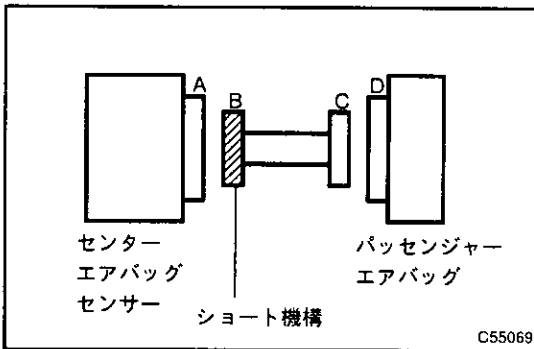
ダイアグノーシスコードB0105が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード53が出力されないこと



67. ワイヤハーネス断線点検 [54-1]

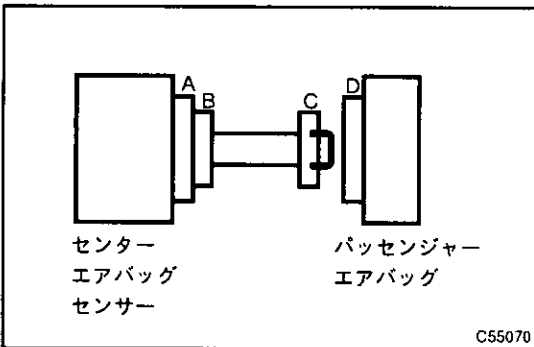
(センターエアバッグセンサー～パッセンジャーエアバッグ間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- SSTを使用して、コネクタCのP⁺、P⁻端子にあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下



68. センターエアバッグセンサー点検 [54-2]

- コネクタAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクタCのP⁺、P⁻端子間を短絡する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

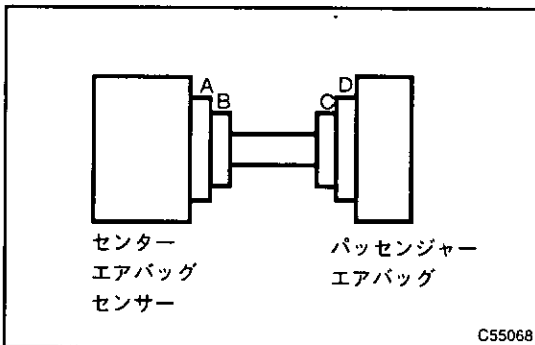
ダイアグノーシスコードB0106が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード54が出力されないこと



69. パッセンジャーエアバッグ点検 [54-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

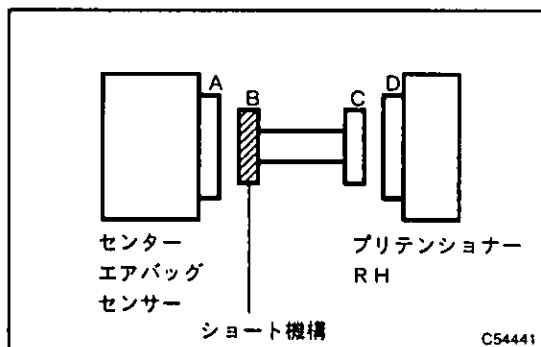
ダイアグノーシスコードB0106が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード54が出力されないこと



70. ワイヤハーネス短絡点検 [61-1]

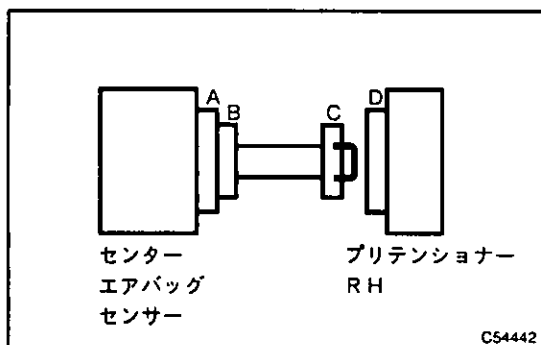
(センターエアバッグセンサー～プリテンショナーRH間)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのPR⁺、PR⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



71. センターエアバッグセンサー点検 [61-2]

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのPR⁺、PR⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。

- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

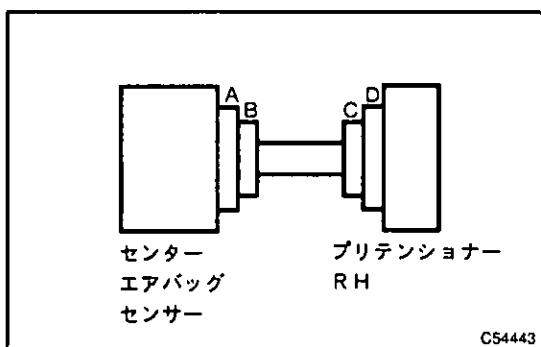
ダイアグノーシスコードB0132が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード61が出力されないこと



72. プリテンショナーRH点検 [61-3]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

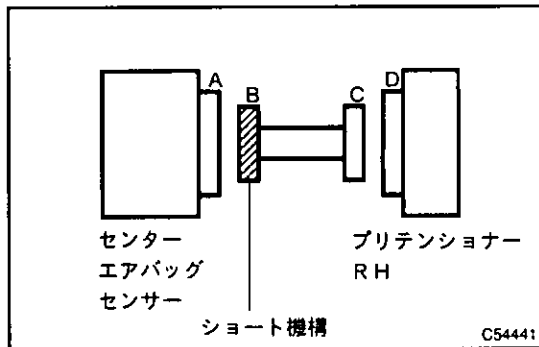
ダイアグノーシスコードB0132が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード61が出力されないこと



73. ワイヤハーネス短絡点検 [62-1]

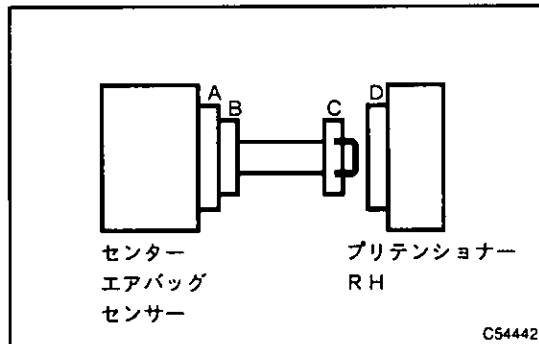
(センターエアバッグセンサー～プリテンショナーRH間)

- コネクターAとB、CとDを切り離す。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにする。
- SSTを使用して、コネクターCのPR⁺、PR⁻端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下



74. センターエアバッグセンサー点検 [62-2]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクターAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクターCのPR⁺、PR⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DL C 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

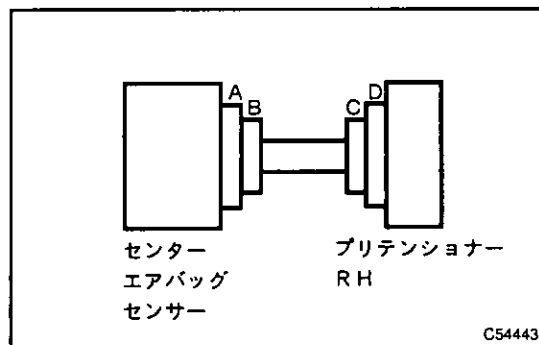
ダイアグノーシスコードB0133が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード62が出力されないこと



75. プリテンショナーRH点検 [62-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクターCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DL C 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

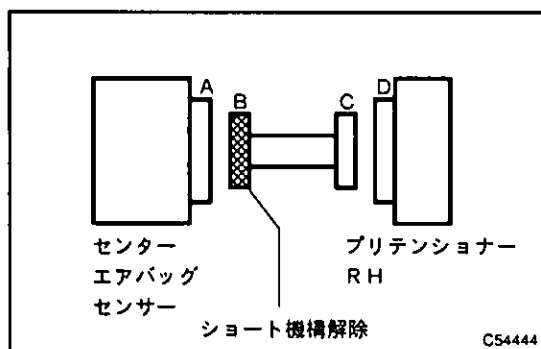
ダイアグノーシスコードB0133が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード62が出力されないこと



76. ワイヤハーネス短絡点検 [63-1]

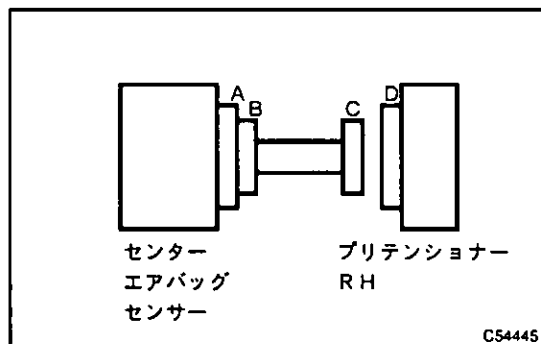
(センターエアバッグセンサー～プリテンショナーRH間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- コネクタBのショート機構 (PR⁺、PR⁻) を解除する。
- SSTをコネクタCのPR⁺、PR⁻端子にあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



77. センターエアバッグセンサー点検 [63-2]

- コネクタAとBを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

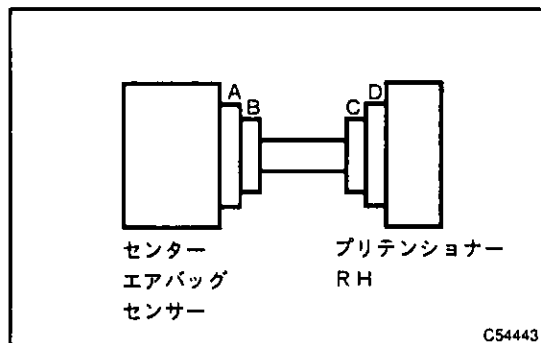
ダイアグノーシスコードB0130が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード63が出力されないこと



78. プリテンショナーRH点検 [63-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

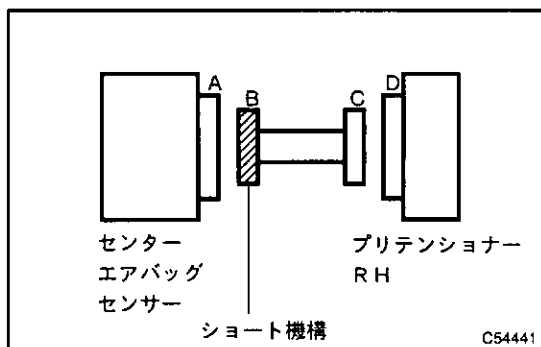
ダイアグノーシスコードB0130が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード63が出力されないこと



79. ワイヤハーネス断線点検 [64-1]

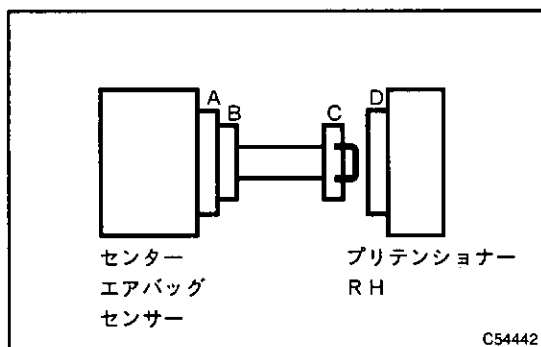
(センターエアバッグセンサー～プリテンショナーRH間)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
 (b) SSTをコネクターCのPR⁺、PR⁻端子にあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 Ω以下



80. センターエアバッグセンサー点検 [64-2]

- (a) コネクターAとBを接続する。
 (b) SSTを使用して、コネクターCのPR⁺、PR⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。

- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

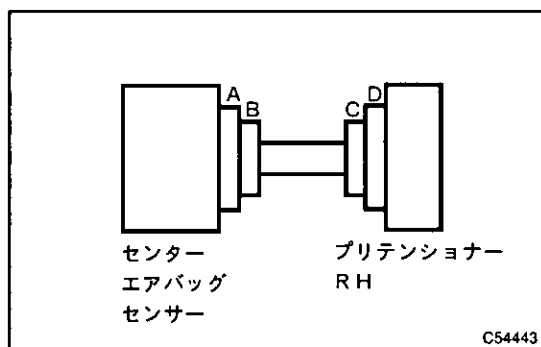
ダイアグノーシスコードB0131が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード64が出力されないこと



81. プリテンショナーRH点検 [64-3]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
 (b) コネクターCとDを接続する。
 (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。

- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

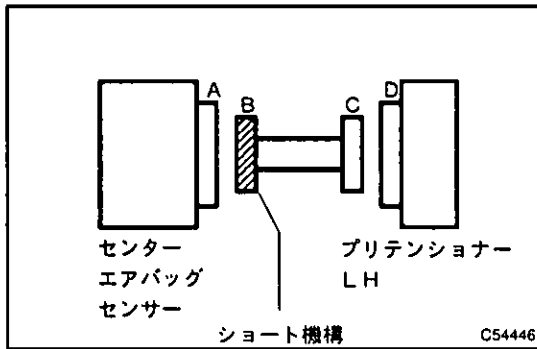
ダイアグノーシスコードB0131が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード64が出力されないこと



82. ワイヤハーネス短絡点検 [71-1]

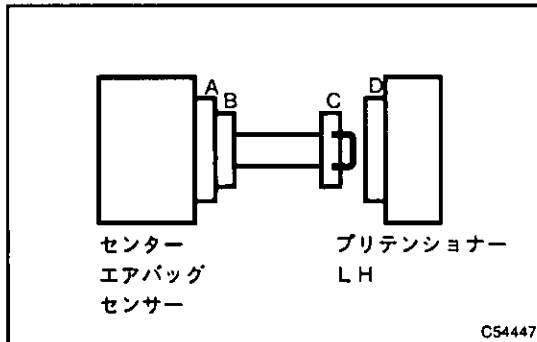
(センターエアバッグセンサー～プリテンショナー LH間)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのPL⁺、PL⁻端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



83. センターエアバッグセンサー点検 [71-2]

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのPL⁺、PL⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC 3使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

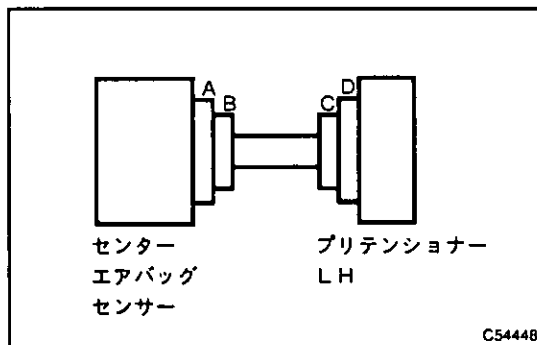
ダイアグノーシスコードB0137が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード71が出力されないこと



84. プリテンショナー LH点検 [71-3]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC 3使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

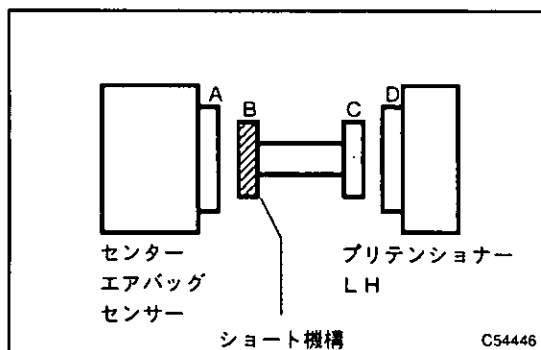
ダイアグノーシスコードB0137が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード71が出力されないこと



85. ワイヤハーネス短絡点検 [72-1]

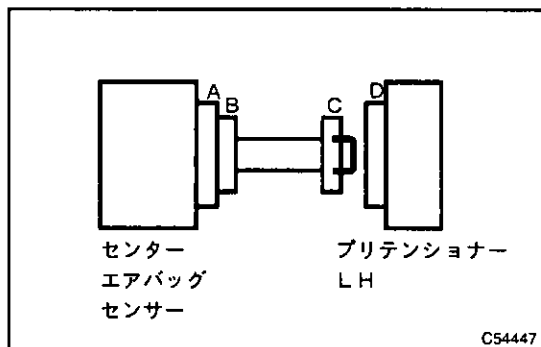
(センターエアバッグセンサー～プリテンショナーLH間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにする。
- SSTを使用して、コネクタCのPL⁺、PL⁻端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1V以下



86. センターエアバッグセンサー点検 [72-2]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタAとBを接続する。
- SSTを使用して、コネクタCのPL⁺、PL⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DL C 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

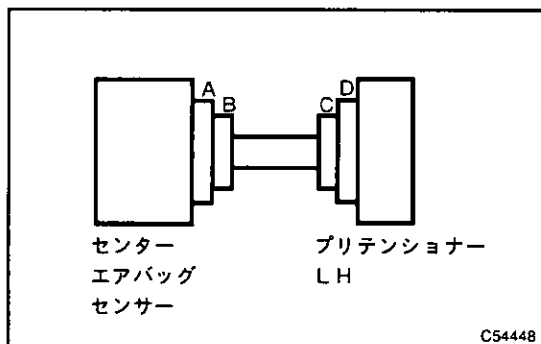
ダイアグノーシスコードB0138が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード72が出力されないこと



87. プリテンショナーLH点検 [72-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- DL C 3 使用の場合 (S 2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

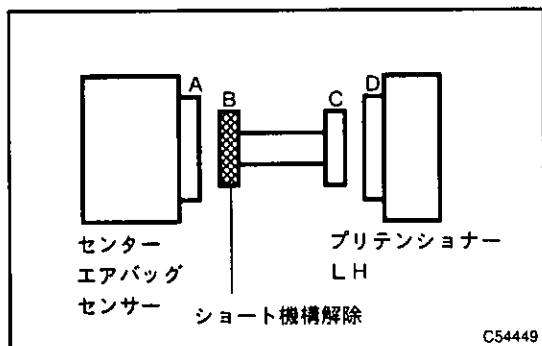
ダイアグノーシスコードB0138が出力されないこと

- ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード72が出力されないこと



88. ワイヤハーネス短絡点検 [73-1]

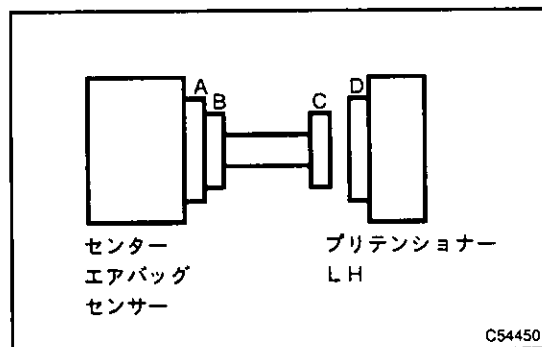
(センターエアバッグセンサー～プリテンショナー LH間)

- コネクタAとB、CとDを切り離す。
- コネクタBのショート機構 (PL⁺、PL⁻) を解除する。
- SST をコネクタCの PL⁺、PL⁻端子にあて、コネクタB～コネクタC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ 以上



89. センターエアバッグセンサー点検 [73-2]

- コネクタAとBを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SST を使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC 3 使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

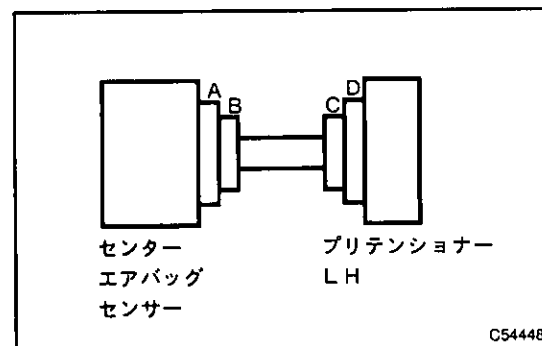
ダイアグノーシスコード B0135 が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード 73 が出力されないこと



90. プリテンショナー LH 点検 [73-3]

- バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- コネクタCとDを接続する。
- バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- SST を使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC 3 使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

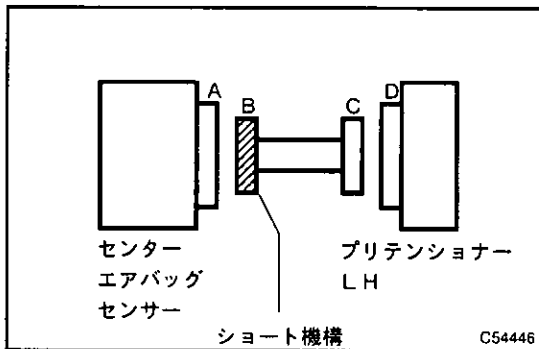
ダイアグノーシスコード B0135 が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクタ使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード 73 が出力されないこと



91. ワイヤハーネス断線点検 [74-1]

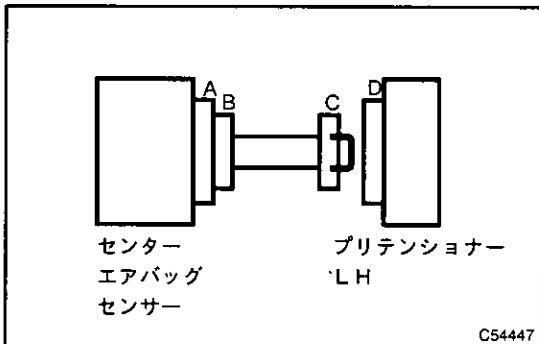
(センターエアバッグセンサー～プリテンショナーLH間)

- (a) コネクターAとB、CとDを切り離す。
- (b) SSTをコネクターCのPL⁺、PL⁻端子にあて、コネクターB～コネクターC間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下



92. センターエアバッグセンサー点検 [74-2]

- (a) コネクターAとBを接続する。
- (b) SSTを使用して、コネクターCのPL⁺、PL⁻端子間を短絡する。

SST 09843-18040

- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

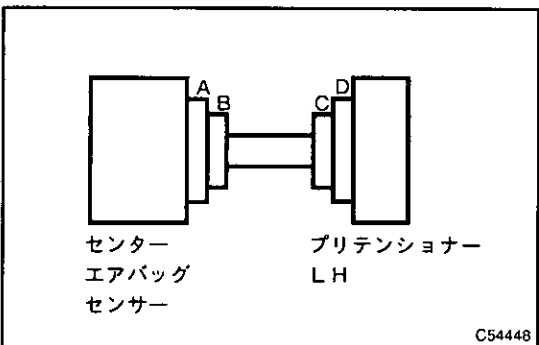
ダイアグノーシスコードB0136が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード74が出力されないこと



93. プリテンショナーLH点検 [74-3]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) コネクターCとDを接続する。
- (c) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにして60秒間待機する。
- (d) SSTを使用して、ダイアグノーシスコード消去作業後、再度ダイアグノーシスコードを点検する。

- (1) DLC3使用の場合 (S2000)

SST 09991-60100, 09991-60701

基準

ダイアグノーシスコードB0136が出力されないこと

- (2) ダイアグノーシスコネクター使用の場合

SST 09083-00150, 09843-18020

基準

ダイアグノーシスコード74が出力されないこと

94. ワイヤハーネス短絡点検 [A-1]
(センターエアバッグセンサー～エアバックウォーニングランプ間)
- (a) センターエアバッグセンサーのコネクターを切り離す。
 - (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをACCまたはONにする。
 - (c) ウォーニングランプを点検する。

基 準

ウォーニングランプが点灯しないこと

95. バッテリー電圧点検 [B-1]

- (a) SSTを使用して、バッテリーの電圧を点検する。

SST 09082-00030

基準値

10~14V

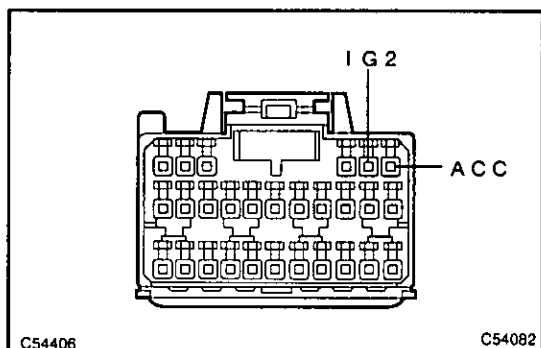
96. ワイヤハーネス短絡点検 [B-2]

(センターエアバッグセンサー～エアバックウォーニングランプ間)

- (a) センターエアバッグセンサーのコネクターを切り離す。
- (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをONにする。
- (c) ウォーニングランプを点検する。

基準

ウォーニングランプが点灯しないこと



C54406

C54082

97. ワイヤハーネス短絡点検 [B-3]

(センターエアバッグセンサー～バッテリー間)

- (a) SSTを使用して、センターエアバッグセンサーW/H側コネクターのIG 2、ACC端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

10~14V

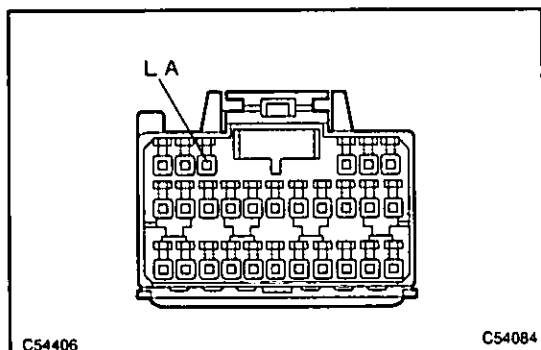
98. バッテリー電圧点検 [C-1]

- (a) SSTを使用して、バッテリーの電圧を点検する。

SST 09082-00030

基準値

10~14V



99. ワイヤハーネス断線点検 [C-2]

(センターエアバッグセンサー～エアバックウォーニングランプ間)

- (a) センターエアバッグセンサーのコネクターを切り離す。
 (b) バッテリーのマイナスターミナルを接続し、IGスイッチをONにする。
 (c) SSTを使用して、センターエアバッグセンサーW/H側コネクターのLA端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

10~14V

100. ワイヤハーネス断線点検 [C-3]

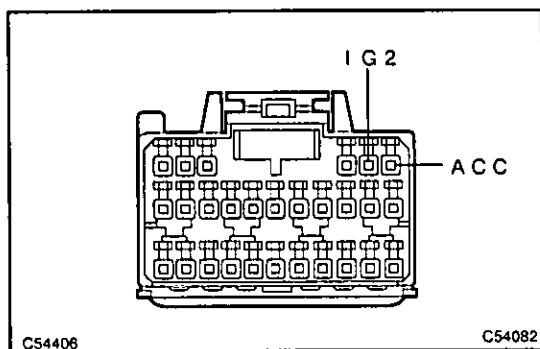
(センターエアバッグセンサー～バッテリー間)

- (a) SSTを使用して、センターエアバッグセンサーW/H側コネクターのIG2、ACC端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

10~14V



101. ワイヤハーネス断線点検 [C-4]

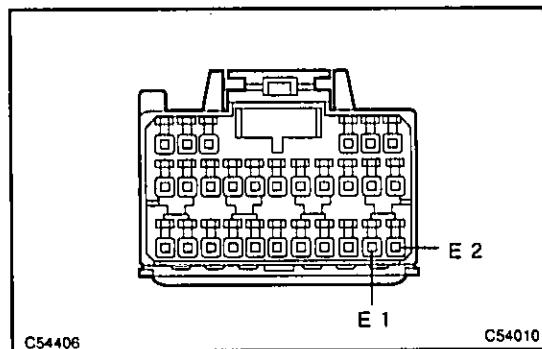
(センターエアバッグセンサー～ボデーアース間)

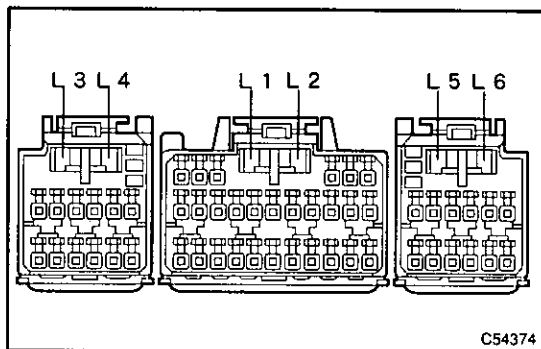
- (a) SSTを使用して、センターエアバッグセンサーW/H側コネクターのE1、E2端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1Ω以下





102. センターエアバッグセンサーコネクタ点検

[C-5]

- (a) バッテリーのマイナスターミナルを切り離し、90秒間待機する。
- (b) センターエアバッグセンサーのコネクタを切り離す。
- (c) SSTを使用して、W/H側コネクタの半かん合検出機構の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

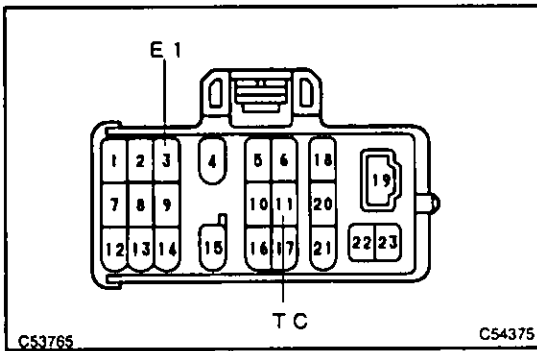
基準値

測定端子記号	抵抗値
L 1 ⇄ L 2	1 Ω 以下
L 3 ⇄ L 4	1 Ω 以下
L 5 ⇄ L 6	1 Ω 以下

- (d) センターエアバッグセンサーのコネクタを接続する。
- (e) センターエアバッグセンサーに接続されているコネクタの接続状態を点検する。

基準

エアバッグセンサーASSYセンターにコネクタが正しく接続されていること



103. ワイヤハーネス断線点検 [D-1]

(センターエアバッグセンサー～ダイアグノーシスコネクター間)

- (a) I GスイッチをACCまたはONにする。
- (b) SSTを使用して、ダイアグノーシスコネクターのE 1端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

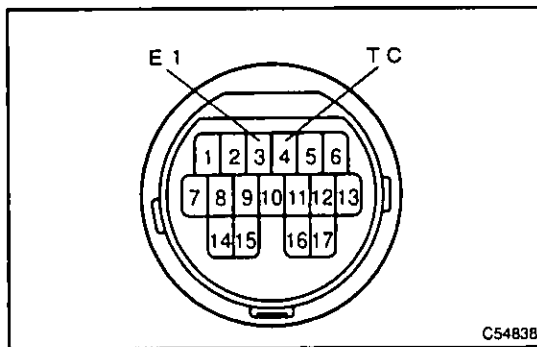
1 Ω以下

- (c) SSTを使用して、ダイアグノーシスコネクターのT C端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

10～14V



104. ワイヤハーネス断線点検 [D-2]

(エアバッグJ/C～T D C L間)

- (a) SSTを使用して、T D C LのE 1端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

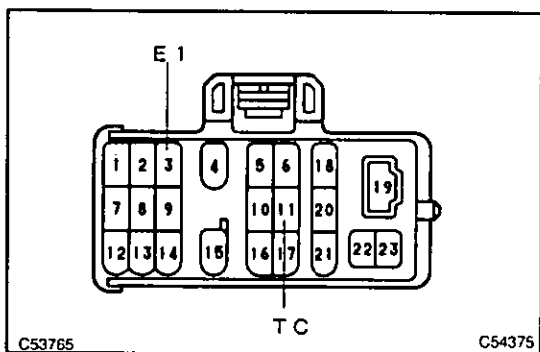
1 Ω以下

- (b) SSTを使用して、T D C LのT C端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

10～14V



105. ワイヤハーネス断線点検 [E-1]

(センターエアバッグセンサー～ダイアグノーシスコネクター間)

- (a) I GスイッチをACCまたはONにする。
- (b) SSTを使用して、ダイアグノーシスコネクターのE 1端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

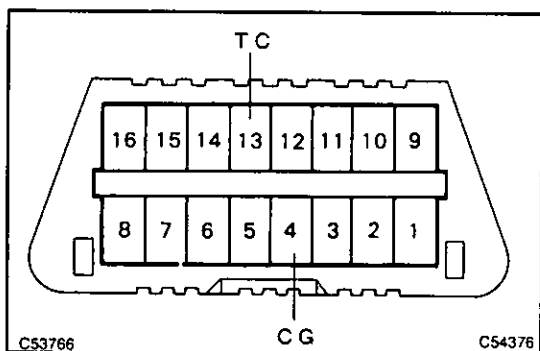
1 Ω以下

- (c) SSTを使用して、ダイアグノーシスコネクターのTC端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

10～14V



106. ワイヤハーネス断線点検 [E-2]

(センターエアバッグセンサー～DLC3間)

- (a) SSTを使用して、DLC3のCG端子～ボデーアース間の抵抗値を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

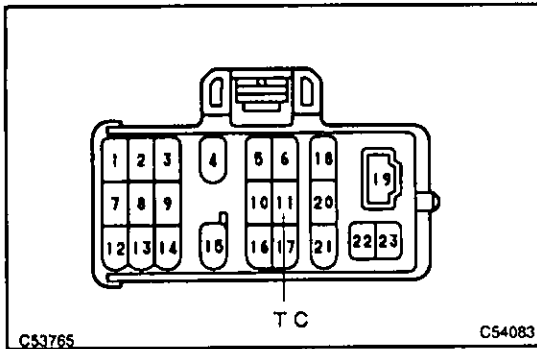
1 Ω以下

- (b) SSTを使用して、DLC3のTC端子～ボデーアース間の電圧を点検する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

10～14V



107. ワイヤハーネス短絡点検 [F-1]

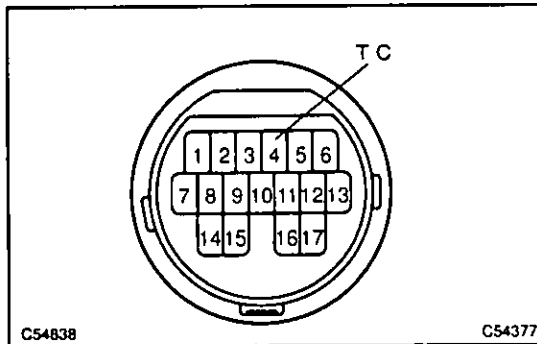
(センターエアバッグセンサー～ダイアグノーシスコネクター間)

- (a) センターエアバッグセンサーのコネクターを切り離す。
- (b) SSTを使用して、ダイアグノーシスコネクターのTC端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



108. ワイヤハーネス短絡点検 [F-2]

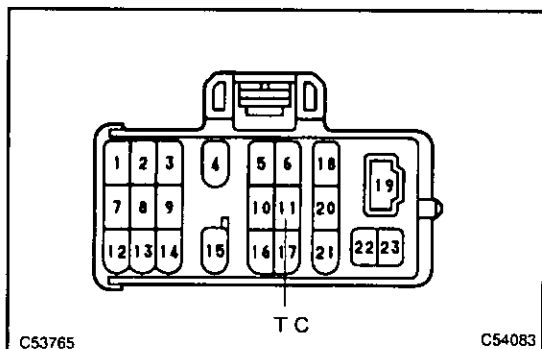
(エアバッグJ/C～TDC L間)

- (a) SSTを使用して、TDC LのTC端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



109. ワイヤハーネス短絡点検 [G-1]

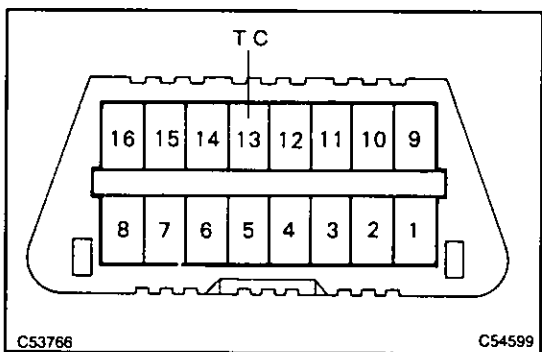
(センターエアバッグセンサー～ダイアグノーシスコネクター間)

- (a) センターエアバッグセンサーのコネクターを切り離す。
- (b) SSTを使用して、ダイアグノーシスコネクターのTC端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上



110. ワイヤハーネス短絡点検 [G-2]

(エアバッグJ/C～DLC3間)

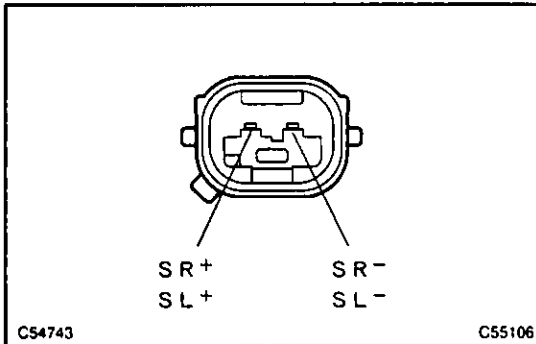
- (a) SSTを使用して、DLC3のTC端子～ボデーアース間の抵抗値を確認する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準値

1 MΩ以上

単体点検



1. フロントエアバッグセンサー

<注意>

車両前部に損傷がある場合は、必ずフロントエアバッグセンサーの点検を行う。

(a) 抵抗点検

- (1) SSTを使用して、フロントエアバッグセンサー各端子間の抵抗値を測定する。

SST 09082-00030, 09083-00150

基準

測定条件	測定端子記号	抵抗値
通常状態	SR ⁺ ⇔SR ⁻ SL ⁺ ⇔SL ⁻	754～886Ω

<注意>

SSTを端子に強く接触させない。

インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY (エアバッグシステム装着車廃車時の廃却要領)

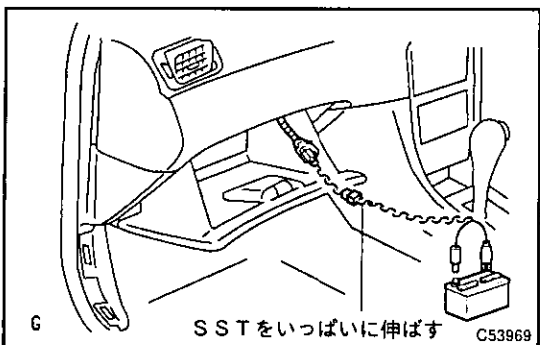
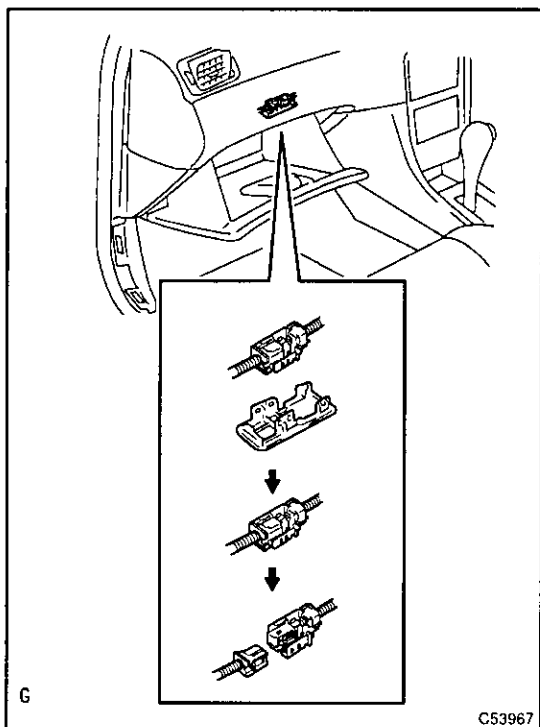
SA09D-01

廃却

1. 取り扱い・作業上の注意 (要領はSA-1参照)
2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)
3. グラブコンパートメントドアフィニッシュプレート取りはずし
4. パッセンジャーエアバッグ用コネクタ切り離し
 - (a) グラブコンパートメントドアフィニッシュプレートからパッセンジャーエアバッグのコネクタを取りはずす。
 - (b) パッセンジャーエアバッグのコネクタを切り離す。
5. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY作動
 - (a) SSTを接続する。
SST 09082-00710, 09082-00760
 - (b) SSTのワニ口と端子をショートさせる。
 - (c) SSTとエアバッグのコネクタ (黄色の2P) を接続する。

<警告>

- ・ パッセンジャーエアバッグASSYにガタがないことを確認する。
- ・ このとき全ドアおよびウインドウは閉じる。



- (d) SSTを車両からいっばいに伸ばした位置にバッテリーを置く。
油脂・その他 自動車用12Vバッテリー [52506]
- (e) 車室内および周囲の安全を確認したのち、SSTのワニ口をバッテリーのマイナスターミナルに接続する。
- (f) SSTの端子をバッテリーのプラスターミナルに接続し、パッセンジャーエアバッグを作動する。

<警告>

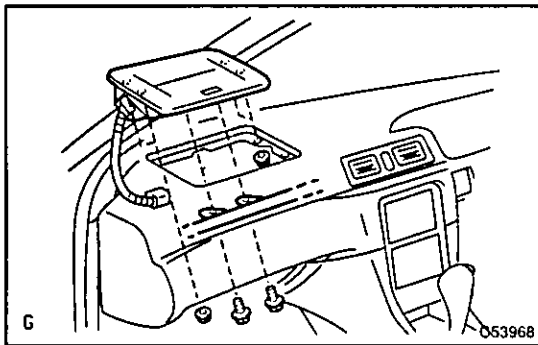
- ・ 作動前に必ず車室内および周囲に人がいないことを確認する。
- ・ 作動前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。

インストルメントパネルパッセンジャー エアバッグASSY (単品廃却時の要領)

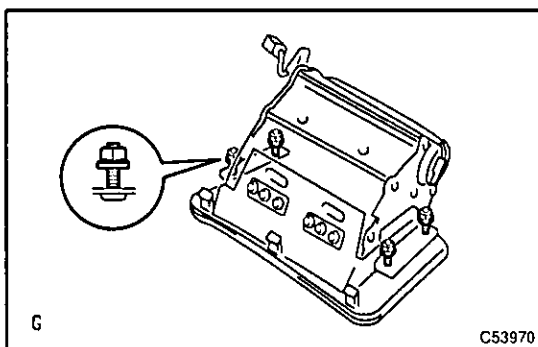
SA09E-01

廃却

1. 取り扱い・作業上の注意(要領はSA-1参照)
2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)
3. グラブコンパートメントドアフィニッシュプレート取りはずし
4. パッセンジャーエアバッグ用コネクター切り離し
(要領はSA-92参照)
5. フロントドアスカッフプレートLH取りはずし
6. カウルサイドトリムLH取りはずし
7. インストルメントローパネル取りはずし
8. インストルメントパネルフィニッシュパネルローNo. 1 リ
テーナー取りはずし
9. A/Cユニットダクト取りはずし



10. インストルメントパッセンジャーエアバッグASSY取りはずし
- (a) ボルト2本およびナット4個をはずし、パッセンジャーエアバッグASSYを取りはずす。



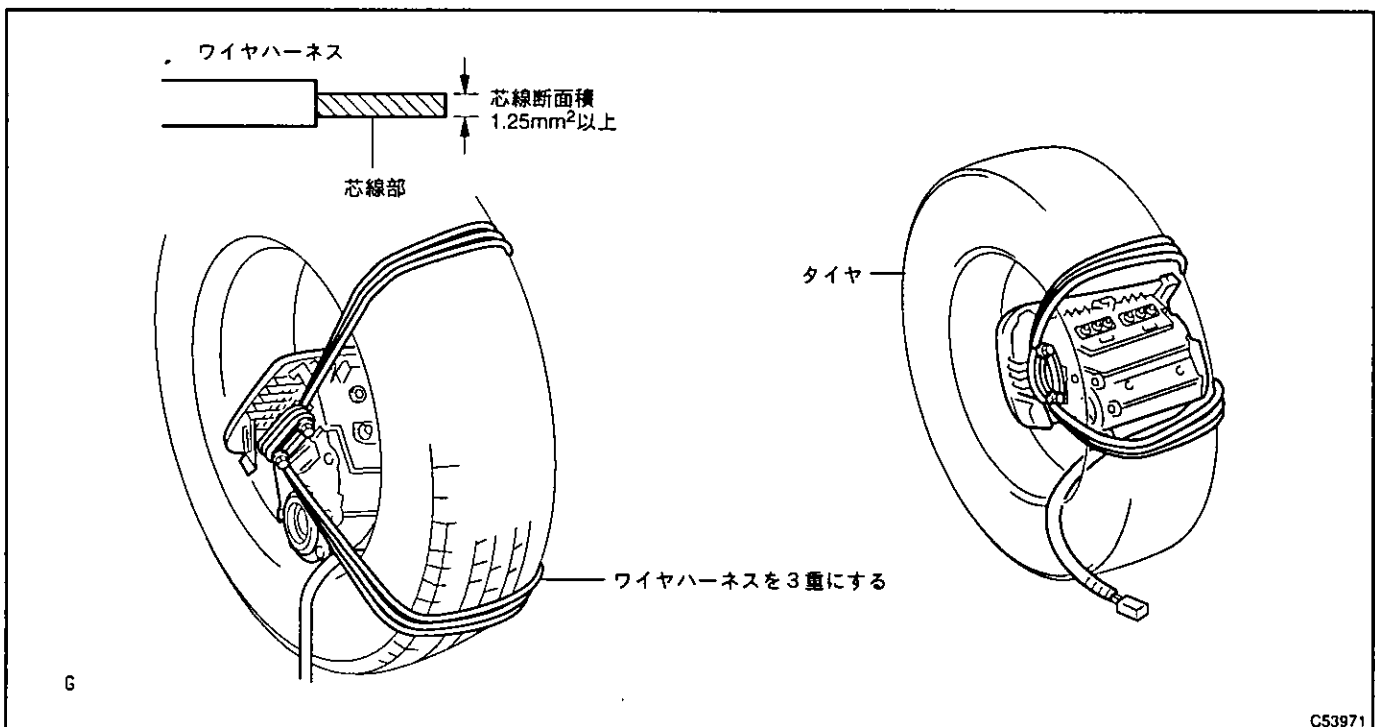
11. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY
固定
- (a) パッセンジャーエアバッグASSY取り付けナット4個を取り付ける。

- (b) ワイヤハーネス (芯線断面積 1.25mm^2 以上) を使用してタイヤにパッセンジャーエアバッグASSYを固定する。

油脂・その他 ワイヤハーネス (芯線断面積 1.25mm^2)
[52010]

<警告>

- 次の指示を厳守する。指示に従わない場合、作動したパッセンジャーエアバッグが飛び非常に危険である。
- パッセンジャーエアバッグ作動時、ワイヤハーネスには約1トンの力が加わるためワイヤハーネスを3重にしてしっかりと固定する。
- 必ずパッセンジャーエアバッグ展開面がタイヤ中心を向くように取り付ける。



12. インストルメントパネルパッセンジャーエアバッグASSY作動

- (a) SSTを接続する。
SST 09082-00710, 09082-00760
- (b) SSTのワニ口と端子をショートさせる。
- (c) SSTとエアバッグのコネクター (黄色の2P) を接続する。

<警告>

パッセンジャーエアバッグの作動作業は必ず屋外で行う。

- (d) 図のようにタイヤを2本重ねた上に、パッセンジャーエアバッグASSYを固定したタイヤを重ね、さらにその上にタイヤ1本以上と、一番上にディスクホイール付きのタイヤを置く。

油脂・その他 ディスクホイール付きタイヤ1本、タイヤ4本
[55004]

- (e) タイヤ相互をワイヤハーネスやひもなどで固定し、作動時の飛散防止を図る。

油脂・その他 ワイヤハーネス (芯線断面積1.25mm²)
[52010]

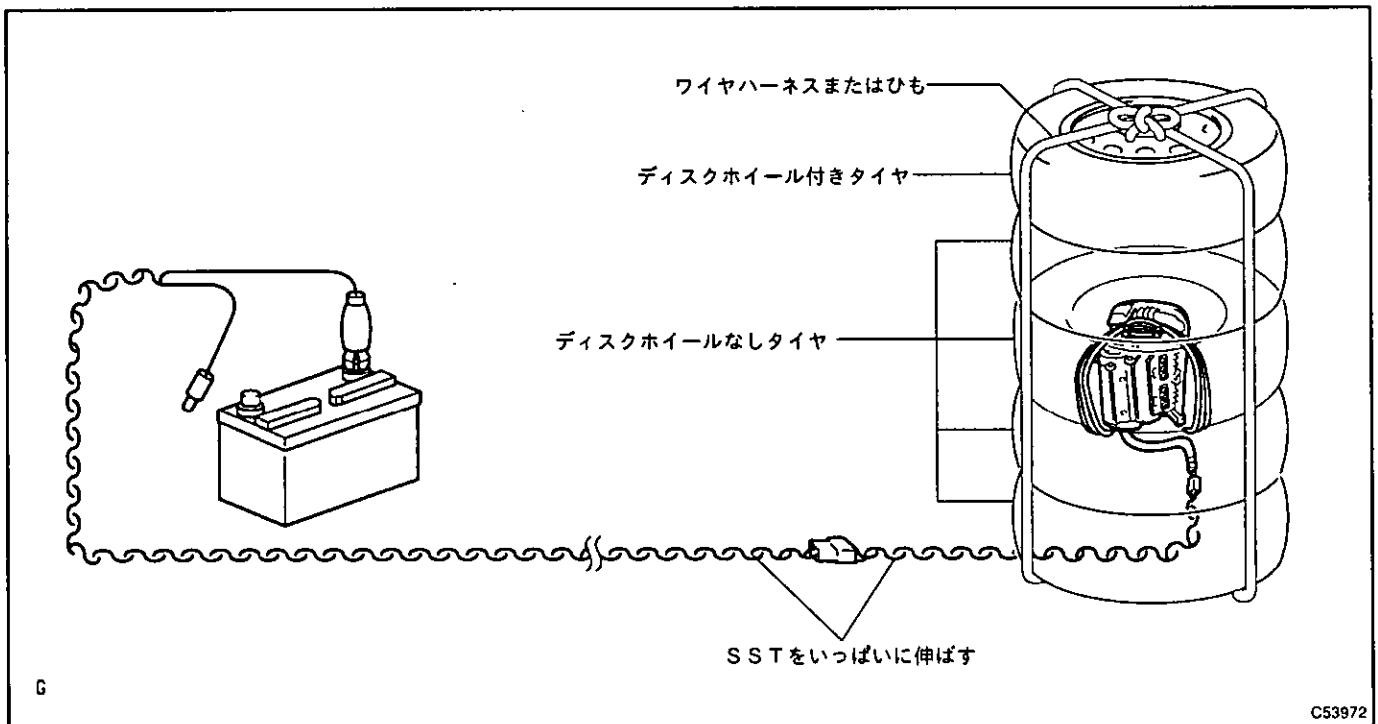
- (f) SSTをパッセンジャーエアバッグからいっぱいに伸ばした位置にバッテリーを置く。

油脂・その他 自動車用12Vバッテリー [52506]

- (g) 周囲の安全を確認したのち、SSTのワニ口をバッテリーのマイナスターミナルに接続する。
- (h) SSTの端子をバッテリーのプラスターミナルに接続し、パッセンジャーエアバッグを作動する。

<警告>

- 作動前に必ず周囲に人がいないことを確認する。
- 作動前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。



13. パッセンジャーエアバッグ廃却要領

- (a) 作動したパッセンジャーエアバッグはビニール袋に入れて密閉し廃棄する。

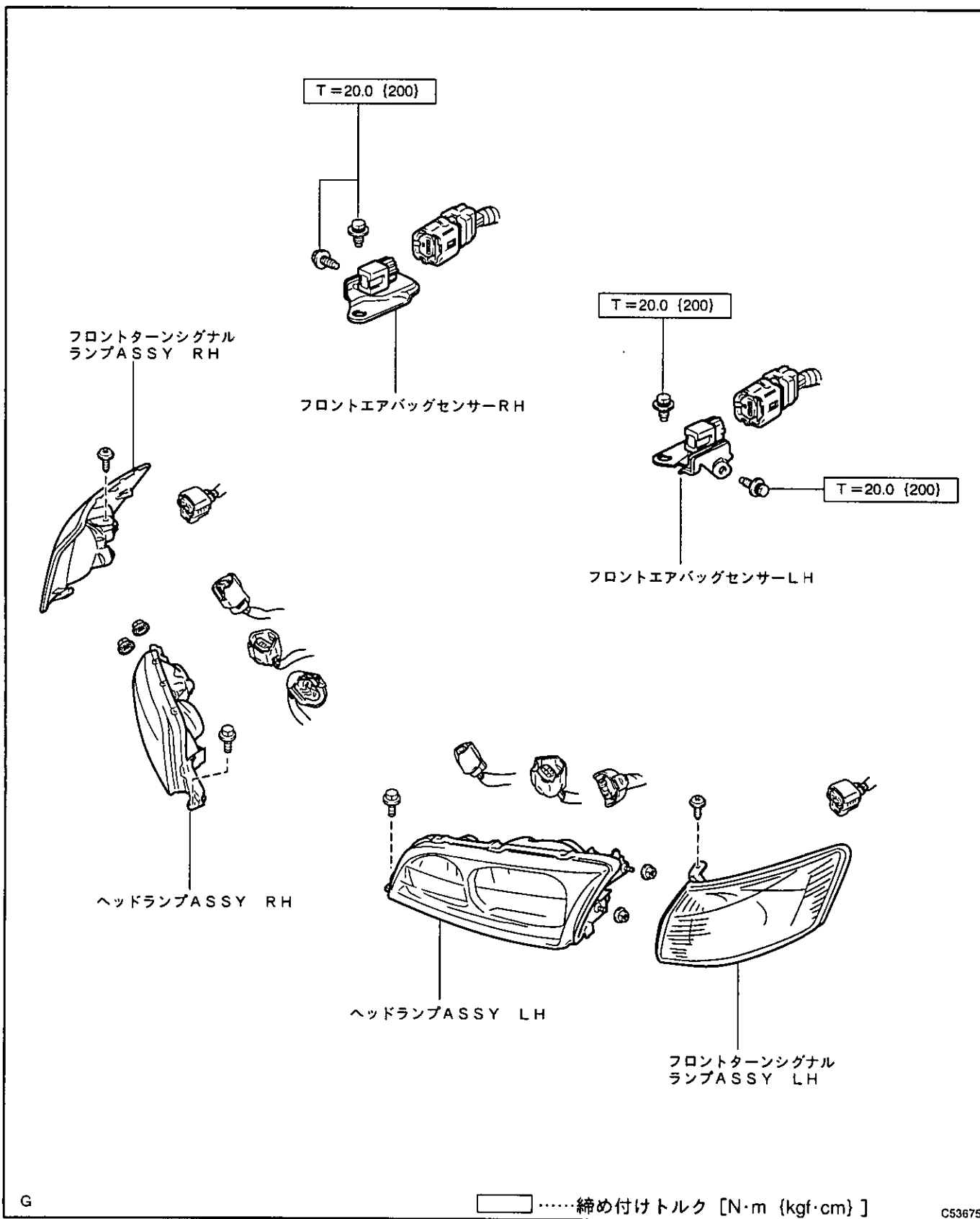
油脂・その他 保護めがね、手袋、ビニール袋 [72000]

<警告>

- 作動したパッセンジャーエアバッグは大変高温になっているため作動後30分は放置しておく。
- 作動したパッセンジャーエアバッグに水などをかけない。
- 作動したパッセンジャーエアバッグの取り扱い時は、保護めがねおよび手袋を着用する。
- 作業終了時には、必ず手を水洗いする。
- 絶対に未作動の状態でパッセンジャーエアバッグを廃棄しない。

フロントエアバッグセンサー 構成図

SA09H-01



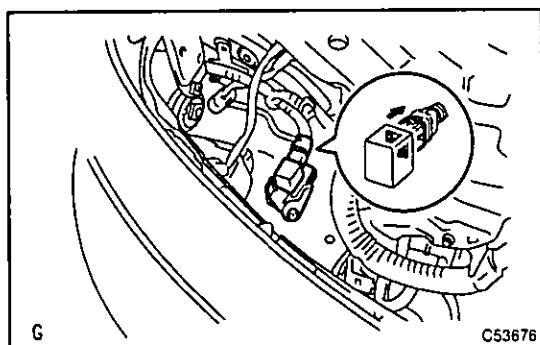
C53675

脱着

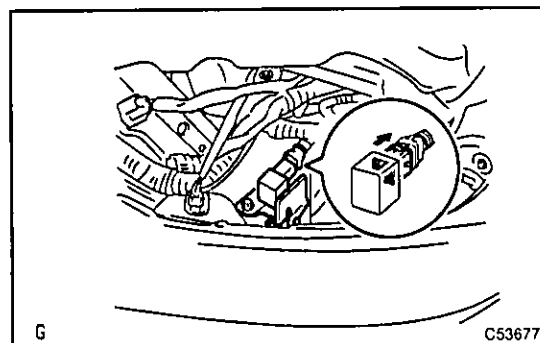
<注意>

取り付けは、取りはずしの逆の手順で行う。但し、取り付けは要領がある場合のみ示す。

1. 取り扱い作業上の注意（要領はSA-1参照）
2. 電源切り離し（要領はSA-1参照）
3. フロントターンシグナルランプASSY RH取りはずし
4. フロントターンシグナルランプASSY LH取りはずし
5. ヘッドランプASSY RH取りはずし
6. ヘッドランプASSY LH取りはずし



7. フロントエアバッグセンサーRH取りはずし
 - (a) フロントエアバッグセンサー用コネクタを切り離す。
 - (b) ボルト2本をはずしフロントエアバッグセンサーRHを取りはずす。



8. フロントエアバッグセンサーLH取りはずし
 - (a) フロントエアバッグセンサー用コネクタを切り離す。
 - (b) ボルト2本をはずしフロントエアバッグセンサーLHを取りはずす。
9. フロントエアバッグセンサー外観点検
 - (a) 以下の基準に該当する場合はフロントエアバッグセンサーを新品と交換する。

基準

コネクタ部のすり傷、ひび割れ、破損
センサーの変形、ひび割れ、破損

10. フロントエアバッグセンサーRH取り付け
 - (a) フロントエアバッグセンサーRHをボルト2本で取り付ける。

基準値

$T=20.0\text{N}\cdot\text{m}$ {200kgf·cm}

- (b) フロントエアバッグセンサー用コネクタを接続する。
- (c) フロントエアバッグセンサーにガタがないことを確認する。

11. フロントエアバッグセンサーLH取り付け

- (a) フロントエアバッグセンサーLHをボルト2本で取り付ける。

基準値

$T=20.0\text{N}\cdot\text{m}$ {200kgf·cm}

- (b) フロントエアバッグセンサー用コネクタを接続する。
- (c) フロントエアバッグセンサーにガタがないことを確認する。

12. エアバッグウォーニングランプ点検
(要領はSA-12参照)

13. ヘッドランプ光軸点検、調整

サイドエアバッグASSY (エアバッグシステム装着車廃車時の廃却要領)

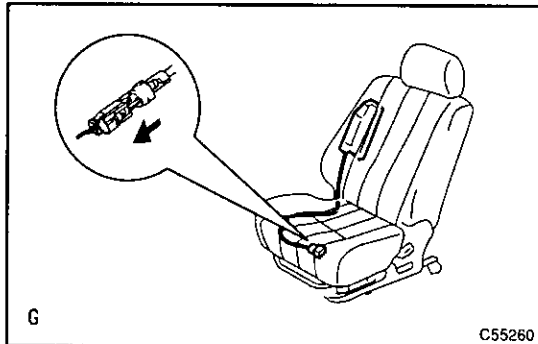
SA09F-01

廃却

<注意>

LH側の廃却は、RH側と同様の手順で行う。

1. 取り扱い・作業上の注意 (要領はSA-1参照)
2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)

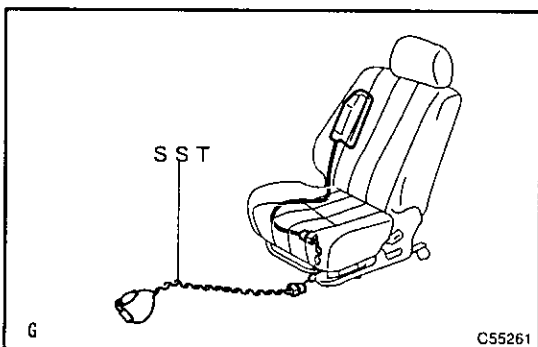


3. サイドエアバッグASSY RH用コネクター切り離し
- (a) フロントシートASSY RH裏のサイドエアバッグ用コネクターを切り離す。

4. サイドエアバッグASSY RH作動

- (a) SSTを接続する。

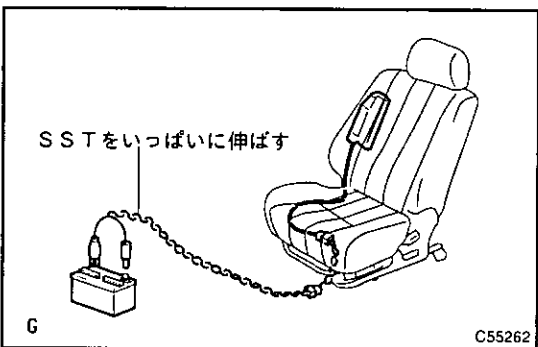
SST 09082-00710, 09082-00750



- (b) SSTのワニ口と端子をショートさせる。
- (c) SSTとエアバッグのコネクター (黄色の2P) を接続する。

<警告>

- ・ サイドエアバッグにガタがないことを確認する。
- ・ このとき全ドアおよびウィンドウは閉じる。



- (d) SSTを車両からいっばいに伸ばした位置にバッテリーを置く。
油脂・その他 自動車用12Vバッテリー [52506]
- (e) 車室内および周囲の安全を確認したのち、SSTのワニ口をバッテリーのマイナスターミナルに接続する。
- (f) SSTの端子をバッテリーのプラスターミナルに接続し、サイドエアバッグを作動する。

<警告>

- ・ 作動前に必ず車室内および周囲に人がいないことを確認する。
- ・ 作動前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。

サイドエアバッグASSY (単品廃却時の要領)

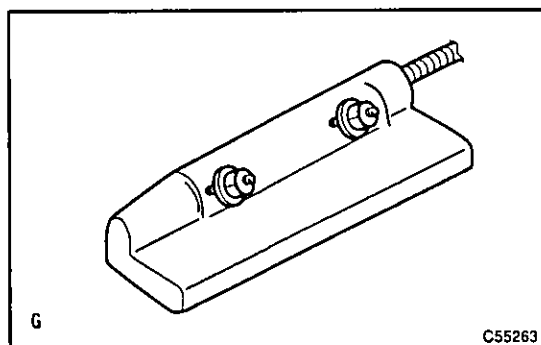
SA09G-01

廃却

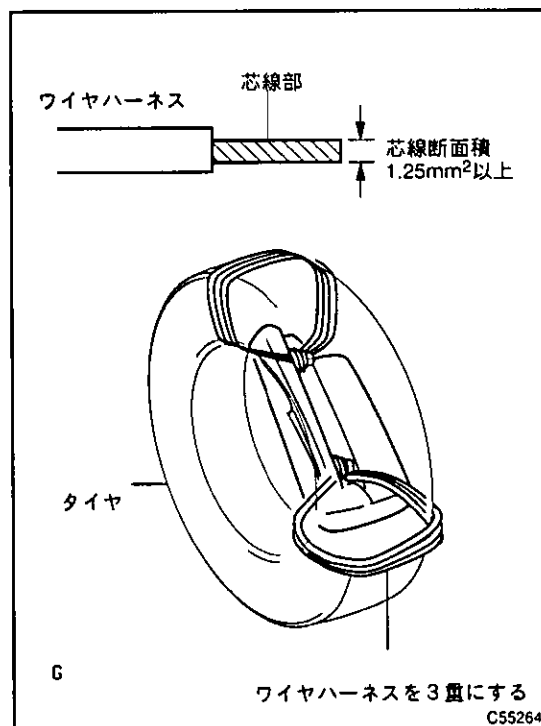
<注意>

LH側の廃却は、RH側と同様の手順で行う。

1. 取り扱い・作業上の注意 (要領はSA-1参照)
2. 電源切り離し (要領はSA-1参照)
3. サイドエアバッグASSY RH用コネクター切り離し (要領はSA-98参照)
4. シートトラックアウターカバーRH取りはずし
5. シートトラックブラケットインナーカバーRH取りはずし
6. フロントシートヘッドレストRH取りはずし
7. フロントシートASSY RH取りはずし
8. フロントシートバックASSY RH取りはずし
9. フロントシートバックカバーRH取りはずし
10. ヘッドレストサポート取りはずし
11. フロントシートバックパッドRH取りはずし
12. サイドエアバッグASSY RH取りはずし



13. サイドエアバッグASSY RH固定
- (a) サイドエアバッグASSY取り付けナット2個を取り付ける。



- (b) ワイヤハーネス (芯線断面積1.25mm²以上) を使用してタイヤにサイドエアバッグASSYを固定する。

油脂・その他 ワイヤハーネス (芯線断面積1.25mm²)
[52010]

<警告>

- 次の指示を厳守する。指示に従わない場合、作動したサイドエアバッグが飛び非常に危険である。
- サイドエアバッグ作動時、ワイヤハーネスには約1トンの力が加わるためワイヤハーネスを3重にしてしっかりと固定する。
- 必ずサイドエアバッグ展開面がタイヤ中心を向くように取り付ける。

14. サイドエアバッグASSY RH作動

(a) SSTを接続する。

SST 09082-00710, 09082-00750

(b) SSTのワニ口と端子をショートさせる。

(c) SSTとエアバッグのコネクター (黄色の2P) を接続する。

<警告>

エアバッグの作動作業は必ず屋外で行う。

(d) 図のようにタイヤを2本重ねた上に、サイドエアバッグASSYを固定したタイヤを重ね、さらにその上にタイヤ1本以上と、一番上にディスクホイール付きのタイヤを置く。

油脂・その他 ディスクホイール付きタイヤ1本、タイヤ4本
[55004]

(e) タイヤ相互をワイヤハーネスやひもなどで固定し、作動時の飛散防止を図る。

油脂・その他 ワイヤハーネス (芯線断面積1.25mm²)
[52010]

(f) SSTをサイドエアバッグからいっばいに伸ばした位置にバッテリーを置く。

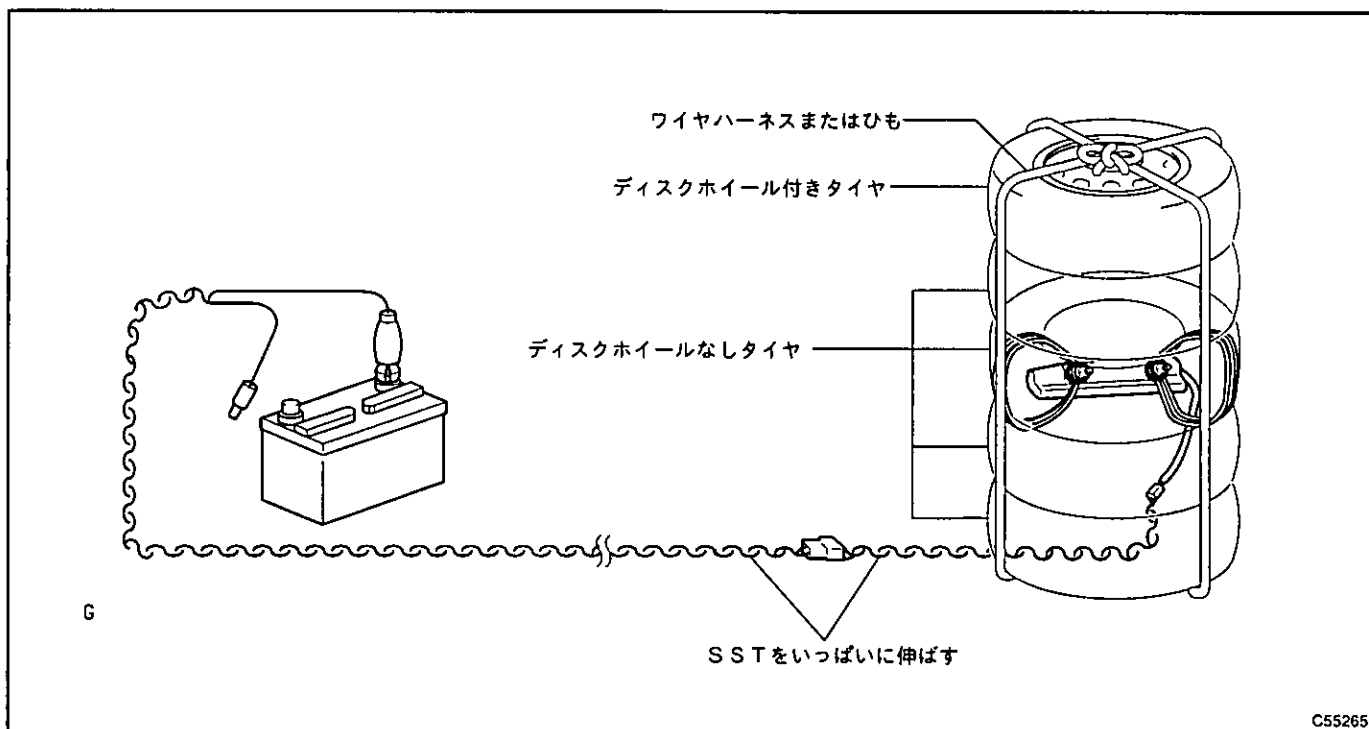
油脂・その他 自動車用12Vバッテリー [52506]

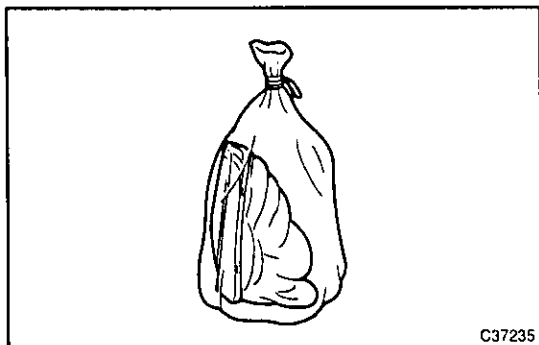
(g) 周囲の安全を確認したのち、SSTのワニ口をバッテリーのマイナスターミナルに接続する。

(h) SSTの端子をバッテリーのプラスターミナルに接続し、サイドエアバッグを作動する。

<警告>

- ・ 作動前に必ず周囲に人がいないことを確認する。
- ・ 作動前に必ず大きな声で周囲に注意を促す。





15. サイドエアバッグ廃却要領

(a) 作動したサイドエアバッグはビニール袋に入れて密閉し廃棄する。

油脂・その他 保護めがね、手袋、ビニール袋〔72000〕

<警告>

- 作動したサイドエアバッグは大変高温になっているため作動後30分は放置しておく。
- 作動したサイドエアバッグに水などをかけない。
- 作動したサイドエアバッグの取り扱い時は、保護めがねおよび手袋を着用する。
- 作業終了時には、必ず手を水洗いする。
- 絶対に未作動の状態でサイドエアバッグを廃棄しない。

MEMO
